

東大国語研究室蔵『玉塵抄』の翻刻（五）下

小池 俊希・奥山 光・山本 久・木越 拡

小幡 幸輝・竹林 栄実・岩崎 凜太郎

西川 由佳・王 竣磊・大島 英之

一 凡例

本稿は、東京大学国語研究室が所蔵する『玉塵抄』巻五の後半部（107丁オモテ7行目～216丁ウラ）「封」から「涼」まで）について、翻刻を行うものである。翻刻に際しては、できる限り正確な本文の再現を目指したが、以下について注記する。

一、一 翻字の方針

・ 原本には、墨筆の本文のほかに、朱筆による書き入れが見

られる。抄の原典である『韻府群玉』における韻目を示す三角形には「△」を、見出し字を示す丸には「○」を、見出し語・熟字に施された鉤点には「ㄣ」を用いて、これらを再現した。なお、本巻には訂字の類の朱筆も見られるため、これも墨筆とは区別して可能な限り再現に努めた。ただし、翻刻本文が煩瑣になることを避けるため、人名や書名を表す朱引は、翻刻本文には反映していない。

・ 見出し語や熟語が切り替わる際には、原本では改行することも多いが、改行をせずに一字分の空白を入れることもある。これらの表記については、可能な限り再現に努めたが、一字分の空白が翻刻本文の行末に配される場合には、翻刻

本文上、改行と峻別しがたいため、次行の頭に空白を移すことで、これを示した。

また、本巻の特徴として、『韻府群玉』における小韻代表字の箇所において、約二字分の行頭下げが、数行にわたって行われる。翻刻本文にもこの行頭下げを反映したが、一字分の行頭下げとしている。

漢字字体は、原則として現行の字体に改めた。ただし、例外も存するため、その扱いについては三節に詳述する。

仮名字体は、原則として現行の仮名に改めた。ただし、「エ

「キ」など一部の字については本文の仮名遣いを再現した。
合略仮名は、「ㄱ(コト)」「メ(シテ)」「ㄷ(トモ)」を用いてこれを再現した。

踊り字は、「々」「／＼」「ゝ」「ゞ」を用いてこれを再現した。

送り仮名、振り仮名、字の右下に小書きされた仮名は、いずれもルビ機能を用いてこれを再現した。その際、仮名の上下位置は翻刻者の解釈で修正を施した場合がある。

漢文などにおける既出の字の省略記号は、「一」を用いてこれを再現し、想定される文字数と省略記号の本数に不一致が認められる場合は、あるべき本数を「〜」で補った。ただし、「強琴一」(176ウ)など、一本の省略記号が漢文引用箇所的大部分、あるいはその全体に対応すると考えられる場合には、省略記号の校訂は施さなかった。

省略記号について、一字目と二字目の切れ目が認めがたい「、一」のような形は、二字分として解釈した。

また、東大本の第四巻まで、および国会本、叡山本の第五巻には、引用を表すために付される、漢文の末尾の縦線がしばしば認められる。東大本の第五巻においては、数箇所のみこのような記号が認められるが、注記等は施さず、既巻と同様に「一」を用いてこれを再現した。

右傍線は「右傍線」、左傍線は「左傍線」のようにそれぞれ再現した。なお、抄文中に用いられる左傍線は、その及ぶ範囲がしばしば不明瞭である。そのため、特に字音語に施されたものについては、翻刻者の解釈で修正を施した場合がある。

音合符は「音一合」、訓合符は「訓一合」のようにそれぞれ再現した。

見せ消ちは、「~~セキキ~~」のように二重取り消し線によってこれを示し、傍書された訂正後の字句を「」中に示した。

行間の傍記のうち、補入と判断されるものは「」中に示した。なお、補入の注記がある場合には、「○」のように示した。

本文中、書記者によってある字句が線で指示され、語釈や解説などの傍記が付される場合がある。翻刻本文ではこれを「(側注…)」の形で小書きした。

反切を示す小書きの箇所「根采反」(137才)や、ある内容

が詳述されている別の箇所を示す「詳し壁」(203ウ)のようなものうち小書きの箇所は、上付きによりこれを再現した。

・その他、翻刻に反映しがたい問題については、適宜その旨を脚注に示した。

一、二 校訂の方法

・翻刻者が誤脱などと判断したものは、国立国会図書館蔵本(国会本)と叡山文庫蔵本(叡山本)、および適宜関連資料を参照し、「(○○か)」のようにあるべき形を付記した。原態の復元が難しい場合には「(ママ)」を付した。また、漢字について、誤字と思われるが、原本の字体を活字で表現できない場合には、翻刻者の解釈で改めた。該当箇所については、次節の「訂字箇所一覧」を参照されたい。

・衍字、衍文と判断したものについては、「(衍か)」を付した。

・漢文中に、明らかな脱字が認められた場合には、あるべき文字をへく中に補った。なお、返点や記号類の脱落についても同様に補った。

・国会本、叡山本と対照して、数語に及ぶ脱落が認められた場合、国会本を底本として《》中に補った。

・虫損があり判読しがたい字は、国会本、叡山本および文脈から推定し、「**国園**」のように示した。

・その他の問題については、適宜脚注で説明した。

・原本に丁数は付されていないが、便宜上各丁オモテ、ウラの始めに「1084」のように丁数を示した。

・校訂・翻刻を行うにあたって諸本を参照する際には、国会本については国立国会図書館デジタルコレクションに公開されているデジタル画像 (<https://dl.ndl.go.jp/pid/2545082/1/1>) を、叡山本については『新抄物資料集成 第二巻』(二〇〇〇、清文堂出版) 所収影印を用いた。また、『韻府群玉』ならびに『古今韻会举要』については、米沢善本完全デジタルライブラリー (<https://www.library.yonezawa.yamagata.jp/dg/zen.html>) に公開されている画像を用いた。なお、その他の漢籍資料については、主に中央研究院・歴史語言研究所「漢籍電子文獻資料庫」(<https://hanchi.ihp.sinica.edu.tw/ihp/hanji.htm>) に公開されているテキストを用いた(URLははずれも二〇二四年二月一二日最終閲覧)。これらの漢籍の本文を脚注に引用する際には、翻刻者の判断で適宜句読を施した。

一、三 漢字字体の取り扱い

前号までと同様、原文の漢字は、原則として通行の字体に改めた。すなわち、常用漢字は新字体に、表外字は正字体を

基準として翻刻した。しかし、次のようなケースにおいては
 例外的に、二種以上の字を区別して示した。

- ・新字体と旧字体とが、元来別の字義を有したものを。

芸／藝、余／餘、予／豫、台／臺、糸／絲、弁／辨・辯・
 辯の6例。

- ・略字や、異体の程度の大きいもの。

勻／韻、无／無、𠂇／録、众／衆、𠂇／靈、尔／爾、广
 ／摩、𠂇／貌、厂／雁の9例。

※ただし、𠂇は璽で、迹は邇で、𠂇は蕪で翻字した。

- ・異体字ではなく、通用関係にあると考えられるもの。

遊／游、座／坐、跡／迹、編／篇、弦／絃、歎／嘆など

- ・本文中に字体に関する記述が見られる場合。

例えば、154ウ「𠂇ハ、ハ錢ノ字ヲ、コレヤウニモ、カクソ」
 の「𠂇」は、標準的な字体では「錢」であるが、本文で
 字体の説明を行っている関係上、異体字を示した。

また、例外的に、龍の字は新字体(竜)ではなく旧字体(龍)
 で翻刻した。なお、右のほかに、当時の表記法と思われるも

の(例…命吾【論語】)や、いわゆる抄物書き(例…花ム【
 嚴】)については、原文の表記をそのまま反映した。

以下に、「主要異体字一覧」と「訂字箇所一覧」を示す。前
 者は、本翻刻における異体字統合の基準を示すものであり、
 用例の所在の表示は省略している。後者は、臨時的に現れる
 誤字とおぼしき字体を、所在と共に示すものである。

○主要異体字一覧

〔偏旁冠脚における異体〕

原文の字体	↓	翻刻字体	字例
・ 二水 (𠂇)	↓	三水 (𠂇)	… 決、涼、減、潔
・ 手偏 (扌)	↓	木偏 (木)	… 杖、杜、枝、楊、模
・ 行人偏 (彳)	↓	糸偏 (糸)	… 網、郷、雍、糞
・ 手偏 (扌)	↓	方偏 (方)	… 於、遊、闕
・ ワ冠 (宀)	↓	ウ冠 (宀)	… 富、瀉
・ 草冠 (艹)	↓	竹冠 (竹)	… 等、節
・ 麦 ↓ 麦			… 陵
・ 文繞 (文)	↓	延繞 (彳)	… 庭、延、廷、建、莖
・ 𠂇 ↓ 𠂇			… 即、卿、御、節、鯽
・ 𠂇 ↓ 𠂇			… 邛、椰、莖

・卯	↓	卯	：	卿、柳
・易	↓	易	：	傷、暘、楊、腸、陽
・且	↓	且	：	疽、祖、粗、誼
・力	↓	刀	：	券、辺
・刀	↓	力	：	功、協、幼、男
・日	↓	口	：	豪、高
・ソ	↓	ク	：	龜、像、煥、衡、讒
・火	↓	火	：	蕪
・大	↓	火	：	蘇、鮪、鮑、鯨、鱈
・一	↓	心	：	憑、漁、瀉、為、烏
・旧	↓	白	：	叟、椿、滔、瘦、春

〔対応する字種・構成要素が複数ある場合〕

・先に挙げた例のほかに、「干」と「于」、「土」と「土」、「己」と「巳」と「巳」、「未」と「末」、「東」と「東」などについて、字体上の区別がほとんど無いため、文脈に応じた字種を選択して翻刻した。

・立心偏（卜）の終画を欠くような字形は、次のような字の偏にも用いられており、文脈に応じて翻字し分けた。

「将」 「博」 「藏」 「収」

・崩されて「之」のようになる字形は、複数の構成要素に対応する場合があるが、文脈に応じて翻字し分けた。

「供」 「機」 「寒」
「謨」 「雲」 「貴」

〔その他の異体字一覧〕

・次に掲げる一覧表は、巻五後半部で用いられている主要な異体字を示したものであるが、第十五〜十九号に掲載した巻一〜五前半部に見える異体字一覧表に既に示したものについては、多く省略した。ただし、特徴的であると判断した字体については、重複して掲出してある場合もある。なお、「主要な異体字」の判断は恣意的なものであるため、巻五前半部までに見えるのにもかかわらず前号で取り上げなかった字体を、本表で取り上げている場合もある。

・崩して書かれた字についても、楷書の字形と大きく異なる場合には、ここに取り上げている。

・次のような、突き出すか／付けるか／離すか、といった差違については、他の字種と紛らわしいと判断した場合を除いて、多く省略した。

「役」 「見」 「湖」

・異体字が、形の上で、新字体よりも旧字体に近い場合は、翻刻字体の右側に「」でその旧字体を示した。

・ある字における異体の部分が、それを構成要素に持つ別字

○訂字箇所一覧

以下では、異体字ではなく、誤字の疑いが濃厚な例を一覧する。具体的には、臨時的に現れ、児玉幸多『くずし字用例辞典』(二九八一、東京堂出版)や太田晶二郎(一九九三)『異体字一隅』(『太田晶二郎著作集 五』吉川弘文館、四〇〇〜四三五頁)に拠ってもほとんど確認することができないものを取り上げる。該当箇所を特定するために、用例の所在に加えて、前後の翻刻文を示した。

本号では、活字で表現し得るものでも、字体上の誤りと思われる例や、字体上の類似から別字種に置き換わったと思われる例についても、積極的に取り上げた。なお、114ウ「仄職（読み）」のように、字種そのものを誤っていると思われる例については、ここには掲げていない。

108ウ 所領ヲトラメ

124ウ 梵網経ノ五辛ノ下タノ注ニ

129ウ 昊天不レ備（ヒトシカラ） 降（ノ）ニ此鞠（ヲ）一



140ウ 黒甜ト（141オ）一云ハ

173ウ 麩（ト）一厨ナリ、

176ウ 一生モノウイ、懶（ヲ）ナ、ウチニ、

178オ 尚書ノ阜陶謨ノ篇ニ（カウヨラボ）

182オ 篋業維（レ）一

191ウ 言厖（コトアツシ）、文勝（スクレテ） 而（ニ）一、



198オ 比（ス）ニ邾莒小国（キヨノ）一

210ウ 斉師陣（ノイ）ニ於鞍（アシニ）一

214ウ 時間（ヒテ）ニ正論（ヲ）一除（ク）ニ疑（ニ）一網（ヲ）一

215オ ヒキハツタ網（アミ）ヲ、キリ破タソ、

216ウ 四海群従間邇来頗



地ニツイテソコカラ又根カミカツテニイダヤツナソナツメ
クサイノ家ソツク材木ニナラヌノ山谷南迂維舟下人
作^レ溪^ノ谷^ノ山谷カ南方エ流タ村舟ソ此ノ木ノモトニツナイ
テヤスンタソノチニ人榕溪^ノ谷^ノト云ヲ作タ^レ小谷ニヤツタカ
山登^レ雷州エ流テ雷テハテタノ雷^ノ南迂ト云タカ^レ林
ノ一ニ榕^ノ系^ノ滿^レ庭^ノ鶯^ノ乱^レ啼^ト柳^ノ子^ノ尊^ノ作^タメ^ス

○封語 後一人命吾ニ後一人ニミエントコウトアリ孔子

ノソ目ニカリタイト云タ^レ封人ト云ハソノ国トソノ国

トノサカイメテイテサカイシ守ルソノ役アツシスル者
 ツ云ソソコノ封疆ホツマダノサカイメアリ物ヲフウスルソ
 在傳ミモ穎封人ト云者アリ穎考妣ナリソシモ穎
 ノサカイメノ封人ナリ前刑法伺丁トクシ為一前考妣書
 ノ刑法ノ一ソシイタ志ノ書アリソシニアリ伺丁
 ト云ハソコノサカイメニイテミテニルソコチノ内ノ
 木シハソカカ草シカカ牛馬カコチノ地エ入テ物ハ
 ムカフミアフスカナトノ

二 翻刻本文

(107ウ途中より)

○封、**語儀**一人、命吾ニ儀一人マミエントコウトアリ、孔子ノ、ヲ目ニカ、リタイト云タソ、封人ト云ハ、ソノ国ト、^{108オ}「トノ、サカイメテ、^(二カ)イテサカイヲ、守ルソ、ソノ国」トノ、サカイメテ、イテサカイヲ、守ルソ、ソノ役ヲスル者ヲ云ソ、^{ヤク}《封ト云ハ、^{ホウ}≡ソコノ封^{ホウ}疆^{キヤウ}ノ、サカイメアリ、物ヲフウスル心ソ、左伝ニモ穎封人ト云者アリ、穎考叔ナリ、ソレモ、穎ノサカイメノ、封人ナリ、**前**刑法志^{シテイラ}伺^シ丁^イ為^レ、¹前漢書ノ刑法ノコトヲ、シルイタ、志ノ書アリ、ソレニアリ、伺^シ丁^イト云ハ、ソコノサカイメニ、イテミテニ、ナルソ、コチノ内ノ、木シハヲカルカ、草ヲカルカ、牛馬カ、コチノ地エ入テ、物ヲハムカ、フミアラスカナトノ

^{108ウ}「コトヲ、ウカマイミル者ヲ、封ト云ソ、丁ハ、人ト云心ソ、イヤシイヲノコノ心ソ、**漢史**雍齒先^一、此ハ、天下カ、漢ノ高祖ニ、ヲソレテ、人カキヤクシンスルソ、テキニナル者、アラウスホトニ、一ノケイリヤクニ、高祖ノ、平生、ニクマレタ者ヲ、先一番ニ、所^一領ヲトラメ、官ニモ、ナサレト、張良ヤラガ、異^一見メアリ、サウアツタレハ、ソコテ、天下ノ者カ、アレボト、^(ホドカ)ニクマレタ者サエ、カウアルホトニ、吾^一等ツレハ、ソモカウ、心ヤスイソ、涯^一分、忠ヲツクサウト云タコソ、^{109オ}「^{キツテ}剪^レ桐^ニ戯^ス」古文真宝ニ、桐葉封^ス弟^ヲ文アリ、周ノ成王ノジヤレコニ、桐ノ葉ヲキツテ、圭^{ケイ}ノ玉ノナリニメ、此ヲ、シルシニメ、ドコノ王ニナストセラレタソ、成王ノ弟、唐叔ヤラノコトソ、周公旦ノキイテ、天子ニハ、ジヤレコ、シヤレワサハ、ナイモノナリ、ジヤレナドアレハ、天下ノ者ガ、カルンメ、アナドルトテ、本^二弟^ヲ、虞王ニ、ナサレタソ、王ヤ守護ニ、ナサル、ニハ、

¹米沢本『韻府群玉』には「伺十為一」とある。『漢書』刑法志には、「地方一里為井、井十為通、通十為成、成方十里、成十為終、終十為同、同方百里、同十為封、封十為畿、畿方千里」とあり、「同」が「伺」に、「十」が「丁」に変じたという過程が想定される。

シルシニ、玉ヤ、玉ノ印ヲ、タマワルソ、詳レ桐東勻ノ桐ノ
 所ニ、ネンコロニ云タソ、歳^{ヒメ}早^ス上^ス帝^ス一^ス江^ス湖^ス一^ス詳^ス龍冬
 龍ノ所ニアツタソ、一^ス二^ス殺^ス一^ス戸^ス一^ス、詳^スレ^ス戸^ス、殺^スハ、錯^ス雜^スナ
 リ、マシワツタヲ云ソ、左伝ノ八ノマキ、文公ノ伝ノ、三
 年ニアリ、秦ノ君ノ、晋ノ国ヲ、セメタソ、河ヲワタツテ、
 ノツテ、ワタツタ舟ヲ、ヤキステタソ、イキテ、一^ス二^スタヒ、
 カエルマイト云心テ、ヤイタソ、カエルマイホドニ、舟モ
 入ルマイ心ソ、晋ノ者ハ、デアワヌソ、王官^{カウ}ト郊^{カウ}ト云所ヲ、
 ウツテ、取タソ、此モ、晋ノ中ナリ、茅津^{ハウ}ト云、津ヲワタ
 ツテ、殺ノ尸ヲトリアツメテ、ホリウヅミ、カクイテ、秦
 ノ众ハ、帰タソ、殺ハ、マシワツタ^一ソ、王官^一ナド^一ヲ、
 コチエキリトツタホトニ、ソコラデ、合戦アツタカ、尸骸^{ガイ}
 ノ、雜^ニメ^レ多^クヲ、ホリウツンテ、カエツタソ、ウツムヲ、
 封ト云ソ、此モ、秦ノ穆公ノセラレタソ、穆公ヲホメタソ、
 五霸^ハト云テ、此時分ヲ、戦国ト云ソ、五人ノ諸侯ノ、天下
 ヲ、ハカラワレタソ、五^ハノ中^デ、穆公ヲホメタ^一、多^クソ、

堯封、

堯門^{ケイ}何^ツ処^ツ尽^ス一^ス、薊州ノ門ナリ、薊ハ、北方ノ漁陽ト云国ナ
 リ、後ニ、薊州ニナサレタソ、ソノ国ハ、ドコモ堯ノ時ニ、
 比屋^シ可^シレ^シト云タソ、堯ノ時ハ、下^一々^一ノ、イヤシイ民マデ、
 心ガスナヲニ、マタウ^一、^一一^ス二^スレ^スン^スチ^スヨ^スク^スナ^スホド^スニ、家ゴトノ民
 ヲモ、物ヲトラセ、位ニモ、アゲツベイ者ヂヤト云タソ、ソ
 ノ如ク、今薊ノ者モ、堯ノ時ニ、封セラレタ、民チヤト云心、
 比^一屋^ハ、比、ナラブトヨムソ、ナラブ時ハ、平ソ、タトユル
 時ハ、仄ソ、屋ヲナラベテ、イタ心ソ、ノキヲナラブルト云
 ツレソ、比^一隣^ト云モ、同^一ソ、比目魚、比翼鳥モ、比ハ、ナ
 ラフ心ソ、平ナリ、
 提封、一^一頃^一敵^一方^一朔^一伝^一提^一ハ、シン^一ダイ^一スル^一心ソ、吾カモ
 ノ、心ソ、頃^一、頃ト云ハ、一^一頃^一ノホドアリ、ヒロイ^一デワ、
 ナイソ、一^一頃^一ホドノ、田カ、ハタケノウネガ、吾カシン^一ダイ
 ノ、ブゲンナリ、^一一^ス二^ステ^ス二^ス四方^ス之内^ス一^ス、^一一^ス二^ス総^ス計^スニ^ス其^ス数^ス一^ス、
 四方、ヒキマワイタ、ソノウチノ、総^一カ^一ス^一ヲ^一カ^一ス^一エ^一テ、シル

2 原本、および国会本・叡山本はいずれも字を欠くが、『韻府群玉』には省略記号が存する。原典とおぼしき『漢書』卷六十五・東方朔伝の顔師古注

心ソ、都合、イカホト、カスエテ、シルフソ、^ニ雷封、
^{フルウ}雷震ニ百里ニ故県令称^ニ一^ト、雷ノ声ハ、百里キコユルソ、
^{フルウ}震トハ、鳴心ソ、サテ、一^ニ県ヲ、下^ニ知スル令ヲハ、一^トト
 云ソ、県ハ、百里ホドノ、分量カ、雷同ハ、人カソノ云フニ、
 同^ニ心スルヲ云ソ、同シヤウナヲ、云タソ、**六帖**ノ書ニアリ、
 一^ニ東封、王元請一^ニ泥丸^{ヲ以テ}為^ニ大王^ノ一^ニ函谷関^ヲ西漢ノ
 末、西州將軍隗囂ガ下タノ大將王元カ云タ語ナリ、手一^ニニギ
 リノ泥一^ニ土ヲ以テ、大王ノ為ニ、東ヲモテ、函一^ニノ、セツ所ノ
 関ヲ、^一ヌリフサガウト、勢ニ云タ心ソ、大王ハ、隗デア
 ラウソ、ソレガ、下ノ王一^ニソ、隗ハ、ヲウ西ノ將軍テ、イタ
 ホトニ、東ヲ、テキニメ、函一^ニヨリ、西エハ、入レマイト云
 心ソ、願上^ハニ一^ニ書一^ト、**陳后主**陳ノ後、^{（衍か）}主ノ語ナリ、東一^ニ
 ハ、封禪ト云フアリ、天子ノ位ニ、ツカシマシテ³、一^ニ代一^ニ
 度アルマツリアリ、封ト、禪トノ、ニナリ、封ハ、天ヲマツ
 リ、禪ハ地ヲ祭ソ、封禪ノ時ハ、禪ハ、仄ソ、東一^ニト云ハ、

東方ノ泰山エ、ノホツテ、マツラル、マツリヲ封ト云ソ、
 コ、ハ、封ノフハカリ云タソ、封ト云エハ、禪ノマツリモ、
 一度ニ、ナウテ、カナハヌソ、禪モ、アル心ソ、封禪ノ書ト
 云アリ、上代カラ、^一マツラレタヲ記録シタ書ナリ、メ
 デタウ、東一^ニノ書ヲ、進上マウサウトノ、ネカイナリ、后主
 ノ、吾ヨリウエノ王ニ、ナラレウズ人ニ、イワレタフカソ、
 コノヤウハ、シレヌソ、^一乾封、漢公孫卿曰黄帝一^ニ三年
 乃詔曰天^チ旱^メ意^{ヒテリスヲモウニ}一^ニ乎、公孫ハ、黄帝ノ姓ナリ、後ニ、ソ
 ノ子孫カ、氏ニシタソ、公孫氏ノ卿カ、黄帝ノ時ノフヲ云タ
 トアリ、黄帝ノ時分ニ、年号ハナイガ、乾一^ニ三年ト云ハ、心
 エヌソ、ソノ年ノ、三年メニ、大旱アリ、サルホドニ、黄帝
 ノ詔ヲ、下メ、大ヒテリチャニ、ヲモイ思案スルニ、東太山
 ニ、ノホツテ⁴、封禪ノ祭^一、^一礼ヲナサウカト思ウワ、イカ
 ントイエタソ、^一堂一^ニ封、唐詔中書門下共食^ニ実戸^{三百一}、
 唐ノ詔ノ、サタメニ、中書ノ、シタイ^{（マ）}众カ、トモニ共メ、
 唐ノ詔ノ、サタメニ、中書ノ、シタイ^{（マ）}众カ、トモニ共メ、

「提封、亦謂提舉四封之内、總計其數也」に従い校訂を施した。

³ 国会本には「ツカシマシマシテ」、叡山本には「ツカシマシマシテ」とある。

⁴ 国会本・叡山本ともに「東太山ヲ、ホツテ」とする。「二ノ」の二字が合体して「ヲ」になったという過程が推される。

ナン百戸ト、ソラ名ハ多ケレトモ、実ニハ、三百戸ソ、中書堂トアル、中書ノ官ノイル所ヲ堂ト云ソ、中書ノ官カ、僧ノ公一^レ文ノ帖ヲカキタスソ、ソレヲ、堂帖ト云ソ、堂一^レモ、中書ノシタノ封セラル、^レ、ブゲン、三百戸ソ、堂一^レハ、此カラハシマツタソ、一^レ自^リレ此始、**源⁵乾曜**書名ソ、演ハ、書ヲ、マエニアツタ書ヲ、注シノフル心ソ、乾ハ、天ナリ、天文七曜ナトノコヲ、シルイタヲ云ソ、

113オ

「¹囊封、^テ恐^ニ左^ノ右漏^ヲ

^ノモラサ^シコ^ヲ

^コト^ヲテ^テ

^セシ^ム

奏事^一、宰相

ヤ、ソノ外、中書ナト事ヲ、奏メ、札ヲ上^ラ、ソバアタリノ

者ガ、ミテ、モレキコエカ、セウズヲ、ヲソレテ、ハシメテ、下^一知ヲ、御下^クシアリテ、書ヲフクロニ入テ、カタウ、ウエヲ

フウシサセラレタソ、堂^一ト云ソ、^フ副封、魏相請去^ニ

一^レ一^レ、**本魏**一^レハ前漢ノ宣帝ノ地節年中ニ、宰相ニナツタソ、

アマタノ職ヲ、カネテ、モツタソ、帝ノ、キニアウタソ、奏問マウス^コ書^メ上^タソ、漢ノ時ニ、奏書ヲ、別ニ、一^レ本カイ

テ、尚書ノ官ニ、ヤルソ、ソレカ、副本ソ、副ハ、ソユル心

ト、タスクル心アリ、^フ副寺ヤ、^フ副使^ス「ナト、云ハ、正^{113ウ}ヲタ

スクルト、ソユルノ心アリ、^フ副トハ、ヨミサウモナイソ、宥

ノ勻ニアリ、^フフウト、ヒカウス^コソ、書^ドモ、一^レ本ウツスヲ、

^フ副本ト云カ、フクトハ、ヨムマイカ、^フクノ音ノ時ハ、入声

ノ屋ニ、入タソ、ソレハ、サク心ワカツ心ソ、ソエタスクル

心ヲ、注セヌソ、日本ニ、平家ノ^{シケモリ}重盛ノ子、六代ヲ副將ト云

タソ、將軍ニ、ソユル心ソ、^フテ、アラウス^コソ、^フクハ、

アヤマツテ、上古、文字^ブサタデ云タ^コカソ、^フ副封スル

コヲ、キラウテ、上^ウエ、マウシテ、ヤメタソ、サテ、去^サト云

タソ、漢^ニ上書者一本^ア与^ニ尚書^一、漢ノ時、書ヲ天子ニ、上^タテ、

モノヲマウス者、定^テ、^{114オ}「一本カイテ、尚書ノ官ニ、ヤ

ツタソ、此ヲ魏^一カヤメタソ、

^フ斜封、武后時^ニ墨^一勅^一、^チヨク^ニ「^ス、詳^レ勅、唐ノ武后ハ、則天皇后

ナリ、武ガ氏ナルホドニ、武后ト云ソ、ソノ時ニ、詔書ナド、

⁵ 直後の抄文の内容から、惟高妙安は「源乾曜」を「演乾曜」に誤っていたと推されるが、原本、および国会本・叡山本は、いずれも正しく「源」とある。

ナシ下ル、ニ、墨^クデ、クロウ、カイト、ナ、メニスチカイニ、封セラレタソ、職^{ホフツ}勻ノ勅ノ下ニ墨勅ノコアリ、武后トハ、ナ
 イソ、中宗ノ時トアリ、童^(童か)后ナドノマツリコヲ、用イ行タ
 ソ、魚^{ホフツ}肉ヲ、屠テ、ウリカイ、アキナイスル、イヤシイ者
 ヲ、官ヲサツケ、詔書ヲ、下サレテ、物ヲトラシタホトニ、
 イヤシイ者ニ、ナシ下ル、書^ウチヤホドニ、スミテ、カキ、
 上ヲ、本^一々ニハ、フウ^{一四ウ}「セイテ、ソハニ、ナノメニ、フウ
 ジサシタソ、ワルウコソ云ウツラウソ、コ、ニハ、斜封ノ墨
 勅ハ、武后則ノセラレタトアリ、仄^ノ職^(能か)聴ノ勅ノ下ニハ、中
 宗^{ノニ}時、韋^ラ后等、用^ウ事^ヲ、唐書ノ七ノ列伝ノ后妃伝ノ所ニハ、韋
 庶人ト題メ、后トハ、シルサヌソ、イヤシカツタ者ソ、中宗
 ノ庶人韋氏ト、ノセタソ、墨勅ヲ、多、アタエラレタコアリ、
 口^{クテツカラ}「伝^ウ諫議送書信白絹^{ニス}」**盧茶歌**盧全ガ、茶ノ歌
 ノ中ニ、此一^一聯アリ、斜封ノツレヲ、引タコソ、全^カ方^エ、
 諫議大夫ノ官ノ者ガ、音信ブミヲ送タヲ、口ニ伝語シタソ、
 ソノ送ル書ハ、^{一五オ}「白イキヌニカイト、朱カナンゾデ、印ヲ
 三^ツスチカイニツイタソ、

素封、无^ニ爵^{シヤク}邑^{イウ}之入^一而^レ樂^ミ与^レ之^レ比^レ者^ノ命^ト曰^ク「**一**、**貨**
殖素ハ、ムナシイトヨムソ、名ハアツテ、実^レナイコソ、爵^邑
 ハ、爵ハ官^一ナリ、官位ナリ、爵ハ、量^{ハカル}ナリ、ソノ材ノ、**ブ**ン
 ザイヲ、ハカツテ、ニヤウタ官ヲ、サツケラル、ソ、ソノ身
 ノ材ニ、アラ^(ワカ)ヌ、スギタ官トモ付ハ、ヲカシイコソ、邑ハ、
 トル所ノ、所領ノ地ノ心ソ、官ニナレハ、ソノ官ノ、ブゲン
 ノ俸^{ホウ}禄ガアルソ、名ハカリ、ナンノ官ト云ヘハ、ソノ官ノ禄
 ハ、ナイソ、トル所ノ地モナイ、地ハ、邑ト云ソ、タ、名ハ
 カリ、ドノ官ト、^(衍か)コノ^{一五ウ}「国ノ守護ニ、ナツタト云ヘトモ、
 ソノ国ノ物ハ、トラヌソ、年貢ヲ入ト云ソ、名ハカリテ、ソ
 ノ官、ソノブゲンニナツタト思テ、同ヤウニ、タノシムヲ、
 素^{ザン}ト云ナリ、素^{ムタ}滄^{クイ}ト云コアリ、ムダグイトヨムソ、能^モモ、
 ナウテ、食ヲツイヤスヲ云ソ、ムタト云ハ、イタヅラノ心ソ、
 黄封、上尊白酒瀉^{ソク}ニ^一、**坡**、上尊ハ、天子ノ、タルヲ云
 ソ、木ヘンヲ略メ、尊ヲカクソ、樽ノ心ソ、上カラタマワル
 ニ、白酒ハ、アリサウモナイソ、白トイヘトモ、スクレタカ、
 アラウソ、コ、ラニ、濁酒ヲ、白酒ト云コテハ、アルマイソ、

黄一ノ酒ヲ、タルカラウツスヲ、瀉ト云ソ116オ、黄一、酒ノ
 ヨイニ、色ノ黄ナモ、アルカ、鵝黄トモ云タソ、酒ヲ、タル
 ヤ、ツボ、カメニ入テ、口ヲ黄ナ、キヌヤ、紙ナトテ、ツ、
 ミ封スルホドニ、云ト云ニ義モアルソ、坡詩ナリ、輦木貴ト
 ニ一酒ヲ、輦木ノ木ノ字ハ、ソコネタカ、下ノ字デ、アラウ
 カ、輦レ下ト云ハ、ミヤコノヲソ、天子ノ鳳輦ノ、トヲル所ソ、
 ミヤコニ、黄一ノ酒ヲ、ホンソウスルソ、コ、ラニ、天一野、
 平一野ヲタツトフ心ソ、蟻封、アリノ、ホリ穿タ、フルイ穴
 ナドカ、セバイ心ソ、折ニ旋ス一ニ古文折一ハ、ヨリマカリ、
 ヒキマワシ、ヒキモドスヲソ、晋王湛策タシムテウツニ馬於一ニ回メ策ヲ
 如シ榮マトウカ本晋書ノ列伝ノ一116ウ 四十五ニアリ、コワ馬ニノツタ
 ソ、馬ニ得タソ、蟻一ノ中ニ、馬ニノツテ、ムチヲ打テ、ア
 ユマスルヲ、ムチカ、身ニツイテ、マトウ如ナソ、馬ヲ、セ
 ハイ所テ、クルリク、ヒキマワイテ、自由ニノツタソ、
紫泥一封、璽以シハニ一ヲ一スレ之、詳レ泥、璽ハ玉ナリ、玉デ、
 印ヲホラル、ソ、玉ノ印六アルソ、書ノフウジメニ、印ヲツ
 カル、ソ、紫色ノ泥ノアル所アリ、ソコノ泥ヲ、ヌツテ、ツ

カル、ソ、泥ノ所ニアリ、衛青張騫受ケンニ金一泥之宝一ノ封一ヲ、漢ノ
 時ノ青ヤ騫ハ天子カラ、金泥キンテ、印ヲツイテ、封シタ書ヲ、
 タマワルヲ、受タソ、青ハ軍ノ大將ヲ117オシタ名人ソ、功
 ヲナイタ感カ状ナド、騫ハ天竺ナドニ使ヲシタソ、ソレヤウナ
 時ニ、泥ノ璽書ヲ、タマワルソ、比一屋封、唐虞之世一
 可シレ一シツ王莽比屋一ノヲ、前ニアリ、唐ハ莽ナリ虞ハ舜ナ
 リ、ソノ明君ノ世ノ民ハ、一々侯ニ封シ、官ニモアケツベ
 ソ、
酒泉封、漢郭弘好レ飲日得レ封セラレハニ一郡ニ実出ニ望外一
 帝一テ笑一スニ一郡王一ニ、郭一ハ、酒ノミナリ、ネカイヲヲ云タ
 ソ、西ノ国ニ、酒泉ト云郡アリ、名カ、酒ノワク泉ノ如ナト
 云ホトニ、ソノ郡エ、方一封セラレテ、ソコノ守護ニナラハ、
 マコトニ、意外望外ニ、デタヲテ、アラウ117ウト云タヲ、
 帝ノキイテ、酒泉一ノ守護ニナサレタソ、大夫封秦時封
 松為ヲナスニ一、詳レ松、前ノ松ノ所ニ云タソ、穎谷封、舍
 肉懷ヲフトコロニメ一、比一前ルニアリ、穎考叔ガヲナリ、純孝
 ナリトホメラレタソ、左伝ノ一ノ隱公ノ伝ニアルソ、魯公ノ

前デ、食ヲタマウタニ、ウマイ肉ヲ、クワイテ、ツ、ンデ、
フトコロニメ帰タソ、母ニクワセウトテソ、君ノ母ト中ヲタ
カワレタニ、穎封人ガ、ハカリコトテ、中ヲナヲイテ、母ト、
ゲンザウセラレタソ、事ガ、ナガイソ、穎谷ノ、サカイメラ、
封ト云ソ、ソコヲマフル官ヲ、封人ト云ソ、穎谷ノ封人ト云
心ソ、

「^{118オ}馬鬣封、孔子之喪子夏曰吾見^ル封之若^ル堂者^一矣見
二若^ル斧^ノ者^一矣^ハ」^ハ見^ル下若^レ覆^ニ夏屋^ニ者^上矣[」]見^ル若^レ斧^ノ
者^一矣、⁶從^ニ若^レ斧^者ニ焉^一之謂^也也[」]檀弓此ハ孔子ノ
中陰ノ喪^モニ、ツカヲ、ツク^ヲソ、ツカニ、高^ウ上^カヒロウア
ルモアリ、セハウヒクイモアリ、ソバヲソイテ、セハウスル
モアルソ、堂ヤ、坊ヤ、斧ハ、^{ツカカ}ツツカノナリソ、クワシウハ
シラヌ^ヲソ、ソハヲソキトツテ、セハウシ、馬ノタテガミノ
ナリノヤウナホトニ、馬ト云ケナソ、不^レ意^今作^二馬^一ト
ト、谷力作タソ、^ハ伝^五封、諸^ノ乘^伝者^持二尺^一木^一ハ^ハ伝^信

一、伝ハ、ハヤ馬ナリ、ミヤコカ、ドノ国エナリトモ、フレ
コアルトキハ、ハヤウチヲ立ソ、一^{118ウ}里^二里^一ホトツバニ、
タビヤラメ、ソコニ、足ノハヤイ馬ヲタテ、ヲイテ、フレ
テ、トフル者カ、ノリカエ^レメ、下^ソソ、ソレヲ、乗ト云イ、
伝ト云イ、置トモ云ソ、ハヤ馬ニ^{ツテ}下^ル者ハ、一尺バカ
リノ、五[」]所^一フウシタヲ持ナリ、此カ、天子カラ、ハヤ打ニ
ツテ、下ルシルシノ心ソ、セキモ、コレテ、ヤウモナウ、ト
フルソ、御史大夫ノ印ヲ、フウスルケナソ、ワリフノ心ソ、
乗伝ハ、ミトコロヲ、フウスルソ、乗伝者参封^レ之^有二期^一会^ニ
者^累封^レ之、^ハナ^ン月、^イク^日ニ、ナト、カキリアツテ、行^ハ
者ハ、カサネテ封ソ、両端各封凡^四封^一乗置^伝者^五封^一
レ^之両^一端^各二[」]中^一央^一也、五トコロ封ソ、輶伝再^一封^一
一馬^一封^一、コチニセヌ^ヲナリ、コマカニハ、シラヌソ、輶ハ、
使者ノ、ノル車ナリ、エニメ、カルイソ、此ハ、トヲウ田舎
ナトエ、下ル者ハ、馬ニノルソ、ミヤコノ中テ、五里六里ノ

⁶ 補った箇所のうち、「見^下若^レ覆^ニ夏屋^ニ者^上矣[」]については、国会本に補入として見られ、叡山本には見られない。「見^ル若^レ斧^者一矣[」]については国会本・叡山本ともに見られる。

アイダ、ノル車也、^ス駝一封、大氏国出ニ封^{ノタク}囊一脊^{セナカノ}上^エ
 如^ク二一封土^ノ然^{シカリ}、大氏国ハ、ドチニアルヤラ天竺ノサカイ大
 宛^{エン}国ノアタリカ、大宛ハ名馬ノ、ヅル国ナリ、橐^{タク}ハ、フクロ
 ナリ、小フクロノ口ヲ、ユイ、フウシタヲ、セナカノ上ニ、
 ワイタヤウニ、肉ガ、高アルソ、又土ヲ、一マルメテ、ワイ
 タニモ似タソ、一封土ハ、土ヲ小マルウ、ツクネタヲ、一^{119ウ}
 封ト云タソ、^ス書^ス數百一封陳遵治^ス書^ス口^ス占^ス一^ス蒙求ニア
 ルソ、車ノクサビヲ、井エ入テ、客ヲト、メク^{タカ}者ソ、古人
 ノ口^ス占^スノ書カ、詩カ、數百封アツメタソ、口^ス占^スト云ハ、口
 スザミトヨムソ、口^スノアソビワサニ作タ詩ヲ、口^ス占^スト云ソ、
^ス華^ス一封祝^ス寿^ス、此ハ華^ス^{華山ハ山ノ名、仄ナリ}封人ソ、前ニアツタ、穎^ス
 一ガツレソ、華山ノサカイメノ、封人ナリ、華一カ、堯ヲ、
 イウウテ、云タ、三多ノコアリ、多男多寿多福ト云タソ、ヲ
 ノコ、モ多ク、寿命モ多ク、福德モ多ウ、ヲリアレト、祈タ
 コアルソ、^{120オ}活^ス一^ス戸^ス一、前ノ比屋ノ心ソ、戸モ一^ス屋モ同
 心ソ、^ス雲^ス一^ス雲ガ、山ヤ桜ヤナドヲ、ヲ、ウタヲ、封スルト

云ソ、^{120ウ}年号^ス一^ス元^ス一、前漢ノ武帝ノ年号ナリ、^{120ウ}人名^ス一^ス張建
 一燕子楼ハ、排勻ノ張氏ノ所ニアリ、張一カ、ツカウ妓女
 アリ、ヨウ舞ウソ、^ス盼^ス一^ス々ト云タソ、燕子楼ニ、イツモ居
 タソ、張ガ死メ、ノチ、ドコエモ、イカイテ、燕子一ニイタ
 ソ、燕子一ノ詩、三百首作タソ、白樂天序ヲ、カイタソ、白
 モ三百^{音ハ}作タソ、燕子楼中霜月苦、秋宵只為^ニ一人^ノ長^シ、此
 楼^{音ハ}〔〇中〕ニ、妓女カ、ヒトリイテ、張カヲヲ、思テ、霜ノ、
 スサマシイ、月ノサエタニ、モノヲモイメ、苦ムホトニ、一^{120ウ}
 秋ノ夜ハ、吾レ一人ノ為ニ、ナカイヨト云心ソ、^ス李正一
 牡丹詩ニ、^ニ国色^ニ朝酣^ス酒^ス、アサバケニ、ヨウタ色ノ如ナ
 ソ、花ノ色ヲ云タソ、^ス姓氏^ス渤海ニ、此氏アリ、^ス炎帝^ス之後^ス一^ス鉅^ス
 為^ルニ^ス黄帝^ス師^ト、炎帝ハ、神農ナリ火徳ナルユエニ、炎帝ト云ソ、
 炎ハ火ナリ、ソレヲ封鉅ト云タソ、此カ黄帝ノ師トナツテ、
 物ヲ、ヲスエタソ、封ヲ、氏ニシタソ、^ス後漢^ス侍中^ス一^ス岌^スト云
 者アリ、侍中ハ官ノ名ナリ、^ス後漢^ス書^スニハ、ミエヌソ、^ス一^ス孚^ス
 字^ハ処道^{ナリ}外^ス総^スニ^ス機事^ス一^ス内^ス參^スニ^ス密^ス一^ス謀^ス一、公界ノ機変ナコヲ、ヒツ

7 国会本・叡山本ともに、この側注部分が活一の直後の本行として見られる。

タバネテ、サバイタソ、心ノ中ノ機バタラカシデ、スル^{121オ}

ソ、内^{ヘー}、内^タデハ、イカニモ、晋ミツスル大
事ノ談^合ノ人^数ニモマシツテ、^ヲト、ノエタソ、キテン
ノアル者ト、ミエタソ、晋載記^晋書ハ、総百三十卷ナリ、未

ニ載記アリ、三十卷ナリ、載記ハ秦趙燕ノ前後ノ主ノ伝アリ、
ソノ臣下ノ名ハ、ダサヌソ、ソレ^ノノ国主ノ伝ノ中ニ、臣
下ノ^ヲハ、アラウソ、此ノ封孚カ^ヲモ、ドノ伝ノ中ニ、アラ
ウソ、カサネテ可^レ考ナリ^{ヘー}延伯字仲連^{三世}同^レ財^為梁郡
太守^有高士風^ニヲウチ、^ヲヤ、吾マテ、三代、同ヤウニ、
カワラス、財宝ヲ以テ、^ヲモカ、ヌソ、一代、二代ハ、サア
ルソ、三^代代同^シヤウナ^ヲモ、マレナソ^{南史}晋宋ノ後ニ、
南北ノ二朝アリ、ソノ代ノ^ヲヲ、シルイタヲ、南史北史ト云
ソ、コ、ニハ、南史ニアリトシタカ、南史ニ伝ハ、ミエヌソ、
^{ヘー}孝^琰字士元^位秘書丞^一風流自^立威儀間^雅^{北史}孝琰
ハ秘書丞ノ官位ニナツタソ、天子ノ秘書ヲ、ツカサドル官ソ、
尚書ナトノ類ソ、文官ナリ、風流ノ業ヲ以テ、^ヲノレト人ニ
シラレ、立^身シタソ、威^一、ナリフリ、イヤシウナイソ、間

一ハシツカニ、タ、シイ心ソ、閑雅トモアリ、北史ヲミルニ、
伝アリ、^{（衍む）}サウナガ、ミエヌソ^{ヘー}軌^字広^度為^ニ「^{122オ}務^一」^{ソトム}

徳慎^一言^遠「^レ倭防^一」^{カシ}四^戒「^一ニハ、徳^一行ノ方^一」
^{ヲツハシム}「^ヲト^ヲサクル^ニフセク^{カタマシキヲ}」

ヲ、ツトメテ行ソ、ニニハ、慎^一、モノヲ云^ヲヲ、ツ、シム
ソ、ワルイ^ヲハ、カリソメニモ、云ウマイ^ヲソ、三ニハ、
遠^一、倭^人ニハ、チカツクマイソ、人ワルイネデマガツタ者
ニハ、チカヅクマイソ、イカニモ、トヲノイテ、ヨイ人ニハ、
チカツカウス^ヲソ、四ニハ、防^一、姦^ハ、カダマシイトヨム
ソ、カンキヨクニ、マコトナイ、ウソバカリテ、コビヘツラ
ウ^ヲソ、ソレヤウナ者ヲハ、フセキサケテ、身チカウハ、ヨ
セマイソ、定メテ、此ノ四ノ戒^一ノ文ヲカイタソ、子^孫ニ、
ノコサウ心ソ、ヨイ^ヲドモソ、座右銘^ト云^ヲヲカイテ、座敷
^{122ウ}「^一ソハニ、ハリツケテ、タチイニミテ、^ヲコナイ修スル
ソ、程正叔カ、四箴ノツレンソ、古文真宝ニアリ、^{ヘー}倫^字徳
彝識略過^レ人自致^ニ卿^相「^唐唐書列伝ノ十六ニアリ、^字ヲ
以テ、時ニアラワレテ、知レタソ、封^一ガ、マダワカイ時ニ、
ヲヂノ慮思道ガミテ、云タソ、此兒識略過^レ人^当自^一、ト

云タソ、ヲチノ慮一カ、封一ヲ、此ノ児ト云タソ、一ノ向ヲ
 サナイ時トミエタソ、智慧、心ノハカリヲモ、人ニスキタソ、
 自然卿相ノ位ニ、イタラウト云タソ、ソノノチ、僕射ノ官ニ
 ナツタソ、宰相ニハ、ナラヌソ、一ノ赦ハ、冀州人ナリ、一
 北東ノ国ナリ、字ハ碩夫唐会昌中除ニ翰林学士ニ作レ詔慰ニ辺
 一将傷夷者ニ曰傷居ニ尔体ニ痛 在ニ朕躬ニ帝賜以ニ宮錦一⁸、
 会昌ハ唐ノ武宗ノ年号ナリ、仏法ヲ、此会昌年中ニ、滅セラ
 レタソ、三武ト云タ、ソ、一ノナリ、仏法ヲ、タヤシ、寺
 ヲヤフリ、カネノ仏像ヲ、クツイテ、俗ノ道具ナドニ、セラ
 レタソ、大悪王ナリ、封ハ、ソノ時ノ、翰一ノ士ナリ、辺塞
 ノエビスノ、サカイメニ、フセキニヲカレタ大将トモ、弓矢
 ニ、死ヅ、キズツスル者多ソ、天子カラ、ナクサメラル、詔
 書ヲ、天子ニカワリテ、封一ガ、イタ、文ノ略ニ、傷居一

123ウ

「キスツキ、ソコナウヲハ、汝^ラ等カ、身ノ体ニアルソ、
 居^{ハカ}ヲ、ヲクトモ、ヲルトモ、ヨムソ、ソチラカ、身ニトマ
 ツテアルソ、痛^{ヘー}一フビンナト思イ、心ニイタミカナ
 シムヲハ、吾カ身ニアルソ、朕ハ、ワレトヨムソ、天子ノワ
 レヲサシテ、イワシマスニ、一字用ニ、朕ノ字ヲ、モチイル
 ヲハ、始皇カラソ、ソノ前ハ、我予ナドノ字ナリ、此ノ詔ノ
 カキヤウガ、天子ノ心ニアウタソ、喜テ、宮一ノ、ニシキヲ、
 タマワツタソ、宮一ハ、御一服ノ心ソ、コ、ニハ、官錦、排勻
 ニハ、宮一ソ、宮ノ字ガ、ヨイゲナソ、
 ○葍^{ホウ}、蔓菁^{マンセイ}ナリ、詩采^{トリ}一采^{ラル}レ菲^{ヒラシ}无^{スル}レ以^トニ下^ヲ一^{124オ}体^ニ、葍ハ、蔓ト
 同ソ、「東勻ノ蔓ノ下ニアリ、国ニヨツテ、名ガカワルソ、
 ヒツキヤウハ、蔓草ナリ、ナノヲソ、蕪菁モ、蔓菁モ、ナナ
 リ、点^ニ破^メ蕪菁^ノ黄^ヲ世界^一、一株^ノ香雪小梨花、風雅集ニアリ、ナ

⁸ 漢文前半部にある「会昌中除ニ翰林学士ニ」については、『韻府群玉』には「会昌初為翰林学士」とあり、異同が見られるが、『玉塵抄』の引用は『氏族大全』のものと一致する。一方、漢文後半部にある「帝賜以ニ宮錦ニ」については、『氏族大全』には「上喜賜以宮錦」とあり、異同が見られるが、『玉塵抄』の引用は『韻府群玉』のものと一致する。なお、惟高妙安の見た『韻府群玉』では「宮」が「官」とあったようだが、米沢本では「宮」である。

タネノ花ノ、ハタケ一ハイニ、黄ニ、サイタニ、梨花カ、一本、マツ白ニ、雪ノヤウニ、サイテ、黄ナ、世界ヲ、チャツト、一点ニ、破シタソ、三月ノ末ニ、ナタネノ花カ、サクソ、梨モ、ソノ時サクソ、陳楚ノ南方ノ国ニハ、蔓(蔓か)ト、云ソ、齊魯ノ東ノ国ニハ、蕘(ゼウ)ト云ソ、草マデソ、関ヨリ、西ニハ、蕪菁ト云ソ、ナノコナリ、趙魏ハ、北ノ国ナリ、ソコニハ、大芥(ケイ)ト云ソ、一芥ハ、コ、ニハ、カラシト云ナリ、尔雅ノ書ニハ、須葑(シュフク)ト云タソ、三字同心ソ、一ノ草ソ、郭璞カ注ニハ、葑ハ、菘(スウ)ノ菜草ソ、菘ハ、ナノコソ、梵網経ノ五辛ノ下タノ注ニ、蔓菁ハ、コ、ノ大根ノコニシタソ、毛詩ノ采葑ノ葑、水辺ノ草ナリ、此ヲトツテ、宗廟ニ供メ祭ソ、下体ト云ハ、草ノ下ノネニ、実カアルソ、葉ヲ、トル時ハ、葉ヲトルソ、シタニ、実カアルト云テ、下ナ、実ヲハ、トラヌソ、上ヲタツトシテ、逆ニシモヲタツトハヌ心ソ、女房ノ本義ヲ守テ、シタノ、ソハナ者ニ、心ヲウツサヌ心ヲ作タソ、下体ト云ハ、草ノ一125オシモニアル、実ヲ云ソ、シタノ位ノ、ヒクイ、ソハナ者ヲ、下体ト云ソ、又采葛ハ、懼(フソリタク)レ讒也、采

葛ノ篇ハ、毛詩ノ四ノマキナリ、国風ノ中ナリ、此詩ハ、周ノ柄(柄か)王ノ時ニ、政(政か)道正ウ明ニナイソ、臣下大小トナク、ツカイトメ、諸国ノ伯主ノ方エイテ、口ニ油ヲヌツテ、王ノヨコ手ヲ、トラル、コヲ云ソ、王ノソハニイテ、ナニモセヌ者ガ、辛勞メ、トラウデタ者ヲ、讒訴スルソ、ソレヲ、ヲソレタ詩ソ、采葛ハ、葛ハカラムシト云ツレソ、クスカツラソ、此ヲトツテ、カタビラニスルソ、此ヲトリニデ、一125ウ時モ、君ヲミネハ、ソノマニ、者ガザンズルホトニ、一日モ、三125エ月、四月ノヤウナソ、采葛(セウワ)蕭、ソツトシタ草ナリ、宗廟ニ、ソナユル草ナリ、此カ、葑ノ心ソ、一日君ヲミネハ、秋三月ヘタテタ心カスルソ、蕭ハ、大事ノ使スル臣ニ、タトエタソ、ナニタルコヲカ云テ、讒セウスヤラ、ヲソロシイソ、采艾(ア)、此ハ、エモギナリ、ヤマイワイヤス薬草ナリ、一日モ、君ヲミネハ、三年ヘタテタ如ナソ、艾ハ、急事ノイソキノコニ、使スル臣下ニタトエタソ、ワルイ病ニ、ナルヤウナソ、トラウエ、ユイテ、色125カタニ云テ、クスシ、ナラスホトニ、艾ヲ、ツカイスル、臣下ニ、タトエタソ、東坡積(テ)ニ草(ホウワ)西湖(ニ)成(ス)堤(ツ)、

モ作タソ、**多**云フソ、芥一ハ、魚ノ骨トモ、シタソ、**磊**
 隗胸、一ハ、石ノアツマツタ心ソ、ムネノフサガツテ、ウツ
 ノトシタニ、酒ヲ一盃、ソ、イタレハ、ナニモ、カモ、ヨ
 シ流タ心ソ、酒以澆ニ胸中之一、**谷**酒ヲハ、澆書トモ云
 タソ、胸中ニ、アル書典ニ、ソ、ク心ソ、**活**一、酥一、ソノ
 ムネハ、^{128オ}「ヨイ者ヲ、クウムネノ心カ、不レ詳、**氣**填一、
 氣ノムネニフサカツタ心カ、**錦**繡一、胸中、文字文章ノ、
 ケツコウナフハ、アヤ、ニシキ、ヌイモノ、ヨリモノノ、如
 ナカ、アル心ソ、**錦**繡トモシタソ、
 ○**兇**^{ケウ}**拔**^{サク}一、去一邪一、**憂**ナリ、ウレイ、又ハ、邪惡ナ
 フドモヲ、ヒキヌイテ、ステタソ、**史**記カ、除一報ニ千古
 一、ウレイ、ヤマシイフヲ、ノゾキ、ハラウテ、千古、万古ノ、
 昔ノ君王ノ恩ニ、報シタト云心カ、前後ノ、文ヲミネハ、報
 スル心カ、シレヌソ、君王ニ、報スル心カ、千古トハカリハ、
 ヲボツカナイソ、○**甞**、人行一^{トメ128ウ}声ナリ、**莊**一^{トメ128ウ}然一、**而**喜、
 人ノクル足ヲトヲ、キイテ、喜タソ、クル者ノ、足ヲトヲ、
 キ、シツテ、喜タカ、タ、客人ヲ、喜テアルカ、**莊**子ヲミタ

ラハ、ワケカ、シレウソ、**晁**張一然至ト、**谷**モ作タソ、○
 洶、水勢ナリ、水ノデ、クルナリソ、又ハ、水ノ鳴ナリ、**楚**
 辞ニ、水声一トアリ、タ、水ノ声ガ、本ソ、○**凶**、**書**一^{ツモ}
 極備一、^{キウマリソナワレハアシ、}此ハ、尚書七ノマキノ、**洪**範ノ篇九一疇ノフニ
 云タソ、五行三徳ナトノフヲ云タソ、雨ヤ、暘ヤ、**燠**ヤ、^{ユク}
 寒ヤ、風ヤ、**時**ヤ、**シ**ノフソ、此カ、一モキワマリ、ソナワ
 ツテ、スキタレハ、凶ソ、ソレノカ、ソフ時一々ヲ、チカエ
 ス、次第メ、ヨイ^{129オ}「コロニ、雨フリ、日テリ、風吹キスレ
 ハ、ヨイソ、コロスクレハ、歳モ、凶年ト云テ、草木不レ熟ス
 ルソ、**孟**子^{メウ}ニ河内一ハ、河内ノ国郡、歳ノ凶惡ナフカ、不レ考
 ソ、**礼**記ニ、治^ム二歳之一^ノ豊^ワニカ、不レ考ソ、歳ノ凶歳、豊年ヲ、
 ヨウヨウ、治タ心カ、**四**凶、**舜**去^{サク}ニ^ワ一**左**文^{サク}左伝ノ十ノ
 文公ノ十八年ノ伝ニアリ、舜ノ堯ノ臣下トメ、四門ヲヒライ
 テ、众一賢ヲ、賓礼セラレタソ、賢人ヲ、ウヤマイタツトビ、
 マラウトノ如セラレタソ、四凶ノヤカラヲハ、流レタソ、**渾**^{コン}

敦^{トシキウ}窮^{クウ}奇^キ擣^{コウ}杭^{コウ}饗^{ケン}殮^{ラン} 10 此四族ヲ、四凶ト云ソ、天下ノワル者

129ウ

ナリ、木ノ「クイノヤウニアリ、大グライハカリ、シツナ

トシタ者ナリ、カウワルイ者ヲ^(テカ)ハ、ワルイ罪ヲ、ヨウ明ニ、

ハカルニ、死罪ニ行ウズ、ツミデハ、ナイソ、用ニタ、又、

食^シツイヤシマテソ、サルホドニ、流サレタソ、

○**訥**、**詩降**ニ此^{クダス}鞠^{ノキク}一、毛詩ノ十二ノマキ、節南山ノ篇ノコト

ハナリ、昊天不^{ヒトシカラ}レ^レ傭^{ヨウ} 降^ノニ此^ノ鞠^ヲ一、国ノ政ヲツカサドル者カ、

ヒトシク、ト、ノエヌホドニ、此ウツタエノ多イ俗ヲ、天カ

ラ、下レタソ、節南山ノ詩ナリ、大夫ガ、幽王ノ政ヲセイデ、

无^ム道^{ダウ}ナヲ、ソシツタソ、

○**頤**、**敬** 貞^{ウヤマウ}一^{130オ}ナリ、大ナ心モアリ、一^{タルカ}君徳ト、尔雅

ニアリ、大^{130オ}一^チナ心ソ、又一^チ一^チハ、温貞トモシタソ、人ノ

10 原本に忠実に翻刻したが、本来は「擣^{タウ}杭^{ゴウ}饗^{ケン}殮^{ラン}」が期待される。

11 国会本・叡山本には「貞^チ敬^{ウヤマウ}ナリ」とあり、『韻府群玉』当該箇所には「見敬」とある。

12 原本、および国会本・叡山本は、いずれも「毛詩」とするが、『韻府群玉』当該項目には「淮南」とある。『淮南子』主術訓に「水濁則魚噞」という用例があり、「噞」ではなく「噞」であるが、当該箇所は「淮南」が正しいと推される。なお、韓嬰『韓詩外伝』卷一には「水濁則魚噞」とある。

13 国会本には「江鱣^{タチマテ}乍^{タチマテ} 險^{タチマテ}一、險ノ心イカン、鱣モミエヌソ、音モ不^レ知ソ」とあり、叡山本は国会本と概ね同じだが、「乍」の後の「險」を欠く。『韻府群玉』当該箇所には「江鱣^{タチマテ}乍^{タチマテ} 噞^{タチマテ}一」とあり、東大本が原態を残すものと推される。

14 原本、および国会本・叡山本は、いずれも「鱣^{タチマテ}發^{タチマテ}」とあるが、杜甫「題張氏隱居二首(其二)」には「霽潭鱣^{タチマテ}發^{タチマテ} 春草鹿^シ呦^シ呦^シ」とあり、「鱣」は「潭」と「鱣」が混じた誤りと推される。

温^{フン}一和ニ、ニツコラトシタナリソ、**人名**一何^カ一後漢^カ人^カ尚^カニ

氣^キ節^{セツ}一与^ヨニ李膺^リ一善^{ゼン}、一、氣ヲスツクト以テ、節義ヲ、本ニ

シタソ、義者ナリ、漢書ニ伝ハナイソ^カ戴^{タイ}一、安道ガ次ノ

子、二番メノ子ナリ、二人トモニ、不^レ仕^ヘ、高^{カウ}一

士ノ風アルソ、○噉^ノ、魚^ノ口^ノ上^ノ見^ユ、魚ハ、水ヲノムニ、口ヲ

ソラエ、アケテノムソ、**相如伝**ニ延^ノ二延^ノ一^ノ頸^{クヒ}一^ノ然^{タリ}トヲ

ウミアゲテ、望タナリソ、毛詩¹²ニ、其水濁^ル則^ル魚^ハ一^ノニゴ^ス

ツタ水ヲ、ノムガ、イヤサニ、口ヲア^(ノ)グ^ルルカ、**庾肩吾詩**

江鱣^{タチマテ}乍^{タチマテ} 噞^{タチマテ}一、鱣ノ音不^レ知ソ¹³、杜詩、鱣¹⁴發¹⁴トアリ、**テン**

トヲ^{130ウ}一^ノホエタソ、シンノコエ、**テン**ノコエアリ、○禺、

番^(廣カ)一今慶^{ハグ}州ナリ、番禺^{ハグ}ト漢書テ、景徐ノツヨミアリ、コ、

ニ、入タホドニ、ゲウトヨマウソ、番君^{ゼイ}吳芮^{ゼイ}ハ、バクノ者ナ

リ、番禺ハ、漢書デバグトヨメタソ、此句ニ、入タホトニ、
禺、ゲウトヨマウソ、

○邕州名ナリ **人名**、蔡一、漢人工^{ナリ}篆法^ニ、**テ**ン字ヲ、ヨ

ウカイタソ、虎賁士貞類^レ一、詳^レ飲、孔融一邕ト中ヨシナ
リ、邕カ死テノチ、一士貞カ、邕ニヨウ似タソ、孔カ

ツネニ、虎一ト酒ヲノウタソ、ソコデ、孔一カ云タ^{ツカ}ヲ、
老成人^{131オ}一ナシトハイヘトモ、尚典刑アリト云タソ、ソノ

ナリカ似ト云心ソ、虎賁ハ、武官ニアルガ、コ、ノハ、人ノ
名カソ、不^レ考ソ、^{ヒライテ}李一、鬻^レ文^ヲ獲^レ財^ヲ、**本**伝漢書

ニ伝アラウソ、可^レ考ナリ、文ヲカイテ、礼トモトツテ、財ヲ
得^レカ、^リ何一、杜詩ニ、有^リ憑^ニ一^ニ覓^ニ中^{モトムル}一^ノ榿^ノ木^ノ栽^上、杜

カ何一ヲ、タノンデ、榿ノタネヲ、コイモトメタト云^ツアリ、
蜀ニ、此木多ソ、十年スレハ、大木ニナルト云ソ、コ、ニハ、

ハリノ木ト云ソ、
○嗺、声也、人ノ声テソアルラウ、亦作^ト雍ソ、毛詩ニ、肅

雍和^一鳴、雍ハ、ヤワラクトヨムソ、**詩**離^{ヨウ}一々^{トメク}鳴^{アリ}一^ノ廠、ヤワラ
キ鳴ク^ソ、

一^{131ウ} **一** ^一雍、塞也、フサカル心ソ、 **一** 灘、水名ナリ

○饗、熟食ナリ、ナニトヨムヤラ、**孟**子ニ、一^一食^メ而^{マル}治^一、ト
云ハ、ナニトアル心ソ、食ヲト、ノエテ、飯^ニヲミ^テ、ウム

ホトノアイタニ、ヲサマツタ心カ、ウマ^一く^ト、モノヲ食テ、
ハタラク心カ、^{ハツカサトル}外饗、内^一掌^ニ **王**及^ヒ世^ノ子^ノ后^ノ膳^ヲ羞^一、^一

ハ、^一シコ、ニ、内膳^ノ大夫^{ナト}、云心ソ、饗ハ、膳ノ心ソ、天子、
太子、^一后^ノ、御膳ヲ、ト、ノユルソ、外^一掌^ニ **一**祭^ノ太^一祀^一及^ヒ

賓^ノ客^ノ飡^一、上ノハ、内ノ心、宗廟ノ祭ノ膳、及^ヒヨソカラノ
賓客ノ膳ヲ、ト、ノユルソ、此ハ、外^一ナリ、ソトノ^一ソ、

礼秋^ノ官^ノ礼^ハ、不^レ考ソ、
一^{132オ} ^一餽^{シユン}、^一未^タ就^{ナラ}、**昭**廿^ハ五^{ナリ} ^一熟^一食^一也、博雅ノ書ニハ、

人ノ餘ヲ餽ト云ソ、ワケノ^一ソ、礼記ノ外饗ノ餽ト云ハ、
ワケノ^一テハナイン、左伝ヲ考ニ、昭廿五ニハ、ミエヌソ、

¹⁵ 『韻府群玉』にも「祭祭祀」とあるが、『周礼』卷一・天官上には「外饗掌外祭祀之割烹、共其脯脩、……凡賓客之飧饗饗食之事、亦如之。」とあ
る。

タ、シ、ナマ考ニシタカ、^{ツラス}戸饗、有^リ二母之一^ノ一^レ、**詩析**

父祈^キ父^ホノ篇ハ、毛詩ノ十一ノマキニアリ、子^{イス}勞^{エキニ}役^{ツラス}母^{ドル}一^主

ニ^ノ事^ヲ、吾ガ子ガ、陳^{陳ハ}エ立テ、アトニ人モナイホトニ、陳^{陳ハ}

テノ、クイ者、兵糧ヲ、ツラネ、色々ノ物ヲ、ツラネ、ト、

ノエテ、《母カ》ヤル^ツソ、^{イス}勞^ニ役^ハ、トヲウ、陣エ立テ、辛

勞スルソ、母カ、アトニ、人モナイホトニ、サキノ陣テノ、

クイ者ヲ、ツラネ、ト、ノユルソ、¹³²祈父^ツ一^ノ詩ハ、周ノ宣

王ヲ、ソシツタソ、人ヲ、モチイラル、^ツワルイソ、^{シバ}祈父

ハ、官ノ名ナリ、^{シバ}司馬ノ職ナリ、兵軍ノ官ナリ、軍ハ、馬ガ

干要ナルホドニ、^{キウバツ}司馬ハ軍ノ^ツナリ、^{シバ}祈父ハ、六軍ヲ、ツカ

サトルソ、^{キウバツ}軍ニ、九伐ト云法カアルソ、昔ハ、^ツ祈ト、^ツ圻ト、

畿ト、^ツ一^ツニ、^{カウ}用タソ、^{ダイ}祈ハ、^{カウ}畿ノ心ソ、^{カウ}王^{カウ}畿^{カウ}封^{カウ}内^{カウ}ノ兵^{カウ}甲

(側注：甲ハヨロイン) ^(朱)「ヲ」、^{カウ}シン^{カウ}ダイ^{カウ}スル^{カウ}官^{カウ}ソ、^{カウ}王^{カウ}、^{カウ}畿^{カウ}内^{カウ}ヨリ、

ヨソエハ、ハタラクマイ^ツソ、今宣王ノ人ヲ、ワルウ、^ツ用テ、

トヲウ千里万里ノ外エ、^ツ祈^ツ父^ツヲ^ツツカ^ツワ^ツル^ツ、^ツソ、^ツ祈^ツ父^ツノ^ツ官^ツニ、

イル者ハ、^ツ王^ツノ^ツ爪^ツ一^ツ牙^ツナ^ツリ、^ツ人^ツノ^ツ身^ツニ^ツハ、^ツ爪^ツ牙^ツ干^ツ要^ツソ、^ツソ^ツレ^ツガ、

身ヲ、^ツハナ^ツレ^ツテ、^ツト^ツヲ^ツ一^ツウ^ツ、^ツ陣^ツエ、^ツタ^ツツ^ツソ、^ツソ^ツレ^ツヲ、^ツソ^ツシ

ツタソ、^{タスク}「佐^ツ饗^ツ、^{ナムル}一^ツレ^ツ得^ツレ^ツ嘗^ツ、^{テハ}一^ツ闘^ツ得^ツレ^ツ傷^ツ、¹⁶饗^ツノ、

クイモノヲ、^ツシト、^ツノ^ツユル^ツナ^ツリ、^ツト^ツモ^ツ一^ツニ、^ツタ^ツス^ツケ^ツテ、^ツテ

ツダイメ、^ツクイ^ツモノ^ツヲ、^ツキ^ツツ、^ツモ^ツツ、^ツス^ツレ^ツハ、^ツス^ツウ^ツテ^ツミ

ツ、^{ナム}ク^ツウ^ツテ^ツミ^ツツ、^ツス^ツル^ツホ^ツド^ツニ、^ツ嘗^ツル^ツ一^ツガ、^ツナ^ツウ^ツテ^ツハ、^ツカ^ツナ^ツワ

ヌソ、^ツ佐^ツレ^ツ闘^ツハ、^ツケン^ツク^ツワ^ツコ^ツウ^ツロ^ツン^ツヲ、^ツト^ツリ^ツサ^ツエ、^ツ合^ツ一^ツ力^ツナ^ツド

スレハ、^ツ必^ツテ^ツヲ^ツライ、^ツワ^ツル^ツウ^ツス^ツレ^ツハ、^ツ死^ツル^ツ一^ツアル^ツソ、^ツ此^ツハ、

タトエソ、^ツ善^ツ事^ツヲ、^ツス^ツル^ツモ^ツノ^ツヲ、^ツタ^ツス^ツケ、^ツ助^ツ成^ツス^ツレ^ツハ、^ツ善^ツイ

一^ツニ、^ツア^ツツ^ツカル^ツ一^ツアル^ツソ、^ツソ^ツレ^ツヲ^ツハ、^ツタ^ツス^ツケ^ツヨ^ツソ、^ツ悪^ツヲ^ツ佐^ツク

レハ、^ツ悪^ツヲ^ツロ^ツサ^ツウ^ツ一^ツアル^ツソ、^ツソ^ツレ^ツヲ^ツハ、^ツス^ツテ、^ツ助^ツケ、^ツサ^ツヤ

ヲ^ツモ^ツツ^ツ一^ツナ^ツカ^ツレ^ツト^ツ云^ツ心^ツソ、**王子晋詞**¹⁷ニ^ツア^ツリ^ツト^ツシ^ツタ^ツソ、^ツ王^ツ子

一^ツ晋^ツハ、^ツ鶴^ツニ^ツノ^ツツ^ツテ、^ツ仙^ツニ^ツナ^ツツ^ツタ^ツ人^ツカ、^ツ隼^ツ王^ツヤ^ツラ^ツノ^ツ王^ツ子^ツナ

16 国会本は「佐饗一レ一得嘗一、闘得レ傷ハ、(叡山本も大同)とするが、『韻府群玉』には「佐饗、一レ得嘗一闘得傷」とあり、東大本が原態を残すか。ただし、「饗ヲ佐ケテハ嘗ムルコトヲ得、闘ヲ佐ケテハ傷ヲ得」と訓むのであれば、東大本の訓点にも疑問が残る。

17 『韻府群玉』当該項目には「詳闘」とあり、去声二十六宥・闘「佐闘」には、「佐饗得嘗、一レ得傷。此言為善則預、為惡則去。王子晋論」とある。なお、『韻府群玉』の直接の典拠は、『顔氏家訓』省事篇の「王子晋云、佐饗得嘗、佐闘得傷。此言為善則預、為惡則去、不欲黨人非義之事也」(出典は『国語』周語下「佐饗者嘗焉、佐闘者傷焉」と推される。

リ、

○雍^{ヨウ}、和也、ヤワラクトヨムソ、亦作^レ離^ト、又辟^ニ靡^ニ經^ニ史^ニ多^ク作^スニ

雍^ノ字^ト今依^ニ出^ル処^ニ附^ス于此^ニ、雍^ハ、又離^ニモカイタソ、又辟

一^ヲ、靡^ノ字^ニ、カイタソ、五^経ヤ史^記ニ、靡^ヲ、雍^ノ字^ニ、

カイタソ、今ハ、ソノ出^ル処^ニ、ヨツテ、コ、ノ雍^ノ所^ニニダイ

タソ、^レ時^ニ雍[、]於^ニ變^ル一^ニ、尚書^ノ一^ノ堯典^ノコトバ

ナリ、天下^ノ庶民^ガ、堯^ノ上^ノ徳化^ニ、ヨウ變^シカワリテ、

風俗^ガ、ミナ、ヤワライタソ、^レ辟^雍、於^ニ樂^ニ一^ニ、毛

詩^ニアリ、辟^一ハ、廟堂^ノ類^{ナリ}、天子^ノ、コ、デ、宗廟^ヲ、

マツリ、酒^ヲ一^ノウテ、喜^ヒ樂^シマシムソ、辟^ハ、壁^ノ心

ソ、水^カ三方^メクルソ、南^ノ面^ハ、水^ハメクラヌソ、^レ三

雍^ハ、辟^雍明^堂灵^臺ナリ、此^ノ三^所テ、色^々ノ、威^儀アル

ソ、^レ西^雍一[、]于^ニ彼^一一^ニ、毛詩^ノ十九^ノ振^鷺ノ篇^ノコト

バナリ、此詩^ハ、夏^殷ノ二^王ノ子孫^ノアルガ、キテ、周^ノ宗

廟^ノ祭^ヲ、タスケタ詩^ソ、振^一鷺^ト于^ニ飛^ト于^ニ彼^西離^一、振^ハ、

ムラカル心^ソ、鷺^ハ、祭^ヲタスケテ、来^タ、君^ノ徳^ノイサギ

ヨイヲ云^タソ、離^ハ、沢^{ナリ}、堂^ニ水^カアルヲ、祭^ル人^ヲ鷺

ニタトエタソ、于^ニ彼^一一^ニ、ナラウタガ、点^本ニ、于^ニ彼

一^ニ一^トアリ、上^句ニ、于^ニ飛^トアルホド^ニ、下^ノ一^ニ于^ハ、

于^ニト、ヨムカ、ヨサウナソ、^レ肅^離一^ニ和^鳴ハ、詩^ノ

有^レ磬^ノコトバナリ、毛詩^ノ十九^ノマ^キニアリ、有^レ磬^ノ詩^ハ、

初^テ、樂^ヲ作^テ、太^祖ノ廟^デ、諸^ノ樂^ヲ、合^セテ、奏^スルソ、

王者^ハ、天下^ヲ、ヲサムル^ヲ、定^テ、礼^ヲツクリ、功^成テ、

樂^ヲナサル^ソ、周^ノ宗廟^ノ庭^ニテ、奏^シ、先^祖ノ功^徳ソ、

コトバニツクリ、ホメテ、サテ、樂^ニ入^レテ、ウタウソ、有^リ

^レ磬[、]樂^ヲスル師^ノソ、目^ガシイタ者^{ナリ}、日本^ノ座^頭ノ平

家^ヲ話^ル如^{ナソ}、業^チヤ、虞^チヤ、牙^チヤ、羽^チヤト云^者ヲ、

木^ヲタテ、ソレニ、カケテ、タテニシタリ、ヨコニシツメ、

応^チヤ、田^チヤ、鼓^磬一^ニ祝^ト云^木ナリ、祝^ノ心^{ナリ}、祝^ハ、

始^ル心^ソ、樂器^{ナリ}、漆^桶ノ如^トアリ、ソレヲ、ウツテ声^ヲ

18 原本、および国会本・叡山本は、いずれも「雍」とするが、『韻府群玉』当該箇所は「離」とする。抄文にあるとおり、「雍」と「離」とは通用するため、校訂は施さない。なお、次の見出しの「肅離」について、原本、および国会本・叡山本は、いずれも「離」とする。

ナスソ、圍ト云モアリ、圍ハ垂心ソ、物ヲカケテサグルソ、
 諸ノ楽ノ、ダウグヲ、ソロエナラベテ、楽ヲ奏タソ、シユク 肅ヨウ 離
 和ス 鳴、先祖是聽トアリ、コレヲク 樂ノ音ノ、ヤウラキ、ツ、シウタ
 声ヲ、周ノ先祖后稷公劉タチノ、キイテ、ヨロコバレタソ、
 〽同名雍、蔡イッテ 謂ニ顧ニ 顧ク 一曰、卿必成レ名以ニ吾ト 名与ニレ卿、
 蔡雍ハ、蔡邕ナリ、邕ト雍トノ字ヲ、一ツニ、用タソ、顧雍
 ニアウテ云タソ、ソチワ、名ヲナメ人ニ知レタソ、吾カ名ノ、
 蔡雍ノ雍ト、ソチノ顧一三五ウ 一 雍ト同シ名ノ字ヲヤト云タソ、謝
 安石ト王安石ト、墩中テ、名ヲ争タト云ヤウナソ、墩ハ、
 ツカナリ、顧雍ハ、字ハ元歎ソ、蔡邕ニソウテ、琴ヲ学タソ、
 伯皆カホメタソ、三国ノ時ノ者ナリ、呉ニツカエタソ、詩篇
 離禘太祖也ヨウ 離ノ詩ハ、毛詩ノ十九ノマキニアリ、周頌ノ中
 ナリ、魯頌周頌トアリ、頌ハホムル心ソ、周ノ徳ヲホメ、魯
 ハ、周公旦ノ徳ヲホメタ詩ソ、一ハテイセリ 離禘ニ 太祖ニ 也ト云ソ、太祖
 ハ、文王ナリ、文王ヲ祭テ、禘ノマツリヲナイタソ、禘ハ、
 祭ノ名ナリ、禘ハ、大ノ心ソ、ヲ、イナル心ソ、四時ニ大ナ
 禘ノマツリヲスルソ、小ナ祭一三六オ 一 ヲ、カウ 禘ト云ソ、三年一禘五

年一禘ト云ソ、禘ノマツリハ、三年二一ハ 度アリ、禘ノマツ
 リハ、大ナ祭チヤホトニ、五年ニ一度アルソ、侖吾ニ、禘ス
 デニ、クワン 灌メヨリノチ、吾コレヲミマクホツセスト、孔子ノイ
 エタソ、有ニ来トキニ 離タル 一、至ルトキニ 止タリ 肅タリ 一々、相タスクルニコレヘキアリ 維辟公、
 天子穆々、毛詩ノ離ノ篇ノコトバノ初ナリ、禘ノ祭ヲタスケ
 テ、廟エクル公タチノナリ、離々ヤワライテ、和シタソ、廟
 内エ至ルトキニ、イカニモ、ツ、シムソ、相一、祭ヲタスケ
 テ、クル人タチハ、皆公ノ位ノ人ソ、タ、ノ人ハコヌソ、
 諸侯大名タチソ、天子ノ先祖文王ヲ祭ラル、ホドニ、天子モ、
 ツ、シマル、ソ、一三六ウ 穆々モツ、シム心ソ、歳名 著チヨ 一
 戊ノ歳ノ名ナリ、十干十二支ノカラ名アリ、字ノ心ハ、史記
 ノ律曆志ヤラニ一タアルソ、尔雅ノ書ニ、支干ノ名アリ、字
 ノ心ノ注ハナイソ、人名 一、字ハ、仲弓ナリ、薛侯トヲ
 クラレタソ、薛ハ、小国ナリ、ノチニ、下邳公ニ進テ、位ガ
 アカツタソ、四科ノ中テ、ハシメノ徳行ノ科ノ众ソ、顔回ト、
 ヲナシ位ナリ、〽蔡 一、〽顧 一カソハ、上ニアツタソ、
 離、辟一亦作レ雍互見ニ雍勻一、上ノ雍ノ所ニアツタソ、
 〇

靡^(靡か)、疽^ソ也、或作^ハ癰^ト、**鄭崇^(ハツス)伝^(ハツス)發^(ハツス)二頸^(ニ)一**、項羽ガ、將ノ范增

セナカニ疽ヲ發メ死タソ、^{137オ}「鄭崇ハ、直ナ声ヲトツタソ、

クツノヲトニアル^(ヒか)キ、シツタト、哀帝ノイエタソ、西漢書

ニアリ、崇コノシテ、帝ライサメタソ、哀帝ノ祖母ヲ商ニ封

ゼウトアルヲ、色^{マエ}々ノ前ニワルカツタ、引^{マエ}事ヲ云テ、イサ

メタソ、祖母ノイカラレテ、ツイニ商ニ封セラレタソ、ソレ

ヤウナ^{マエ}ヲニ、ヤマイヲ生メ、クビニ癰ヲタイタソ、ソレテハ、

死セイデ、楼エ入ラレテ、楼ノ中テ死ソ、^{クワイ}破癰、一潰

疽^(瘡か) ¹⁹ (側注: 句会平ノ麻ニ瘡ヲ出ソ祖禾切トシタソ) 祖禾反者得車一乘舐^ハ

痔者得車五乘**莊禦冠**破^(破か)一、ヨウノヤフレ、疽ノツブレタ者、

車一乗ヲ得タ^{137ウ}カ、エ心エヌソ、下ノ痔「^{137ウ}ヲ、ネフツタ者

ニ、車五リヤウノセタ者ヲ得タト云心カ、此心ナレバ、カミ

ノヨウノヤフレ、疽ノツフレタヲモ、ネフルカナソメ、車ヲ

得タカ、全篇ヲミネハ、エ心エヌソ、疽ヲネブツタ者アリ、

呉起ハ、自士卒ノ疽ヲ吮^{ネフル}トアリ、痔ヲネブツテ、車五両ノ者

ヲ得モ、アマリナ^(續か)ヲソ、韓略ト云書ノ第四ニ、舐痔ト云^(續か)

アリ、ソコニ、秦王、医ヲ召メ、痔ヲネブラセテ、車五乗ヲ

得タトアリ、莊子ヲヒイタソ、韓略ト云書アリ、ソレニ、

甜^(舐か)痔ト云所ニ、莊子曰、秦王有病、召医舐痔、得車五乗ト

アリ、上ノ、ヨウ、^{138オ}「^(衍か)ソ、モ、ネブルトモ、ナニトモ、

シルサヌソ、車五乗モ、心エカタイソ、莊子ナイホドニ、不

考、寓言チヤホドニ、ナニト云モ、実ハナイソ、

^{クワイ}潰癰、以^テ生^{セイ}為^フニ附贅懸^{フゼイ}疣^{イウ}一以^テ死^シ為^フニ伏^{ハツ}一^ト、**莊**人

ノ生テ、人間ニアル^{138ウ}ヲハ、カリノ^{138ウ}ソ、贅ハ、コブナリ、ソ

ツト、ツイツケタ心ソ、本ノ身テハナイソ、懸一、疣ハヤマ

イナリ、コ、ニ云タハ、サガリフスベヲ云タソ、フスベモ、

コブノツレン、ブラリト、小^{138ウ}袋ノヤウニサガルソ、サテ、懸

ト云ソ、カ、ツタ心ソ、人ノ死ト云^{138ウ}ヲハ、病ノソコニアリテ、

上エ、ハ、デヌソ、ドチイタヤラ、ドコニアルヤラ、ミエヌ

ソ、又ヨウ「^{138ウ}チヤウノ、ハレテ、大ニアツタガ、ツブレテ、

¹⁹ 『韻府群玉』当該箇所には「瘡」とある。『韻府群玉』から引用される「祖禾反」という反切も、「疽」ではなく「瘡」と一致するため、「瘡」と校訂した。「疽」に対する側注は国会本・叡山本にも見られるが、これは「疽」と「祖禾反」という反切とが一致しないことに不審を持った共通祖本の書写者が、『古今韻会举要』を確認して記したものと推される。

ハレテ大ナガ、アトカタモナイソ、死ハ此コトクナソ、漬
ハ、イタミカ、タエカタイト云エトモ、ツフレタレハ、サツ
トハツルソ、病ノ身ノ中ニアツテ、肉ヤ臟腑ヲ、内デハミカ
ブリクラウニハマシタソ、内ハ、レウヂナラヌソ、

○醲デウ、**韓文**沈浸一郁、此ハ、人ノ、ナリ性ヲ云タカ、人
ノイカニモ、沈テ、ウカツホウニ、ウカブセツニ、ナイカ、
アルソ、ホカニ、ウルライアツテ、物ヲヒタイタ如ナアル
ソ、醲ハ、酒ノコイ如ナソ、コウミノアル人アリ、郁ハ、
ニラウナリ、「139オニラウノトメ、ニライノアルヤウナソ、
人ノ性モ、又文章ノ体テイニモ、カウアルソ、ドチヲ云タソ、
韓文ヲミタラハ、ミヨウソ、勻会ニハ、醲ハ、酒ノ厚ナリ
トシタソ、醇々ト、孟子ニ云タ心ソ、醇モ酒ノアツイヲ云
タソ、**歐詩**、139ニ緑バイニ酷寒更一、緑ナ色ノ酒ナリ、冬ノ寒ニ、コ
イ酒ヲノメハ、アタ、カニナル心ソ、**坡詩**ニ、社酒粥面一、
社ノ祭ニ、ノム酒ハ、民カ、吾ノマウ為ニ、ツクルホトニ、

コイソ、ネヂシホリト、土民カ云ソ、ソノ心ソ、粥ヲニテ、
ウマ139ウ「イタハ、ヌメノトアルソ、水ノスギテ、米ノス
クナイ粥ハ、サブメイタソ、坡カ詩テハ、醲コマヤカナリ トヨムソ、
濃トカヨウソ、

醲、楊茂化ス於ニ一ニ、**費偉**伝傳三ニ国志ノ費偉ヒカ伝
ニ、楊茂カフハ、ミエヌソ、化於一ト云、化スルヤウヲシ
ラヌソ、化ト云ハ、ニワカニ、カワルヲ云ソ、ヨウカワル
カ、ワルウカワルカノ、ニソ、酒ニヨウテ、平生人アイノヨ
イウカモナイガ、一盃ノメハ、カワリテ、ヨイモアリ、平生ハ
ヨイガ、酒ガスケレハ、イランシツ、イサカイタガル人アル
ソ、此ハ、ワルウ化スルソ、楊茂ガ化ハ、シラヌソ、ワルウ
化シワ140オ「スマイソ、ヒ肥醲、甘脆一**選**ニアリ、此モ、
ナニノ付ニカイタヤラ、果ニ、甘テ、ハモロイアリ、コエテ、
実ミノヨウ入テ、ウマウ、味ノ厚味ノアルガアルソ、此ハ、上
林苑ノコノミノヲ云タカ、

²⁰ 『韻府群玉』には、「醇醲、揚茂化於一」**費偉**伝とある。実際には費偉伝ではなく、『三国志』蜀書・郗正伝にあり、現行の本文では「播皇澤以熙世、揚茂化之醲醇」とある。本来は「茂化ノ醲醇ヲ揚グ」と訓読すべきところを、『玉塵抄』では「楊茂」という人名に誤っている。

○濃、山色不_レ如_二帰興_一、**坡**坡詩テハ、ナイソ、坡ニソウ

テ、久イタカ、平生ハ、ナニタルノウモナイ者テ、アツタソ、

イトマヲ、コウテ、郷エ帰リサマニ、一首詩ヲ作テ、ヲイタ

ソ、ソノ詩ノ句ナリ、坡カ、此ヲミテ、ヲトロイテ、トメタ

レドモ、帰ソ、坡集ノヲクニノツタソ、山ノ色ハ、コマヤカ

ニ、ヨイトハ云ヘトモ、吾_レ今_一、^{140ウ}故郷エ帰ル、ウレシイ興_{ケウ}

ノコマヤカニハ、不_レ及ソ、坡集ニハ、帰意トアルソ、**活**春

一、春ハ、花サキアタ、カナホドニ、ナニモウルワシウ濃ナ

ソ、_レ露一、ツユハ、秋ノモノナリ、サレトモ、花ナトニハ、

ナン時モ、ツユヲ作ソ、ソウタ、タウクチャホトニソ、_レ興

一、興ハ、人ノヲモイヲ云ソ、_レ望_一、^{ノソミ}山川テナケレドモ、

ソノ人ヲ、ユカシウ思イヤルヲ、望ト云ソ、面_レ白イ人ナトヲ、

思テノソメハ、ノソミモ、コマヤカナソ、_レ一_一ハ、濃ヲ

タ、ウカ、^(タ、ウタカカ)タ、ウテモ云タカソ、淡濃ト云時ハ、淡々濃々ト

イワウソ、_レ一_一、ウマ_一トネムルコアリ、ネムリヲ、

黒甜ト^{141オ}「云ハ、ネムツタカ、ウマ_一トアマイ物ヲ、クウ

ヤウナ心ソ、

○穠^{デウ}、華多_一貞ナリ、花ノ、シケウ、サイテ、多_一ソ、洛神賦

ハ、文選ニアルソ、洛水ノ神ソ、神女ナリ、此ノ女ノナリヲ、

フニカイタソ、

一織得_レ中_一ハ、女ノナリ、アツウコマヤカニ、ホソ_一トメ、

コシナド、身モホソウ、タヨ_一トシタソ、ホソイモ、コマ

ヤカナ_一モ、中ホドカ、干要ソ、ナニモ、コロスクレハ、ヨ

イデハ、ナイソ、人ヲ尋_一常ナト云ハ、尋_一常ハ、ヨノツネト

ヨムソ、中ナ_一ソ、少人ノ物ヲ、クワヌヲ、尋_一ト云ハ、ソ

デモナイ_一ソ、ナニモ、クワイテ、イウス_一カ、ヨノツネニ

ソ、**坡**淡_一佇更^{チヨニ141ウ}「織_一、此モ、美人ヲ云タカ、淡_一ハ、アワ

イ心ソ、佇ノ字ハ、ミエヌソ、泞ノ字アリ、淡_一佇トアルソ、

○襪^{デウ}、²¹衣厚_一也_一詩_一召南_一毛詩ノ一二、召南国風ノ中ナリ、

何彼襪_一ノ篇ニアリ、此詩ハ、王ノ姫_一ヲ、ホメタソ、王ノム

²¹ 国会本・観山本はともに「ゼウ」とするが、当該字は、『韻府群玉』において、娘母を示す「女容切」の「醴」小韻に属するため、『韻府群玉』の体例に従えば、東大本の「デウ」が道理にかなう。しかし、『詩経』召南・何彼襪矣の「襪」字に対して、『經典釈文』（宋刻本に拠る）では日母を示す「如容反」の反切があるため、「ゼウ」の音にも根拠がある。そのため当該箇所における「ゼウ」「デウ」の揺れは四つ仮名の混同を示すものとは言

スメナレトモ、下テ、諸侯ニカメ、位一等サカツテ、婦人ノ道ヲ、守ラレタソ、齊侯ノ子平王ノ孫ナリ、何彼ソノタル一矣唐棣之ナリ華、穠（穠か）ハ、花ノ多イナリソ、アノウツクシウ、花ノシケウ、サイタワト云ソ、アレコソ、唐一ノ花ヨソ、王姫ニタトエタソ、唐一ノ花ハ、サイテ、下エタレテ、花ノ一142オサキガ、ウチカエイテ、ソラエナルソ、ツネノ花ニ、チカウタソ、サレトモ、ミチニカナウアルソ、此ノ花ニ、比タモ、イワレアルソ、**召南**毛詩ハ、十五ヶ国ノ、ソノ国ノ政人ノ、ヨイアシイヲ作タソ、周南召南ハ、トレモ、南方ノミヤコニ、チカイ国ヲ、文王ノ子武王ノヲト、周公旦ト、召公奭トメ、ヲサメラレタソ、周公ノヲサメラレタ、南方ノ国ヲ、周南ト云ソ、召ノヲサメタ南方ノ国ヲ召南ト云ソ、何彼ノ詩モ、召南ノ国ノヲナリ、

○重テウ、舜一瞳、マナコノヒトミカ、フタエニ、カサナツタカサヌソ、東勾142ウニ一アツタソ、文王一ヌレ易、伏羲一画クワクメ、ヲケタヲ、文王ノ卦ヲ、八卦ニタ、ミ重カサネテ、八ヲ又八ツ、

えない。なお、『広韻』でも「穠」字は娘母・日母の二音を有する。

タ、ミカサネテ、六十四卦ニナツタソ、戴憑ヒョウ一レ席ヲ、此モ東勾ニ馮ノ所ニアツタソ、馮ト、憑ト、カヨウタソ、馮ハ、東勾、憑蒸勾ナリ、蒙求ノ談一義ニ、戴ヒヨウト、人ノヨメタソ、冬ニ憑トナイタ時ハ、ヒヨウトヨマウソ、馮ノ字フトヨメルソ、東勾ハ、声ノ末ヲ、引ホトニ、フウト、ヒキサウナソ、水神ノ馮夷フヲ、ヒヨウイト、ヨメル人アツタソ、先輩ノ義ヲ、キカイテハ、自己コニハ、ヨメマイソ、戴一ハ、五経ノ議論ニ、一143オカツテマケタ者ノシイタ席ムシロヲ、アマタトツテ、カサネテ、シイタソ、**杜**詩ニ、烟花一万一ハ、烟ノ花ナリ、兵火、烽ナトソ、唐モ、安思力乱ト云フアリ、干戈テアツタソ、玄宗ノ時ソ、ソレヲ云タソ、**坡**詩、妾心如1カハシ膜退マクノテ一、マケクカヲキツテノケタ心ソ、重々クカノ、マケクカヲトリノケタソ、妾心ヲ、マケクカニタトエタソ、美人ノ心カ、重々ノマケクカノ如ナト云心カ、ソレヲ、ハライノケタフカ、**荆公**霽一雪兼テ山粉黛ヲ一、雪ノフツテ、山ノハレタニ、点シタハ、粉一ヲ、マユヲ、ツクツテ、白

テ、ノメハ、チツトヨウヤウナソ、粗々、ウスウアライ、

布モ、二エカサヌレハ、ハタエヲ、カクスソ、粗ハ、麤ト

ソ、アライトヨムソ、又ハ、ホトヨムソ、略メ「○ソ」ザ(濁点生)

ウナヲヲ云ソ、○種²³、重ノ字母ノ下ニ入レタホドニ、

チヨウノ音テ、アラウソ、先種後熟トハ、一切ウエイデ、熟

スルヲハ、アルマイソ、自然^{ネン}生^{ジャウ}ノモノハ、シラスソ、此四

字、心エカタイソ、通作^メ重^ト、カサナル心ソ、重^{145ウ}「ノ」字ハ、

カサナルトキハ、平、ヲモシト云時ハ、仄ナリ、モト重ト遅

トノ字ノヨミニヨツテ、平仄ニナルヲ、聯句ニセラレタソ、

名匠^(ミセケチ生)ノメサレタケナソ、重^{カサナレリ}重^{キラ}重^{ヲモシ}重^{マテハ}、ツイニ遅

レ遅^{ヲツキヲ}遅^{テトモ}「々」遅トアリ、詩ニ黍稷重稷、イネノホノ、カ、(衍む)

サナツタ心カ、重、点不レ詳、可考ソ、○蠶^{テウ}夏蚕^{ノカイコ}ナリ、

民家ニハ、春コ、夏コト云ソ、コ、ハ、ナツコノ事ナリ、

○從^{セウ}、シタカウトヨムソ、タテヨコノ、タテトモヨムソ、

易ニ雲^ハレ龍^ニ風^ニレ虎^ニ、ソノツレ、アツテ、ツレゾウ者ナ

リ、書耽^{146オ}樂「之」天必^{146オ}之、ドノ篇ヤラ、不レ詳、可

考ソ、左ニ、降レ心以相^テ「ウ」、吾力心ヲ、ヘリクタリ、タチ

クダツテ、ムカイノ人ニ、シタカウソ、心ヲ降^{クダ}サイデハソ、

筮^{ゼイ}從^ウ、龜^{キイセイ}「一」

「卿士^イ庶民^{イシヨウ}」、龜ノコウヲヤイテ、ソノモンヲ以テ、ウラ

ヲ^(ミセケチ生)「一」スルニ、吾カヲモウ心ニ、シタカウテ、吉ナルソ、

筮ハ、メド草ノクキヲ五十キリ、ソレヲトツテ、ウラナウソ、

ソレモ、シタカウテ吉ソ、卿士ハ、六卿大夫ノ位、士ハ、平^{ヘイ}

サブライソ、庶民ハ、ホリツクリスルツレノ民ソ、「一」々シタ

カウソ、尚書ノ洪範ノ篇ニアリ、

「一」面從^{146ウ}、汝无^チ「一」、尚書ノ益稷ノ篇ニアリ、益稷ハ、

禹ノ臣下ナリ、功臣ナリ、万事ヲト、メ^{ツカ}エテ、民ヲスクワ

ウト思ウナリ、汝タスケテ、コトヲト、ノエヨト、禹ノイワ

レタソ、益ニ、吾力面^{146ウ}ニ云フニハ、メノ前テハ、ウケガイシ

タカウテ、カゲデハ、ツブヤキ、ワルウウシロゴトスルヲ、

²³ 原本、および『韻府群玉』では見出し字を「種」とし、それ以降の抄文では「種」とするが、国会本・叡山本はともに、見出し字においても「種」とする。

ナカレト、イマシメラレタソ、
過奉論ニアリ、兵糧ヲ、モチツ、ンテ、カゲノ身ニシタカ
ウ如ニ、ツキシウテ、陣エ立タフソ、景シタカイ「**從**トモ、ヨマウソ、
ユイテシタカハン「**從**、吾誰ニカテハン、**左**ニタル人ノモトエ、ユイテ
カ、ソノ人ニ、シタカイ、フヲモタツ「147オネキカウソ、
朋「**從**、**易**トノ卦ノコトハヤラ、不レ詳、朋友ノ如
ニ**從**テ、ソチヲ思ソ、
死メハフ「**子**是故有ニ「**之**之義、
父メハフノイワル、フニ、**從**ナリ、年イテヨメリメハ、
從フ、ヲトコカ死レハ、子ニ**從**ソ、サテ三**從**ト云ソ、
五ノサユルコアリ、提婆品ニアリ、女ニハ、五障三**從**ノ苦ア
リ、三セウト云ナリ、シウト吳音ニヨムワ、ワルイソ、
涕ナシ无レ**從**、孔子曰吾惡夫「**之**「**也**詳レ驂、孔子ノ
衛ノ国エ行ル、ニ、ミチデ、知「人ノ死タヲ、
ソ、ナニデマリ、ヲクラウモノナイソ、ナミ、ダバカリソ、ソ
ヨウスモノナイソ、子貢ガ、トモヲシタソ、孔子ノ吾ノリ馬
ノ、左ノカタノ驂ソエムマヲ、トイテ、ヤラレタソ、ノリカエカア

ルソ、**姓氏**東筭ト云所ニ、**從**氏ノ者アリ、漢將軍ト云アリ、
○逢、**書**尚書ニ、子孫其「**吉**、トノ篇ヤラ、不レ詳、先祖
ニ、ヨイフヲシタカ、ソレニヨツテ、子孫カ、吉慶ノ、サ
イワイニアウソ、**李広伝**ニ、惜ムニ広「**レ**時、李広ハ、
ウマレツキ、貧ニ、数スウ奇ニアツテ、功ヲナイタレトモ、侯
ニ封セラレヌソ、
馮唐ナドモ、白首マデ、郎テハテタソ、**韓文**ニ聖賢相ト
アリ、聖人賢人、ヲナシツレハ、必デヤウソ、**冠**準シユン為ニ
丁謂「**貶**ニ厓州、後丁亦**貶**ニ厓州、宋朝ノ宰相冠「
萊公ナ「**リ**、丁謂ニ、シヲトサレテ、南方ノ厓州エ流レタ
ソ、ソノノチ、丁「**モ**、又厓エ流レタソ、或「**詩**曰、若見
ニ厓州冠「**司**戸、人生何「**処**不ニ相「**一**、ソノ時、アル者カ、
詩ヲ作タソ、世上ノ人、モシ厓州ノ冠「**一**ヲヨク「**ミ**
ヨ、人間トコカ、丁謂ノカタキニ、
人間ノ八苦ノ中ニ、怨憎会苦ト云アリ、ニクイ、アタカタ
キニハ、因果デアウソ、冠「**モ**丁モ、厓州エ流タ「**ハ**、排

勻ニハ、ノセヌソ、丁謂ハワル者ナリ、眼中釘謂ト云タソ、
 マナコニ、クキヲ打タ如ナト云タソ、コレヲミレハ、目ニ
 立ツ心ソ、イヤナコトニソ、丁ト釘ト一ソ、モト桃源ノ正
 月ニ、十題タサシマシタニ、抜^ク眼中^ノ丁^ヲ謂^フ戴^ニ頭^ノ上^ノ子^ヲ瞻^ヲ
 一トアリ、妙ナ、ツイナリ、折^レ梅^逢二^ウ駅^ニ使^ニ、詳^レ梅^范擘^カ
 詩ナリ、

149オ (遇カ) (衍カ) 逢、与^三其所^二一^ノ吹^キ笙^ヲ彈^ス、**韓**ユク所、

スクル所、アウ所テ、ミナ、笙ヲ吹箏ヲタンスルソ、三体ノ
 上ニ、贈^二彈^レ箏^人一^ニト云詩アリ、彈ト云ホトニ、吹ハセヌソ、
 ソノ体ハ、竹デスルソ、一説ニ、秦ノ時ニ、父子、瑟ノ器ヲ、
 アラソウタソ、ソコテ、ワケテトツタソ、サテ、竹ノ下ニ争
 ト云字ヲ、カクソ、絃ヲツケテ、ヒケハ、声ガ、高メ、箏々
 然タルソ、^{クワニ}飯^顆逢、一山頭^ニ杜^甫一^ニ李^白力詩ナリ、飯
 一山ハ、蜀ニアリ、杜カ、イタアタリニアリ、山ヲ、飯ヲモ
 ツタ山ト云ガ、杜ハソコニイテ、ナセニ、ウエテ、ヤセタソ、
 ト云タソ、**活**一^{イキテ}生^一、死イテ、イタレハ、又アウタヨト云

24 「段(段)一」は書名でないため、四角囲いは不審である。

タソ^{ククニ}巧^一、キドクニ、^{149ウ}「タクンタヤウニ、アウタソ、
 一喜^二相^一、タマ^一ニアウタ^一ヲ、喜タソ、**歳**名^(一)關^ニ
 一、甲^{キノエノ}歳ノ名ナリ、上音^ノ烟^{ナリ}、史記ニ、十^{カシ}千^シ十二支ノ名
 アリ、エント、アツトノ、音アリ、尔雅ニ支干ノ名ヲ、ノセ
 タソ、音ヲハ、付ヌソ、北胡ノエビスノ氏力闕ソ、闕氏ナリ、
 アツ氏トモ、エン氏トモ、ヨメルソ、エンガ、ヨイゲナソ、

人名^(一)薛^一、東^ト塗^西抹、詳^レ抹、薛^一ガ新進士ノ、トヲルニ、

イキヤウタソ、サキニ、前^一驅^{スル}者ガ、新進士ノ、ヲトヨリ
 アルソ、ミチヲヨケヨト云タソ、逢ガ云タソ、貧相ナト云テ、
 イヤシム^一ナカレ、此ノフルウバモ、三五^(側注…十五ノトシ)ノ
 ワカイ時ワ、公卿貴人ノ家ヲモ、東^一西^一エ、タテヨコ、フミエ
 リ^{150オ}「テ、トラツタソ、抹^一過^シタソ^一段^(段)一²⁴坡^ニ、有^一下^一次
 一^ニ詩^上、薛^一ガ勻^ニ、次ク和勻ノ詩アルソ、○縫、**詩**
 羔^羊之^一皮^可以^一裳^一、毛詩^一ノマキナリ、羔羊ノ詩ハ、
 女人ノ功ヲ、ホメタソ、召公ノヲサメタ南方ノ国、文王ノマ
 ツリコトニ、ウルヲウテ、ソノ風^一ニナツタソ、羔^羊之^一、^{カウノ}スイメアリ、

素絲シロキ 五スフ 縫ヌ、此詩ノコトバナリ、小ヲ羔ト云イ、大ヲ羊

ト云ソ、大小ノ羊ノ皮ヲ、ヌウテ、裘ニシタソ、ヌウタヌイ

メアルソ、白イイトテ、五トコロヌウタソ、裘モ、ホドライ

ニタチテ、ヌイ所モ、五所アルヘイヤウニシタテタソ、礼義

法度ハツトノ、アルベイヤウナヲ云タソ、縫ノ字、ヌウ時ハ、平、

ヌイメノ時ハ、仄ソ、150ウ「サレドモ、平ニモナルソ、ハ弥

縫、ハ一ハ、ヌイアワセタ心ソ、弥ハ、ワタルトヨムソ、ヌ

イウタイタ心ソ、ヌイツ、ケタニモスルソ、トチカマヅケタ

ソソ、伍承ハ、人ノ名カ、不レ詳ソ、左可レ考ソ、輔ス贊ス一、

此ハ輔ハ一ハ、ドレモタスクルナリ、弥ハ一モ、ヤブレトケ

ホロヒタヲ、ヌイ合レスル心ソ、唐ノ房元（ホココヒタカ） 齡杜如晦二人、宰

相ニナツテ、天子ノ政ヲ、タスケヲキヌウタ心ソ、唐書ノ房

杜贊ニカイタソ、ハ布可レ縫、一尺ハ一ハ尚ハ一、此ハ、

前ニ春ノ所ニアツタソ、淮南王ノ子、兄弟二人アリ、中ノワ

ルイニ、云タソソ、

ハ无シニ長縫ク一、暗蛩有虚織、短線ハ一ハ一、孟郊詩ナリ、

虫ノ声カ、151オ「ハタヲヲルニ似タソ、ヲリタイタ者ハ、ナイ

ソ、虚ムナシク 織ト云タソ、イトモ、本ノイトテハナイソ、音ライ

トニ、シタソ、本ノイトノ如ニ、長ハナイソ、短ソ、長ウヌ

ワウスヤウナイソ、面白イ句ナリ、ハ冠縮縫タテニ、古者ハ一ニ

一今也ハ衡ヨコニ一縫、記檀弓昔上代ハ、冠ヲシ、メテ、トリヨセテ、

コマカニヌウタソ、今ハ、ヨコニヌウソ、衡ハ、横ナリ、ヨ

コノ心ナリ、縮ハ、縦タテナリ、縦ノ心ソ、衡ハ、横ノ音ナ

リ、謂ハ二喪一喪モニ、キル服ヲヨコニヌウソ、ツネノニカエタ

ソ、辟ヘキ積多也、辟ハ、褻ノ心ソ、タ、ミカサネタヲ、褻積ト

云ナリ、礼ノ檀ハヲミルニ、ミアタラヌソ、可レ考、

151ウ「ハ一峰、ハ孤峰、富嘉謨カホ文如ハ一絶壁ハ一、富ハ一カ文ヲ

張説

徐堅ノ二人評メ、云タソ、高イ山ノミネノ、秀タ如ナソ、類

ヲ絶シタ心ソ、カベノキツタテタ如ナソ、唐ノ時ノ者ナリ、

北京三ケツ傑ノ中ナリ、又僧ハ一独宿、詳レ宿僧家ハ、見ハ一性メ、

印可ヲトツテ、ヒマアイテ、山居メ、五年十年得タ所ヲ、修

シテ、聖胎ヲ、長養スルソ、サウメノチニ、人間エ、テ、

市マチニ入テモ、説ハ法度ハ生スルソ、

〱雲峰、夏一多^シ奇^ニ陶^カ、四時ノ詩ソ、夏ノ雲ハ、ミネノ
 劍ヲタテタ如ニ、スルドニ、色々ノナリ多ソ、 〱肩峰、一
 聳^{ソノヒエテ} 三^一 〱秀^ツ、両ノ肩ソヒエ秀テ、中ノカウベトデ、三山
 ソ、**后山**陳^一カ詩ナリ 〱両峰、未^レ遣^メ下^ニ一^一 〱燈^上、シワ
 メシメハ、眉ヲ云タソ、キニアワヌ^一ニハ、マイヲシワムル
 ソ、**坡**カ句ソ、 〱芙蓉峰、**衡山**五峰、一^一、紫盖、天^一柱、
 石廩、祝融也、芙蓉一^一最^モ 〱竦傑、非^レ晴^ニ不^レ見、唐ニ
 トツテヲイタ高イ、山アリ、東西南北中ニ、五山アリ、衡山
 ハ、南方ノ高山ソ、 〱蓮華峰、華山頂上有^ニ一^一、華山
 ハ西方ノ高山ナリ、 〱天柱峰、唐咸通間中^一秋^一苦^一雨^一趙^一知^一微^一
 領^メ客^ヲ登^テ一^一 〱翫^レ月、唐ノ時咸^一一^一年号ノアイタノ^一
 ナリ、中秋ノ^一夜、雨カフツタニ、苦^クテ、月ガナイホトニ、
 趙^一一^一カ、ヲウゼイ客人ヲイサナウテ、天柱エ上^テ、月ヲミ
 タソ、月色如^シ昼^ノ、山頂エ、上タレハ、月サエテ、ヒルノ如
 ニ明ナソ、富士ノ上テハ、浮雲雷ナトハ、下ニアルソ、ソノ
 如ク、雲ハ下ニアルソ、 〱九疑峰、輕言托^ニ朋友^ニ、対面^一
 一^一**李**白詩ナリ、マコトニ、ナイ、サツト云テ、友ノ交ヲヤ

クソクシタワ、タイメンメ、イカニ、ハルカニト、**ロ**デ云へ
 トモ、九^一一^一ヲ、ヘタテタト同ソ、山ノミネガ、同ヤウナガ、
 九アリ、**ド** ^(漏点生)レヤラト、ウタカワシイニヨツテ、云タソ、
 〱木三峰、中峰魁^{クワイ}岸路^(巖か) 〱肆意気端重、若^レ有^三以服^ニ 〱
 其^ノ旁^カ 〱之二峰^一、盆山ニ、木ヲツケテ、大ニ高ウナツタソ、
 中ノガ、ヌケテ、ウスクマリ、ホシイマ、ニ、リウンシタ
 ナリソ、気ガイタ、シウジチメニ、ヲモ^一トシタソ、ワキ
 ノ二ノ山ヲ、シタカエテ、吾下知ニシタカワシメタ、テイカ
 アルソ、**老泉木仮山記**老泉ハ、東坡ガヲヤ、**仮山**ト云ハ、盆
 山ノ^一ソ、本ノ山テハナイソ、ニセモノナリ、**仮**ハカリノ心
 ソ、盆ヤハチニ、土ヲヲイテ、木ヲウエテ、木ヲ山ノヤウニ、
 ツクリナイタソ、 〱石九峰、李正臣異石^ノ一^一、**坡名**一^一壺^ク
 中九華^ト一^一、李^一一^一カ、奇異ナ石ヲ、モツタソ、山ノミネノナラウ
 デ、九アルヤウナソ、 〱坡カミテ、壺中ノ九華ト名ヲ付タ
 ソ、峰カ、九華山ガ九ト云心カ、李白山ノ九ノミネノアルヲ、
 九峰ト名タソ、ソノ心テ、九華ト坡モ付タソ、 〱頭如^レ峰、
 花奴擊^ニ羯鼓^一 〱呀硝帽上簪^ニ花^一不^レ墜、花^一ハ、汝陽王璣カ忘

レ之、玄宗カツクヲ打ソ、呀ーハ、帽ノカドタチニ、高ソ、(衍む)
 ヒエタナリカ、帽ニ花ヲサイテ、カンサシニ、シタガ、ヲチ
 スソ、宋璟ガ此ヲミテ、云タソ、ハク「ノ青山ノ」、ハ手、如シ急
 雨点ノ、一ト、カシラハ、アヲ山ノ、ミネソヒエタ如ナソ、手
 テ、カツコヲ打タ声ハ、バラ／＼ト、夕ダテ立、ニワカ雨ノフル
 ヲトノヤウナソ、**羯鼓**ト「一云書ヨリ、ソレニシタソ、宋
一五〇
 璟ハ、宰相ニナツタソ、ハ落一峰、李白登テ華山ノ、一曰
 恨不下携ニ謝眺カ、ハ驚ス人詩一来上、李白力華山ノ落一ニ上テ、
 云タソ、イコンガアルソ、晋ノ謝一カ人ヲ驚ス詩ヲ、モツテ、
 コヌ一ヨ、コノ山デ、吟メアソハウス者ヲソ、謝一カ華山ノ
 メイヨノ詩ガ、アルカソ、サナクハ、カウハ云マイソ、搔カレ
 首ヘ問ラフ青ニ天ニ尔ニ、ハタ、コウクワイメ、カウヘヲカイト、此一ト
 ヲ、天ニ問タマテソ、ハ丈人峰、泰山有ニ一一因呼テ妻メ
 父ヲ為ス嶽丈ト、太山ノ中ニ、丈一ト云カアルソ、ソレニヨ
一五四ウ
 ツテ、吾女房ノヲヤヲ、岳丈ト云ソ、山ハ高一「一ヲタツトフ
 心ソ、丈人モ、タツトフ称ナリ、ハ十二峰ハ、巫山ニアル
 ソ、大巫山小巫山カアルソ、ハ五老峰、廬山ニアリ、五臺

山亦モ一峰秀ス出、詳ス臺々ノ所ニテ、シルスヘシ、ハ回一峰、
リ在ニ衡州一至レ此一不レ過キ遇テ春ニ而一、**郡志**衡州ハ南方ナリ、衡
 陽トモ云ソ、回カ心ス、一ヲ、ヲツカエス心ソ、帰一ノ心
 テ、回ルノ心モアリ、ドチモソ、ハ江一上峰、唐ノ起夢中
 得レ句曲終ヲ人ニ不レ見ミ一一数シ青ハ、一銭一ノ字ヲ、コレヤウ
 ニモ、カクソ、琴瑟ヲ弾メ、曲ヲウタウ声ハシタガ、コトヲ
 ヒキウタウソ、人一「一体ハ、ミエヌソ、水辺ナリ、江ノア
一五〇オ
 タリノ、山ノ、アヲ／＼トシタカ、多ソ、モノスゴイ気色ナ
 リ、此ハ、忝一起ガ田舎カラ、進士ノ人众ニ、サ、レテ、京エ
 ノボツテ、寺ニヤドヲカリテ、進士ノ時節ヲマチテ、イタソ、
 夜庭ヲ行一道メアルニ、空中ニ、此一聯ノ句ヲ、トナエタソ、
 忝一カ、奇特ニ思テ、ヲボエテ、イタソ、進士ニ、アガツタワハ、
一五五ウ
 ソノ日ノ題ニ、湘灵鼓レ瑟ト云カ、デタソ、忝一カ賦ヲカイト
 ソ、此句ヲ、者カ、誦タヲ、思一出メ、ソノトメハノ句ニ、此
 二句ヲ、カイトヲ、妙ナ一ソ、題ニソウタ、妙ナ句ソ、文章
 ノ神カ告テ、助成シタソ、詩文ニ、神一助ト「一云一アルソ、
一五五ウ
ハ紫駝峰、一之一出ス翠一釜一、**杜**句、駝ハ、佗トモ、ナイ

タソ、物ヲ、負^{フイニテウ}荷ヲ云タソ、橐^{タク}佗^ダト、史記ニアルソ、此ノ
 駝^{タク}ノ^レナリ、漢ノ百官志ニ牧橐^{タク}ノ令丞^{レイセウ}ト云アリ、牧ハ、ヤシ
 ナウ心ソ、橐駝ヲ、カイヤ^(朱)「シ」ナウ官ナリ、駝ノセナカ、
 肉カ、デ、峰ノヤウナソ、駝ノ糞ヲ、ヤケバ、烟ガマツス
 グニ、高アカルソ、狼ノ糞ノ、烟ノ如ナソ、烽火ヲ、アグル
 ニハ、狼糞ヲ、タクソ、スグニ、高ウ、烟ガアカルソ、トヲ
 ウ人ニ、シラセウソ、ノロシヲ狼烟トモ、狼燧^{スイ}トモ云ソ、
 駝背錦模^モ糊^コト、杜力作ソ、錦ノカザリノ、鞍ノ如ナソ、ボ
 コハ、マンノ^{156オ}ト、ドコモ「^{156オ}ツナフソ、
 駝^ハノ、セナカ、肉ガ、紫^シ駝ハ、馬ノ毛ノ色ナリ、釜ワ、峰ノ
 ナリカ、釜^{カマ}ノ如ナカ、カマヲウツフセタ、ヤウナカ、^ハ妙
 高峰、毘盧海上^ハ、**坡**句ナリ、毘^ハ、華嚴会ナリ、
 花嚴ノ世界ヲ、ビル蔵海ト云タソ、海ハ、タトエニ云タソ、
 海ハ、一切ノ物ヲ、ノミヲサメテ、淨^ハ穢ヲエラハヌソ、妙高
 峰ハ、徳雲比丘ノイタ山ソ、妙峰頂ト云タソ、碧岩ニモ妙峰

孤頂草離々ト、雪竇^{テウ}ノ頌ニ作ラレタソ、文殊師利言南方有^レ国^ニ
 名^ク勝^{ラクト}樂^ト、山名^{ヨク}ニ^ハ、此ノ峰ヲ、文殊ノトケタソ、南
 方ニ国アリ、勝樂国ト云ソ、ソノ国ニ、山アリ、^{156ウ}「妙高」
 ト云ソ、花ムノ世界ニ、百十ノ城アリ、一百十城ト云ナリ、
 又ハ、百城トモ云タソ、百ノ数モ、アテヲアリ、ソノ城中ニ、
 五十三人ノ、善知識アリ、善財童子カ、知識ニアウテ、一々
 ニ、仏法ヲ問タソ、一番ニ、文殊一ノハテニ、弥勒五十三人
 ニ、参シタソ、此ヲ、五十五人トモ云タソ、文殊ト、弥勒ト
 ニハ、二度参シタソ、ソレヲ、カスユレハ、五十五ナリ、花
 ム経ニ一々アルソ、^ニ頂^ニ出^ニ五峰^ニ、神光頭^{イタム}痛^{サスカ}如^ニ刺^ニ空中^ニ
 云^{クレ}此^レ乃^{チカエン}換^レ骨^ヲ師^ス視^ス其^ノ一^ヲ如^シ二^ニ五^ノ峰^ノ秀^ノ出^{スルカ}一[、]神光ハ二祖ナ
 リ、ウマレタ時、光力室中ヲ、テライタソ、サテ、神光ト云
 ソ、カウヘカ、イタミカア^{157オ}「^{157オ}リ、サシツクヤウニ、イタウ、
 アツタソ、虚空ニ、者ガ云タソ、此ノイタミハ、頂ノ骨ヲ、
 トリカユルホトニ、ト云タソ、人身ノ、凡夫ノ骨ヲ、トリカ

²⁵ 国会本・観山本の振り仮名は漢音で「ボ」である。この直後に「模糊」が「ボコ」と仮名書き表記されており、原本の振り仮名と語形とが一致しないこととなる。

エタソ、師視一、師ハ、達一テアラウソ、ミラレタレハ、頂

カ、五ノ峰カ、ニヨット、出タ如ニ、アツタソ、**活**一眉一、

人ノ眉ヲ山ニタトエタソ、一、群玉一、山ノナラウテ、多ヲ、

玉ノ多ナラベテ、アルニタトエタソ、**人名**一五一、先生胡宏

ソ、胡一字仁仲、朱晦庵ナドガ、コトク、道ノ学ヲシタソ、

書ヲ多ウ、作タソ、布衣藜杖デ、山一水ヲ愛メ、遊一山メ、タ

ノシシタソ、天地ノ理ヲ、ヨウキワメシツタソ、一、雪一和尚

趨一木一毬一、事、詳レ毬、毬ノ一、**所**ニアラウソ一、鄧隱一参

馬祖一、詳レ轆^{センニ}先勻ニアリ、コ、ニハ、書セヌソ、先勻ノ

轆ノ所ニハ、ミエヌソ、南岳参^ニ馬祖一、磚ノコアリ、

○蜂、**左**一蠶有^{タイリ}レ毒、ハチノ尾サキノ、経ノマキロノヤウナヲ、

蠶ト云ソ、蠶ハ、サスナリ、蜂ハ、尾デサスソ、**中山王伝**ニ、

讒言一^{一ス}生、人ヲザン^一ゲンスルコトバワ、ハチノ、トコカラヤ

ラ、ワキツル如ナソ、人ヲサシソコナウ心ソ、中山王ハ漢ノ

高祖ノ孫カ、漢書伝ニミエヌソ、

一、蜜蜂、不レ詳除之²⁷、一、壺蜂、即蜜蜂^{チナリ}玄一若^{コトシツホノ}レ一、壺ハ、

スノナリカ、カケタ、大ナスワ、ヘウタンノヤウナソ、玄ノ

字ノ心、イカン、

一、^{158オ}一、^{ヘイ}一、^ヤ一、^コ一、^{ナラン}一、^{セキヤ}一、**詩**小毖ノ篇ハ、詩

ノ十九ノ卷ニアリ、コ、ニハ、^{ヘイ}一トアリ、毛詩ニハ、^{ヘイ}一、^{ホウ}一

トアリ、勻会ニハ、平ノ庚ト青トニ、^{ヘイ}一ヲ入タソ、詩ノ小毖

ノコトバヲ引タソ、^{ヘイ}一ノ字ハ、ミエヌソ、^{ヘイ}一ハ、^{ヘイ}一、^{ホウ}一、^{ヘイ}一

臣^ドモ、吾ヲヒキシヤハルコナカレソ、サシツカレテ、辛苦

シタソ、ソレニコリテ、賢臣ノ、吾ヲ、タスケテ、乱ヲシツ

ムルコヲ求ルマデ、此ハ、周公ノヲト、管叔カ周公ヲ讒言メ、

国ニ、云イツタエタソ、ソレヲ、成王ノ管一ガ讒ヲ信メ、周

公ヲウタカワレタホトニ、周公聖人テ、アルホドニ、政ヲ成

王エカエメ、東^{158ウ}一、方ノ国エ、ヒツコマレタソ、淮夷カタ南

26 原本、および国会本・叡山本は、いづれも「軛」とするが、『韻府群玉』当該箇所には「磚」とある。なお、抄文の通り、下平一先の「軛」には当該箇所への言及が見当たらず、また「亦作博颯」という字体注記は見えるものの、「磚」は見えない。

27 原本、および国会本・叡山本には、いづれも「不詳除之」とある。なお、『韻府群玉』当該項目には「王何以服其衆、曰无毒、王所居一臺大如粟、俗曰、王臺生子其中、或三或五、歳分其族而去、山毗患其分也、以棘刺関於王臺、則子尽死、**王元之**」とある。

方ノ国ニ、三^一監ト云テ、三人殷ノ子孫ヲ、国ノカバミノ為ニ、
 ヲカレタレハ、ソレカ乱ヲヲコイテ、方々ミタレサワガシウ
 ナルホトニ、成王ノ周公ヲヨヒカヤサレタソ、三^二度メニ、西
 ノ周エ帰ラレテ、兵ヲソロエテ、管叔及三監ヲ、打ホロホイ
 テ、太平ニナサレタソ、ソノ^一ヲ作タ詩ナリ、成王ノ讒言ヲ
 信メ、身ヲサシツクヤウナ^一ソ、ソレヲミナカヒキサハルソ、
 サシツク、辛苦ニ、成王ノコリハテ、賢人ノ臣カ、吾ヲタ
 スケイカシト思イ、求ラル、ハカリソ、小恙ノ詩ノハシメノ
 句ハ、此ノ心ヂヤケナソ、^{159オ}「^{ハナリ}莽使也、シムル心ソ、蜂不可
 使而使之是自求其毒也、蜂ハ、ツカイ身ヲサ、セウス^一テハ
 ナイヲ、今カウアルワ、吾ト吾カ身ノ、毒ヲ、モトメタ者也、
 人ノシタ^一テハナイソ、讒言ハ、蜂ナリ、ザンヲ吾カ信メ、
 吾カ身ヲサス^一ソ、^ハ稚蜂、純雌其名^{ノハ}ニ^一、^ト列天瑞ノ篇
 ニアリ、^一趨衛供蜜課^谷方演雅ノ句ナリ、衛ハ、守護所ナ
 リ、コ、デ、色々ノ公事ヲキイテ、沙汰スルソ、蜂ニモ、王
 ト、臣ガ、アリテ、早衛晚衛ト云テ、一日ノ中、二度アツマ
 ツテ、政ヲ行ト云ソ、稚^一ハ、ヲサナイ小児ノ心モアリ、又

ハ、イヤシイ心モアリ、ソレラ^{159ウ}「カ、守護所エイソイテ、
 蜜ヲトリモツテ、キテ、蜂王ニ、供スルソ、課ハ、コ、ノ式
 条ナドニハ、課^{ヲウスル}トヨムソ、云イツクル心ソ、ソレヲチカエ
 ズ、ツトムルヲ云ソ、コ、ラニモ、公事課^{ヤク}役ト云ソ、上カラ、
 シタ^一ナ者ニ、ナニテマリ、云^一付テ、サセラル、^一ヲ、課
 役ト云ソ、供蜜課モ、ソノ心ソ、衛ハ、行^{ツラ}ノ心ソ、行列ノ心
 立ナラウテ、次第ノアルヲ云ソ、天子ノヨリアル所ヲ云ソ、
 天子ノアリカシムヲ、駕ト云ソ、車ニノツテ、出ラル、ホト
 ニソ、軍陣、々立ヲ、衛ト云ソ、牙ト、衛ト、音同ホトニ、
 一ツニ心エタソ、牙ハ、次第ノ心ソ、牙齒ハ、次第メアルソ、
 軍陣モ、次第カアルソ、^{160オ}「行^一伍ト云ソ、五人ツ、ヤ、十
 人ツ、ヤ、众カソロウテ、ムサトハナイソ、ソレニヨツテ、
 行^{カク}伍ト云ソ、行ハ、行^{ユク}デハナイソ、ツラヲナス心ソ、^ハ仰
 蜂、^一粘^ニ落絮^ニ杜^ニ春ノクレ、柳ノ花ノ、ハウコカ、トビ
 ヲツルニ、蜂カウツフキ、アヲノイテ、トヒマワリテ、絮ニ
 トリツケラレタソ、粘ハ、トリツイタ^一ソ、^ハ荷蜂、^一只有^リ
 ニ^一不^レ愁^レ雨^ヲ蠟^ヲ房^ヲ仰^テ臥^ス万花枝、^一坡荷葉ニ、^一スヲシタ蜂

ナリ、荷葉ノカゲニ、スヲカケタホトニ、雨カフレトモ、モ
リヌル、ワビ^一ハナイソ、ハチスニモ、ハチノスノ如ニ、
房^一アナカ、アイテ、ウソ^一トアルソ、蓮房ヨウ似タソ、
多イ蓮ノ花^一「^{160ウ}ノ房ニ、フメイタソ、言^一蓮^一実^一、此ハ、蓮
ノ実ヲ作タ詩ナリ、^一細腰蜂、名^一蠋^一蠃^一蒲^一盧^一蠧^一、三ハ
トレモ蜂ノ名ナリ、蠋ハ、字書ニミエヌソ、蠧ハ、玉篇ニ小
ナ蜂トアリ、音拽翁所負不但螟蛉^{（給カ）}、産一卵於上卵化成形漸
食所負之虫飛声似^リ云^ニ類^一我^一タ^レタ^ニ、所負ハ、別ノ虫ヲ、
ツレテクルソ、ヲウテコソ、キツラウソ、トテクル虫ハ、メ
イレイマテ、モナイソ、産一卵^一、上ノ字ハ、土テアラウソ、
穴中ニ、虫ヲ祝スルホトニソ、ソノ卵ノ虫力化メ、物ノ形ニ
ナルソ、ソノ虫ノ飛フ声カ、ルイカ^一ト云ニ、似タソ、コ、
ラニ、似我ハチト云ゾ、此虫ヲ、唐ノ^{161オ}書ニ、似我トシタ
ヲバ、アルヤラ、ヲホエヌソ、即説呪曰類我々々ト、云句、
泉ニアリ、^一吐飯成蜂、葛仙翁对客^一^ニ或集^一客身^一
良久仙翁張^レ口^一蜂^一飛^レ入^レ口^一成^レ飯^一食^レ之、葛公客人ノキタニ、
対面メ、クウタ飯ヲ、ハキタイテ、蜂トナツタソ、又アルト

キ、客ヲ^一ヨウタソ、身良久、^一身ノ字、心エニクイソ、
客ヲ^一請シタソ、食カ、ヲソイカ、葛ガ、^一口ヲアケタレハ、
蜂ガフツト、飛テキテ、口エ入タソ、ハチガ、食トナツタソ、
ソレヲ、食シタソ、コ、ノテイヲ、スイスルニ、客ヲヨウタ
ニ、客ハキテ、マテトモ、膳ガ、ヲソイソ、良久ハ、ゼンノ、
ヲソイ^一カ、ソコテ、^{161ウ}口ヲハツタレハ、蜂カ口エ入テ、飯ニ
ナツタソ、^一飯ヲ吐テ、蜂ニナシ、蜂ヲノウテ、飯ニナイ
タソ、身ノ字ハ、食カ、身ノ字ニ似タソ、^一嬖倖掇^レ蜂^一、
得^レニ^一以^一、^{トルコラ}唐^一高^一紀^一唐ノ高祖紀ヲ引タソ、嬖ハ、
愛ナリ、イトウシガラル、^一宮女ヲ、^一ヘイカウト云ソ、蜂ヲ
トツタ^一ガ、アラウソ、唐書ニモ、ミアタラヌソ、^一去^レ毒^一
繫^レ蜂^一、尹伯奇母取蜂^一衣上伯奇前欲去之、母^一呼曰
伯奇牽衣父吉甫見疑伯奇自死、^一列女伝^一尹吉甫、ノチニ、妻ヲ
ムカエタソ、尹伯奇ガ為ニハ、マ、母ナリ、マ、母カ、伯奇
ヲコロサウドテ、蜂ヲトラエテ、キル者ノ中ニ入タソ、伯奇
ガミテ、毒ヲトツテ、^{162オ}ステウトテ、ソハエヨツテ、衣ヲ
ヒイタレハ、マ、母カ、大ニヨハワツテ、伯奇カ吾ヲ、犯サ

ウトテ、衣ヲヒキヨセタト云タソ、ヲヤノ吉甫ノミテ、フシ
 シンシタソ、伯奇カザンゲンヲ、カウムツテハ、ハル、コアル
 マイト、思テ、自害シタソ、去レ毒ハ、伯奇ガ、蜂ヲトツテ、
 ステウトシタソ、繫レハ、マ、母カ、ワザトシタソ、
 ○鋒、秦消^スニ^ス鐔^ヲハ、始皇ノ天下ノ者ヲ、ヨウ^(ヨウウカ)セウドテ、
 太刀^ノ刀^ノルイヲ、ケシテ、金^ノ人^ノ像^ニイタソ、古文真宝
 ニアリ、過秦論ニカイタソ、^ス筆^ノ鋒、五^(〇)車^ノ摧^レ、^選
 ニアリ、儒者ハ、五車^ノ書^ヲヨミ破テ、筆^ノノサキノ、ツブル
 ホトニ、文章ヲ、カキタ^{162ウ}「スソ、鋒ハ、史漢デハ、タ、サ
 キトヨムソ、摧ハ、ツブルソ、用^レ如^シ三^ニか^シ印^シ泥^ニ画^ス」
^{トフ}沙^貴藏^レ、此ハ、字^ヲカク^コヲ云タソ、筆^ヲタテ、カ
 ク^コ、ヤワラカナ、泥ニ、印^ヲツキ、沙^ニエ^ヲカキ、物^ノナ
 リヲ、カクヤウニ、セヨソ、筆^ノノカ^ヲ、ツヨウ、アラスル^コ
 ソ、^説書記^ハ字^ヲカク^法ヲ、シルイタ書^ノ、名^ナリ、^ス詞^ノ鋒、
 ー景^ク煥^ク潘^岳詞^ニ、ホコサキハナイソ、イキヲイヲ、鋒^ニタ

トエテ云ソ、潘岳カ、文^ヲホメタ^コ、煥ハ、カ、ヤクソ、景
 モカ、ヤク心ソ、^ス摧^レ鋒^ハ、上^ニ五^車摧^ニ筆^一ト、アツ
 タソ、^ス藏^レ鋒、モ同^レ上、^ス上^ニアツタソ、^ス争^レ鋒、
^{163オ}周^臣夫^前漢^ノ文帝^ノ臣^ナリ、細柳營^ノ「^ス將軍^ト、イワレタ
 者^ナリ、周勃^カ子^ナリ、勃^ハスムソ、^ス姦^レ鋒、^ス屢^レ折^ニ一
 一、^ス桓^帝贊^屢ハ、シゲイソ、度^々ニ、ワイテノ心ソ、姦
 ハ、カダマシイソ、虚誕^カン^曲ナ^コヲ、マウスヲ、クジイ
 テ、ステラレタソ、臣^下ノ、私^曲ヲ、カマエテ、物^ヲ云、ホ
 コサキ、打^ヲツテ、ノケラレタソ、^ス先^レ鋒、薛^仁貴^白衣^一
 一、白衣^ト云ハ、マダ高^イ位^ニ、アカラヌヲ云ソ、平僧^ト、
 云ヤウナソ、詳^レ衣、衣^ノ所^ニアリ、^ス追^レ鋒、一^一車^ハ
 昼^夜行^四百^餘里、追^一ハ、ヲツテ^スヲカケ^シ、ヲツカクル心
 ソ、アトカラ、追^タ心ソ、晋^司馬^望性^急特^給ニ^一車^一、司
^{163ウ}馬^ノ「^ス官^ノ望^ト云ハ、性^ガイソカシウ、ヘン^キウナ、ウマ
 レツキナルホドニ、別^メ、追^一ノ、車^ヲ、タマワリタソ、カ

²⁸「追鋒」の、見出し語を含めた「追」計四ヶ所について、国会本は全て「進」、叡山本は最後の「追一ノ」以外「進」とするが、『韻府群玉』に従
 い校訂は施さない。

ルウ、ミチノハヤイヤウニ、タクンダ車テ、アラウソ、
 針¹鋒、離朱見^ル千里^ノ一^ヲ、**莊子注**離¹ハ、離婁^ルガ¹ナリ、
 目ノ明ナ者ナリ、千里サキノ¹ノ、ハリノサキホドノ¹ヲ、
 ミワケタソ、^{ガク}嶮¹鋒、齒^ノ神¹一^ハ字羅千、嶮^ノ心ハ、齒ノ神
 チヤホトニ、嶮ハ、齧^ノ心カ、アギト、ヨムソ、ソレニタト
 エル心カ、又嶮ト、齧ト、カヨウカ、**黃庭經**ニ、五体ノ¹ア
 リ、此書、ミワセヌソ、^ヲ士^ヲ為^レ鋒、諸侯^ノ之^ハ劍^ヲ以^テ智^勇一^ヲ
 一^レ、詳^レ鏢、此ハ、莊子ニ、説劍ノ^{164オ}一¹篇アリ、色¹々ノ
 劍ヲ、云タソ、鏢ハ、ヤイバヂヤカ、^{フル}觸^ニ矢¹鋒^ニ一、紀昌学
 射於飛衛²⁹、尺衛術、謀殺衛相遇於野二人交射中路、矢鋒相¹
 而墜、二子泣而投弓、謀為父子、**列子**紀昌ト云者、弓ヲ飛衛
 ニ習タソ、飛¹カ三千ノ妙処ヲ、ナライツクイタソ、吾ガ、
 師カアレハ、威カナイホトニ、飛¹ヲ殺サント思テ、デタレ
 ハ、ヒロイ野ナカデ、ユキワウテ、ソコデ、二人イコロサウ
 ト^{下テカ}デ、イタレバ、中¹デ、両方ノ矢ノ、サキト、サキト、チャ

ウド、イキヤウテ、中カラ、矢ガヲ¹チタソ、ソコデ、二人ナ
 イテ、弓ヲナゲステ、^{ケイ}契¹約ヲシタソ、³⁰叢林¹一^{164ウ}
 箭¹鋒相¹拄¹之¹義¹本^レ此^レ、今ソウリン^ケ禪家ニ、箭¹一¹ノ義
 ヲ、用ハ、コ、カラノ¹ソ、師弟子、参学ノテダテ、チャウ
 ト、イキヤウ、寸モチカワヌソ、^{ラカ}箭¹一¹ト云ソ、^レ不^レ
^{アラワサ}露^レ鋒、^{ハウ}僧問^ニ大茅和尚^ニ如何^レ是大茅^ノ境^ク云^レ不^レ一^レ、**伝**大茅
 ハ山ノ名ソ、大茅山ニ、住セラレタソ、和尚ソ、ソレニ、僧
 ガキテ、境ヲトウタソ、不¹一¹トコタエラレタソ、チツトモ、
 アラワサヌホトニ、ミウスヤウモ、イタラウスヤウモ、アル
 マイソ、^{サウ}箭¹鋒拄¹、本行和尚示众云、^{一ハシタカウ}事¹從¹ニ^{カインスルニ}函¹蓋¹合¹
 一、^ル理¹因¹一^ノ一^ニ、本¹ノ¹大众ニ、一句ヲ示メ、イワレタソ、
 仏法ニ、事理ノニカアルソ、事¹一^{165オ}上ノ法門ハ、函¹ハハコ
 ノ、ミトフタト、チャウド、合シタ位ソ、理¹上ノ法門ハ、
 両方ノ、ヤト、ヤトノ、サキカ、イキヤウテ、アイサ、エテ、
 チツトモ、チカワヌ¹ソ、ドレモ、妙処不思議ノ、キヤウガ

²⁹ 国会本・叡山本ともに「術」とするが、『韻府群玉』当該箇所には「衛」とあるため、校訂は施さない。
³⁰ この箇所に、国会本は本行の側注として、叡山本は本行として、ともに「^レ箭鋒拄¹」という見出し語を立てる。ただし『韻府群玉』では当該箇所に「箭鋒拄」の立項は無いため、国会本・叡山本の立項は「不露鋒」の次の「箭鋒拄」への目移りによるものと思われる。

イゾ、若有人道得者³¹老僧分半院与汝同住、**伝**伝灯录ニアリ、
 若箭^{シタ}ノ下^{シタ}デ、一句ヲ云イウル人アラバ、老僧吾カ院ヲ、
 半分ワケテ、マラセテ、吾モアイトモニ、住持シテ、イウス
 ルナリ、**活**文^ハ、文章ノイキヲイヲ、ツルキノサキニ、タ
 トエタソ、前ニアツタ、詞鋒ト同シ心ソ、^ハ談^ハモ、サウタ
 スル、快ナ勢ヲ云タソ、^ハ機^ハハ、人ノ心ソ、^ハ利^ハニ、リコ
 シナ^{165ウ}「^ハハ、劍ノサキノヤウナソ、^ハ前^ハハ、マツサキ
 (朱)「^ヲ」云ソ、先陣ヲモ云ソ^{カ、ルノニ}嬰^ニ其^一、ソノツルキノサキニ、
 カ、ツテ、ケガヲシタ心ソ、^{ニラク}其^一ハ、劍ヲトグ^ヲソ、
 ニラグト云ハ、水デ、劍ヲトクヲ云ソ、言鋒トモ云ソ、モノ
 ヲ云コトバサキノ、○烽、^{レハ}辺有^{イマシメアクル}警^ヲ、^ハ火也、^ハ辺ト云ハ、
 辺塞^{サイ}ト云ハ、エヒスノ国ト、ミヤコトノサカイメヲ云ソ、京
 カラ外ヲハ、^ハ辺ト云ソ、**漢書**火、^ス通^ニ甘泉^ニ、^ハ烽火カ甘泉宮
 マデ、トヲツタソ、胡国ノ千万里外ノ火テハ、アルマイソ、
 甘泉ノ近所ニ、アゲタ火デ、アラウソ、^ハ四烽、^ノ隋法賊^ハ少^{スクナキニハ}
 拳^テ二^ヲ烽^ル来^ル多^ル、^ニ拳^ニ三^ニ烽^ニ大^ニ逼^ニ、^ヲ拳^ニ一^ニ、^ヲ隋ノ世ノ^{166オ}「

31 『韻府群玉』は「者」字を欠く。

ヲキテニ、テキノスクナイニハ、火ヲニアクルソ、来^ル多^キニ
 ハ、マウゼイデ、テキノキタニハ、火ヲニアクルソ、大^ニ逼^ニ
 一、^ハチガ^ハト、^ハトリツメタニハ、^ハ火ヲ四アクルソ、^ハアイツ
 ノ、^ハ約束ナリ、^ハ六烽、^ハ王世充^ス營^ニ於^ニ黑石^ニ一^ム李密^ヲ於^ニ月城
 窟^ニ密直^{タ、チニワシシテ}越^ニ黑石^ニ一^{テク}連^ニ拳^ニ一^ヲ乃^{チトク}解^レ圍^{カコミヲ}、^ハ王^ハ一^ハカ、
 黑石ト云所ニ、^ハ陣^トツタソ、^ハ營^トハ、^ハ陣^ヲ、^ハスエタ^ヲソ、^ハ李
 一^ヲ月^ト云城^ヲ、^ハトリマワイテ、^ハセメタソ、^ハ李ガスクニ、
 王カ陣ノ黑石エ、カケテ、火ヲ、六、タテタソ、テキノトリ
 ツメタニ、^ハ火ヲタツル、^ハヤク^{ヤクシクハ}、^ハチャホドニ、^ハ火ヲミテ、^ハスク
 イノ合力コソ、^ハアツ^ハラウ、^ハ王カトリマワイテ、^ハ「^ハセメタ
 众ガ、^ハバラリト、^ハトケテ、^ハテキガ、^ハノイタソ、^ハ隋書ノ李密カ
 伝ニ、^ハ王世充ト、^ハタ^ハカウタ^ヲアリ、^ハ黑石月城窟ノ^ハ「^ハミ
 エヌソ、^ハ本^ニ紀^ハハ^ハ帝王ノ伝ソ、^ハ「^ハ夕^ハ烽、^ハ抱^ハ関^ム望^ニ一^ヲ、^ハ韓
 文ナリ、^ハ抱^ハハ、^ハ門ヤクナリ、^ハ門マブリガ、^ハバンガイ、^ハアガ
 ル烽カ、^ハミユルカト、^ハ思テ、^ハノゾンテ、^ハミタソ、^ハ夕^ハ日^ト烽^ト昼^ト

日^{スイト}燧³²ソ、^{レニアグ}戲^レ拳^レ烽^ヲ、^ノ周幽王^一一^レ以^{シム}悦^ニ褒姒^ヲ一^{ナリ}欲

ニ其笑^ヲ一也、^レ幽王^ノジヤレ^レコニ、^レホウ火^ヲ、^レアゲラレ^レタソ、^レ后

ノホウジ、^レ火ヲ笑^ソ、^レワラエハ、^レウツクシイホドニ、^レ此ヲミ

ウトテ、^レアゲラレ^レタゾ、^レソノ後ニ、^レ犬戎^ノエビスガ、^レヲクノ

西カラ、^レヲコツテ、^レ幽王^ノミヤコヲ、^レセメテ、^レ難儀^ナホドニ、

「^{167オ}烽^火ア^{（衍カ）} ヲアゲタレトモ、^レ諸侯^ノ、^レ例ノ后ニ、^レ笑セウド

テ、^レアグル火ト云テ、^レタスケスクウ^コモ、^レナイソ、^活塞^一、

辺塞^ノ火ナリ、^レ塞^ノ前ニアツタソ、^レ狼^一前ニアツタソ、

狼^ヲ糞^ヲヲタクソ、^レ○^{ホウ}丰^也、^レカヲヨシトヨムソ、^レツネニ

ハ、^レハウトヨメルソ、^レ江ノ勻テハ、^レハウトヨマウソ、^レ毛詩ノ

四ノ、^{ホウ}丰^ノ篇ニアリ、^レ此ノ詩ハ、^レ淫乱^ヲシツタソ、^レ鄭ノ国

ノ者ドモ、^レインランニメ、^レ女ヲメトリムカユルニ、^レ礼儀ハウ

ヤウアルソ、^レソレモナク、^レミタリニ、^レミチノハタ、^レ木ノシタ

ナドデ、^レ会合スル^コヲ、^レソシツタソ、^{子之丰}兮^{イガ} 俟^{ホウタル} 我^{マタスカ} 乎^ヲ 巷^{チマタニ}

一兮、^レ子トハ、^レ女ヲムカユル、^レヲツトソ、^レカヲメン^{167ア} 一^レメウ、

フツクラトメ、^レミメヨイソ、^レ俟^一ソ、^{（衍カ）}ノミメノヨイ人ガ、

吾ヲムカエウトテ、^レ門ノソトエ、^レデ、^レマタレヌカソ、^レ巷ト

ハ、^レミチ、^レミソ、^レホリノ、^レコトエハ、^レナイソ、^レ吾カ門ノソトヲ

云ソ、^レ門ノ戸ヨリ、^レソトエ、^レテ、^レマツ^コソ、^レ丰^ハ、^レ豊^也、^{（ホウナリ）}

ユタカニ、^レユタ^ノトシタソ、^レカマスノヤウニ、^レカヲヤセハ、

セヌソ、^レ豊満^シタソ、^レ色^白ニ、^レフツクラト、^レシタ^コソ、

「^昌丰[、]子^ノ之^丰 兮^{イガ} 俟^{ホウタル} 我^{マタスカ} 於^ヲ 巷^ニ 兮^{イガ} 子^ノ之^丰 兮^{イガ} 俟^{ホウタル} 我^{マタスカ} 於^ヲ 堂^ニ 兮^{イガ}、^詩

ノ丰ノ篇ニアリ、^レ昌ハ、^レサカンニ、^レスコヤカナ、^レワカイカタ

チソ、^レ堂ニ、^レマタヌカトアリ、^レ鄭玄ガ箋ノ心ハ、^レ堂ノ字ハ、

振³³トナイテ、^レヨカラウソ、^レ振ハ、^レ門ノシキイナリ、^レ上ノ句

ハ、^{168オ}「^レ門ノソトノ、^レ巷テ、^レマツ^コソ、^レコ、^レハ、^レ門ノトシキ

ミノサイテ、^レマツ^コソ、^レ振ノ字、^レ勻会ニハ、^レミエヌソ、^レ手ヘ

ンニ、^レ長ヲカイトハ、^レシキイトハ、^レアリサウモナイ字ナリ、

夾堤士女争^一一^レ坡^堤ヲ^レ西湖ニツイタ時ニ、^レ男女見^ル物メ、^レ堤ヲ、

ハサンタ^コカ、^レ昌^ハ、^レ士女ノ年ノワカイガ、^レサカリニ^レ多^ク心

32 『韻府群玉』当該箇所には「昼日燧、夜日烽也」とある。

33 鄭玄の注には「根」とあるが、原本、および国会本・叡山本は、いずれも明確に手偏である。

ソ、**詩篇** 刺レ乱也、淫乱ナヲ、ワルウ云タソ、鄭婚^{テイ} 34 姻^イ

道缺、鄭ノ国ハ、**コンイン**ハ、男女、メラムカエ、ムコド

リ、ヨメトリノミチ、礼儀、ハツトガ、カケテ、ウセハテタ

ソ、**榑** 木末也コズエナリ、

○**傘** 逆悟也、悟ハ、忤トナリ、

「**縦**、亦作レ從南北^{セウト} 東西^{カウト} 曰レ衡³⁵、南ヨリ、北

エヲ、縦ト云ソ、タテノ心ソ、東カラ、西エヲ、衡ト云ソ、

ヨコノ心ソ、**梅福伝** 二大^{六か} 国^ノ之^一、タテノ^{ツカサトル}カ、蘇秦主

レ、蘇一ハ、六国ノ從ノ方ラメ、トキアルイタソ、タテナ

リ、此時張儀ハ、秦ノ方ヲ、シタソ、衡ノ方、ヨコナリ、

從横ノ説ト云タソ、秦從張横トシタソ、横ハ、ワウトハ、

ヨマヌソ、横ハ、衡ノ心チヤホトニ、カウトヨムソ、

横從、一其

畝、**詩南山** 毛詩一部ニ、南山ノ篇四アリ、南山南山有臺節南

山信南山ナリ、コ、ノ南山ハ、毛詩ノ四ノマキ、斉国風ノ中

ノ南山ナリ、此ノ南山ノ「^{169オ} 詩ハ、斉ノ襄公ヲ、ソシツタソ、

鳥獸ノ行アツテ、畜生ノ、鳥ケタモノノ、心アツテ、吾カ妹^{イモウト}

ヲ、**狐**ゼラレタソ、ソノ国ノ大夫カ、此ヤウナ、前代未聞ノ

ヲニアウテ、大夫モインタソ、南山ハ斉ニアル高イ山ナリ、

斉ノ国ノ君ハ、尊ウゲンネットメ、山ノ如ナソ、ソノ山ニ、

キツネノ、ワルイ、イヤシイガ、アルソ、此ヲ、襄公ヤ妹ヲ

云タソ、魯ノ国ハ、平タトメ、ミチモスグナソ、ソコエ、斉

カラヨメリメ、キタソ、クズノクツナド、イヤシイ、デタチ

デ、ヲウセイ、ヒキツレテ、此女カ、魯エキタソ、人ガ、シ

タカイ、カシツクマイソ、**藝** 麻如^{ウユル}之^{ライ}何^カ衡^ン 二從^{タテサマニシ} 其^ニ

畝^{ウネヲ}一、アサヲハナントマイタソ、アサ畝ノ「^{169ウ} ウネヲ、タテ

ニシ、ヨコニシタカ、アサクワハ、女ノモツハラニ、スルワ

ザナリ、ソノヤウナヲハ、ツトメラル、カ、ナニ^ゴニ、邪

淫ノ、ワルイヲラスルソ、^{カウ} 合^レ從^一、一^{カウ} 連^横、**過秦論** 合

一連^一ノ^{カウ}ヲハ、賈誼カ過^一ニカイタソ、前ニモアツタソ、

34 『韻府群玉』当該箇所には「昏」とある。
35 『韻府群玉』には「亦作從、東西曰衡、南北曰一」とあり、四字が転倒する。

過^{トカスル}レ秦ナリ、秦カ无道ヲスルヲトガメ、ソシツタ^ツナリ、
 〱山^{ノタテ}從、朝見^{ニハミ}ニ吳山^{ノヨコシマナルヲ}横、
 一暮見^{ニハル}ニ吳山^{タテサマナルヲ}一、
 二坡^ニ吳ノ山ヲ、
 アシタト、クレトニ、タテニミ、ヨコニ見タソ、山ノタテヨ
 コヲ、見ソ、ニノ義ソ、
 〱為^{メニ}レ楚^{ノセウス}縱、毛遂^{ボウ}曰合從者^{ハニメ}一^レ
 非^スレ為^{ニスルニ}レ趙也、楚ト、趙ト、会合メ、牛ノ血ヲス、ツテ、
 同^{メイ}一盟^{メイ}スル時ニ、毛遂ガ、デカツタ者デ、十九人ニ、众^シヲスグ
 ツテ、堂下ニナラベ^一、
 一^{一七〇オ}ナライテ、毛ガ、デ、定メノヤウ
 ヲ云タソ、今日ノ会ノ、合^一從ヲ、チギリ定ル^一ハ、楚ノ為^レデ
 コソアレ、趙ノ為^レテハナイソ、囊^一錐^穎脱^ト云タソ、錐^{キリ}フク
 ロヲトヲルト云^一ソ、キリヲフクロニ入タレハ、サキカ、ツ
 キデ、ミエタト云^一ソ、吾ヲキリニメ、人ニスクレタト、
 マンメ、云タソ、囊^一錐^穎已^ハ頭^ハ、
 至^一宝^難藏^レト云、泉ノ句アリ、
 谷句ニ、囊^ニ中^ニ尚^レ有^リニ毛錐子^一ト作ソ、毛錐子ハ筆ノ名ナリ、毛
 テ云ホトニソ、毛遂ガ^一ガ、ヲコリソ、月^ハ是^ハ毛錐烟^ハ紙^ニ為^レ予
 写^ス作^スニ百梅^ノ図^ト、梅ノ詩ニ方秋崖ヤラ、作タソ、
 〱兩^ハ々^ハ縱、
 三^ハ々^ハ横^ハ一^ハ一^ハ習^ノ字^{ナリ}也、上ノ羽ハ、タテノ点^一、
 一^{一七〇ウ}ガニ、ヨコノ
 点カ三ソ、習ト云字チヤソ、詳^レ習日本テ日吉山王ノ二字ヲ、

豎ノ三^ニ点、横ノ一^ニ点ト云タハ、山ノ字ナリ、横ノ三^ニ点、豎
 ノ一^ニ点ト云タハ、王ノ字ナリ、景徐和尚江州エ、拈香ニ、御
 下アリ、香語ノ中ニ、神ヲロシノ所ニ、山王ノニ、此^一ヲヲメ
 サレタソ、某江州太守ノ請ニ、陞座ニ下テ、法語、神社ヲ、
 挙ル所ニ、此^一ヲヲ作ス、ツイヲシテアツタソ、
 〱活^{ムスフ}〱締^{ムスフ}〱、
 合從ヲムスヒ約束スル^一ソ、
 〱定^メ〱モ、合從ヲ定^メタ^一ソ、
 〱蹤^{クツワツラク}、
 〱選^{クツワツラク}〱轡^{クツワツラク}、
 驚^ニ前^ニ一^ニ、サキニ行ク馬ノヲトカ、人ノ行クヲ
 トカニ、コチノ馬カ、ヲトロイタソ、轡ノヲトロクハ、馬ノ
 一^{一七〇オ}ソ、
 〱北^{コイネカツ}山^{アトヲ}移^{ガウニ}文^ニ〱
 〱希^ニ〱一^ニ三^ニ輔^ニ豪^ニ一^ニ、三^ニ輔^ハ、西ノ雍
 州ノウチニ、三^ニ輔^ト云^一アリ、ミヤコノ、長安ノ左ニ、扶^{ヨク}翊
 アリ、右ニ扶風アリ、中ニ、京兆アリ、此ハ、ミヤコヲ、タ
 スケ、カキニナル、在所ナリ、馮^フ翊^トモカイタソ、馮モ、憑
 モ、同ソ、タノムハ、タスクル心ソ、扶風ノ扶モ、タスクル
 ナリ、サテ、三^ニ輔^ト云^一ソ、輔ハ、タスクルナリ、ソコテ、
 〱ノ、カシラケンヘイヲ、トルヲ、豪ト云ソ、此ノ所ノ、イセ
 イスル人ノ中ニモ、マシワツテ、イタ心ソ、
 〱躡^{フム}〱蹤^{フム}、
 〱一^ニニ
 三^ニ皇^ノ之^ヲ高^一、
 〱楊^ニ雄^ニ〱
 楊子法言ニアルカ、三皇ハ、伏キ神ノウ黄

「^{174ウ}」 ○^{ケウ} 鄒、小イ舟ナリ、 ○^{ケウ} 梁、^{シヨナリ} 稽也、ウルシネトヤラヨ
ムソ、

○^{ケウ} 筇、竹名可^{ツクル}レ為^レ杖、^{ケシツメ} 張鸞使ニ大宛^ニ得^レ之^ヲ、大宛ハ、天竺チカ

イ西ノ国ナリ、張^{ツエ}ハ天竺エ使ニイテ、石榴ノタネヲトツテ、

キタトアリ、コ、ハ、大宛ニ使イシタト云ソ、^{ケウ} 三^{ケウ} 筇張魏

公在^リ蜀有^ニ僧与^ト三^ト（小^ト）^ル 来^ル 因^テ 指^メ 尼舞^ヲ 張^{シム} 曰^ク 婦^ノ 女^ノ 風^ノ 邪^ノ 斬^ル

レ之^ヲ 僧^{コソツテ} 拈^ル 去^ル 乃^チ 枝^ノ 一^{ナリ} 也、此ハ異ナ^ツソ、張^ハハ、イツ

ノ時ノ者ヤラ、排勻ニハ、ミエヌソ、蜀ニイタ時ニ、僧カ、

比丘尼ヲ、三人ツレテ、キテ、僧カ、比丘尼ニ、マウシタソ、

張カ、ミテ、此カ、女人ヤ、比丘尼ノスル法カ、キラウト云

タレハ、僧カ、三尼ヲ、ツレテ、ニケテ、イン^{175オ}「タソ、三

本ノ竹ニ、ナツタソ、^括 活^ク 瘦^ウ、ヤセテ、カレタ杖ナリ、^{サ、ウ} 攢^ラ

葛^{サ、ウ} 陂^シ、龍ノ所ニアツタソ^{サ、ウ} 攢^ラ、攢^シハ、サ、ユルナリ、

シノコエナリ^シ 吟^シ、ツイテ、アルキ、アルキ、詩句ヲ吟ス

ルソ、 ○^ノ 邛、州名ナリ、一日臨^シ、司馬相如カ卓文君ニア

ウタ所ナリ、又病^{ナリ} 也^{ナリ} ^詩 維^レ 王^レ 之^レ、^{ヤマイナリ} トノ篇ヤラ、亦孔^{ナリ} 之^レ、

此ハ不^レ 詳、孔子ノ^カ、^{ガウ} 臨³⁹ 邛、相如与^ニ 文君^一 売^レ（ル^ル 必^必）

ニ酒^ヲ 一^ニ ^本 史^ノ 相如カ伝ニアリ、^道 士^ノ 洪都^ノ 客^長 恨^歌 ニア

リ、タレヲ云タヤラ、不^レ 考ソ、^巴 邛、^一 人^ノ 収^ニ 二^橋 一^ヲ

中^{カニ} 有^ニ 二^隻 一^変 棋^ス 詳^レ 橋^別 ノ書ニハ、巴園ニ橋アリ、ソノ中

ニ、仙人二人アツテ棋^{175ウ}「^四 打^タ タソ、商山田^{（四} 皓^中 ノ二人

チヤトモ云タソ、入声ノ橋ノ所ニアリ、如^レ 筵^{アウ} 橋^ト、タイタ

ソ、ソノ下ノ注ニ、巴園人、両ノ大橋ヲ得ソ、三斗入ルホド

ノカメノ大^ナソ、橋ヲ、ワツタレバ、二人ノ老翁アリ、身ノ

タケ、一尺アマリ、棋ヲ打タソ、一人ノ、ヲキナカ云ハ、此

ノ橋ノ中ノ、タノシミワ、商山ニ、ヲトラヌソ、ウラムル所

ハ、此ノ橋ノ木カ、根モ深ウモナク、ホゾモ、カタウモナ^{（カ} タウ^カ）

イ^ト ヨト云タソ、又一人ノヲキナワ、吾ハ、イカウウエタソ、

カツエタソ、龍ノホシマシヲマチテ、此ヲクワウト云タソ、

ソレカ、現シタヲ、食シハテ、^{176オ} 水ヲ以テ、「^地 二、ハイ

テ、二ノ白龍ト、化テ、ミエナンタソ ○^邛 邛、^莫 草^ノ 英^{（美} 必^必） ノ

実^ミ ナリ、^莫 堯^ノ 時ニアツタト云タソ、実ノナルヤウナ^トハ、

39 「邛」には本来「ガウ」という字音は認められない。「印」と混同されたものと推される。

此モ、前ニアリ、九ノ容ノ一ソ、**孟**却^シレ之^レ不^レレ、不^レ詳、

可^レ考、^{カアニヨメ}後恭、^{カアニヨメ}蘇秦嫂、^{ハアチトリ}4 1 前倨、^{ハスナリ}後一以^二其位^一（^ノ衍か）

^{クノキヤ}高金多一也、^{カウ}詳^レ倨蘇秦ガ、^{カウ}兄ヨメ、前ニハ、秦ガヒラウメ、

カナシイ時ハ、アナトツテ、カルシメタソ、後ニ、ブゲンニ

ナリテ、黄金ヲ、多モチ、位モ、六国ノ相ニナリテ、高ウア

ガツタホドニ、インギンニ、ウヤマウタソ、人間ハ、コノツ

レソ、倨ハ、アナトルトヨシタカ、カルシメタソ、**活**懿

一、懿ハ、ヨシトヨムソ、ヨクウヤマイシタカウ心ソ、^{ゲシ}懿

一、イツクシイナリ、此モ、「^{178オ}ヌタニナウ、インキンナ心

ソ、^{ケウ}協一、^{カウヨウボ}尚書ノ阜陶謨ノ篇ニ、^{カナイヤ}協一トアリ、諸侯ト

同シク、五^一礼ヲ正^シウメ、和スルナリ、ヤウラゲ、ヨクセヨ

ト云心ソ、^{トク}篤一、篤ハ、アツイトヨムソ、実^メニ、ケイハ

クニナウテ、ツ、シムソ、**人名**（^ヘ）魯一後漢賢宰ナリ、

魯ハ、字ハ仲康、漢ノ建初、^{肅宗ノ年号ナリ}中ニ、中牟ノ令ニナツテ、徳化

ヲ以テ、所ヲ治^ラタソ、ソノ時ニ、イネヲクウ、^{メイ}螟ト云虫ガ、

フツテ、五谷ヲ、ソコナウタソ、蝗^一虫ノソ、魯ガヲサメタ、

中牟ニハ、蝗ガナイソ、奇異ナ^レカ、ニアツタソ、谷ガ詩ニ、

魯^一卓茂可^レ人否ト、作^ラタソ、卓茂トヨメ「^{178ウ}ルソ、賢一

宰ト云ハ、国ヤ、郡ヤ、乃至、村里ノ主ニ、ナツテ、ソノ所

ノソヲ、サバイテ、公事、ソセウ^ラヲ、判断^メ、私ナウ、理

非ヲ、ヲトシ、ツクル^ラヲ、職ニスルソ、宰ハ、ワクル^ラソ、

^{シヤウ}王^一鶴髦、王^一字ハ孝伯人^一物ノヨイ者ナリ、鶴ノ毛デ、

キルモノヲメ、キタソ、雪ノ中ニ、毛ノ衣ヲキテ、雪ノ中ヲ、

アルイタソ、蜀ノ国ノ主、^{チヤウ}孟昶ガミテ、マコトニ、神仙中人

チャト云タソ、王ガナリハ、春ノ月ノ夜ニ、柳ノ、月ニ、映

メ、キヨウアライタテタヤウナト、人ガホメテ云タソ、○

供、^{ケウ}尚書ノ无逸ノ篇ノ語ナリ、^{コレタケシクシ}以^レ惟正^一之^一トアリ、文王ノ

カリヲシアソヒ、酒ヲ「^{179オ}ノム^ラヲ、禁^メ、身ヲ正^メ、天下

ノ万民ヲ、ナデヤシナワル^ラソ、民ヲ待テイル心ソ、**詩**小

共大共トアル供ノ心ソ、ツ、シシタ心ソ、トノ詩ヤラ、不^レ詳

⁴¹ 原本および『韻府群玉』当該箇所には「媮」とあり、左傍訓の「カウ」はこの字の音符によるものと推される。なお、『広韻』によれば、「媮」は「媮」の俗字である。

ソ、**左**謂許不^レ、トノ伝ニアルヤラ、不^レ詳、可^レ考ナリ、山
 色^スニ詩^ラ料^ラ、山ノミゴトナハヨイ詩ノ道具ヲ、ソナエタ者
 ナリ、料ハ、材木ヤ、道具ト云心ソ、山カ、詩ヲツクラウス、
 ヨイ材木道具ト云心ソ、**活**ハ上^一、上ノヨイ物ノ心カ、上^{タリ}供
 ノ心カ、上^ルレカ、不^レ詳、上ノ供ト云ヘハ、供ハ、体ガテク
 ルソ、仄ニナリサウナソ、**供**スルトニハ、平ソ、^{クニ}日^一、毎
 日供シ、献スルソ、^{ケウ}歳^一、此ハ、年貢ヲ、毎年進^上メ、
^{179ウ}「マラスルソ、マラスル、供ト云ソ、供ハ、ソナウトヨム
 ソ、^ニ茗^一椀^一、茶ヲ、タテテ、マラスルソ、^ニ伏^一臘^一、伏
 ト云ハ、夏ノ中ニ、三伏アリ、金ノ秋ノ気カ、庚ノ日生メ、
 アツイ暑ノ火ヲシツムルソ、伏シテ、カクル、ソ、フシタ心
 ソ、カノエノ日、三度アリ、三伏ト云ソ、臘ハ、シワスナリ、
 伏ノ月ト、十二月ノ臘トニ、物ヲ供メ、先祖ヲ祭ソ、伏^一
 スト云タソ、^{ケウ}斗^一酒^一、一斗ノ酒ヲ、供シタソ、一斗ノ酒ヲ、
 マラメ、涼州ノ守護ニナサレタコアリ、^ニ上^一戸^一学^一士^一アリ、天子
 カラ、一斗ツ、酒ヲタマウタコアリ、^ニ唐^一ノ王^一績^一カ^一ナリ、

供スルハ、タマウタニモ、上^ウエ、タテマツルニモ云ソ、

○共、^一為^一子^一職^一ハ、尚書ノ語カ、不^レ考、点モセヌソ、可^レ考
 ナリ、**左**敬^ツ「^テ朝^一タ^ニ、左伝ヲ考ニ、ミアワヌソ、^{ケウ}供
 ズトヨムソ、^ニ経^一泉^一テハ、供ハ、クウズトヨムソ、^ニ朝^一タ^ニ
 ハ、ナニヲ供シ、^{（衍カ）}タヤラ、**左**三^一命^一、^{タヒ}茲^一益^一、^ニ君^一カラ、
 三度マテ、^ニメイ^一ヲウケタホトニ、云イツケラレタコヲ、イヨ
 く、ツ、シンタソ、供ハ、ツ、シム心カ、靖^ニ爾^一位^一、^ノド
 ノ詩ニアルヤラ、不^レ詳、可^レ考ナリ、^ニ阜^一共、**歐**不^レ詳、除
 ナリ、^{マウ}善^一惡^一雜^一ニ^一、推スルニ、舜ノ臣阜陶ノヨイ臣ナリ、
 惡臣ニ、共工アリ、此コテアラウソ、**書**篇九^一亡^一書ウセテ、
 ナイソ、亡ハ、ナイト云心ソ、**活**氣^一絲^一、^{コシ}二^一小^一人^一ナリ、^ニ鯀^一
 ハ夏ノ禹ノ父ナリ、共ハ、共工ナリ、二人トレモ、ワルイ臣
 ナリ、○^{ケウ}龔^一給^一也、タマウ心^一「^{180ウ}ソ、**柳**万国罔^一不^レ、^{ナシ}レ^一、
 一天下、万国、君ノメグミニアラズト云コナイソ、^{メグミ}惠^一ヲタマ
 ウト云ソ、^ノ兩^一龔^一、楚^一之^一潔^一、⁴²兩^一ハ、龔勝字ハ、君
 実^{（實カ）}ナリ、王莽ガ、天下ヲヌステンテ、位ニイテ、龔ヲヨビダ

サウトテ、馬車印綬ヲ、ヲクリ、上卿ノ位ニナイタレトモ、
 デヌソ、身一モテ、二ノ姓ニハ、ツカエマイト云テ、伯夷ガ
 ヤウニ、不レ食メ、死タソ、楚ノ者ナリ、又龔舎ト云アリ、字
 ハ君傭ソ、五経毛詩ニ、達シタソ、卓茂鮑宣ナド四人云アワ
 セテ、インキヨメ、ツカエヌソ、名ヲシラレタソ、勝ト舎ト
 ノ二人、両龔之潔ト、云タソ、志シ、節義、イサキヨイ181オ
 ホドニソ、**人名**へ列劉む一キヤウガ向之孫、排勻ニハ、ミエヌソ、
 葛一後漢善ニ文一記一知レ名、後漢ノ者、文章記泉ヲ、ヨク
 シテ、名ヲ知レタソ、 王一、後漢人引ニ進黄憲陳蕃一、黄
 一陳一ノ二人ヲ、ス、メテ、引用タソ、**姓氏**へ一勝字ハ君実實む
 ナリ、与ニ一舎ニ相一友並著ニ名節一舎字ハ君傭即両龔ナリ、
 前ノ両一之潔ノ所ニアリ、 一遂字少卿為ニ渤海太守一盜一賊
 皆罷、詳レ犢、渤海ハ、北方チツト東エモ、近ソ、盜モ、ヤ
 ウダ(漏点生)ソ、民ニス、メテ、劍ヲ売テハ、牛ヲカイ、刀ヲウツ
 テハ、牛ノ子ヲカワセテ、耕作ヲ、本ニサセタソ、 一析字ハ
 蓋一カウ181ウ道風盜(竊む)端雅范述曰此荆楚仙人一、一析ハ、人物、端
 一ハ、タ、シイソ、ドコモソロウミゴトナソ、范一ガミテ、

ホメテ、云タソ、楚ノ国ノ仙人チヤソ、凡ボシ鄙ニ、ナイソ、 一
 茂良趙宋人字実之除ニ一セラル参政一、排勻ニハ、龔茂トアリ、良
 ノ字ハ、ナイソ、参政ハ官、政事ニ、アツカリキクソ、参レ
 政、宰相已下、政ノ談合評詁ノ、人一衆ニ、加ソ、枢一密ト云
 ノスハムソ、薦ニ謝諤楊万里等ニ世称レ知レ人、謝一モ名一人、性
 学淵源トイワレタソ、楊へ一ハ、誠齋ナリ、宋ノ末ノ名
 人ナリ、此ノ二人ヲ、天子エ、ス、メタホトニ、世間ニ、龔
 茂ヲハ、ヨウ人ヲシツタ者ト、ホメテ、云タ182オソ、人ヲ知
 ルルモ、大事ナソ、

○**字説**ニ一松葉柏身則葉与レ身皆直一、此ノ**縦**ハ、葉ハ、
 松ノ葉ニテ、木ノカラハ、柏ノ如ナソ、葉モ、身モ、スグ
 ニ、柏ノ木ノ如ナソ、檜柏葉松身則葉与レ身皆曲、檜ノ木ハ、
 縦ニ、ウチチガエテ、葉モ、身モ、マカルソ、又**詩**簾業維
 一、注懸ニ鐘一磬一処、ドノ詩ヤラ、不レ考、点モタシトハ、
 点セヌソ、
 ○**鑿**、矛属、ホコノ類ナリ、
 ○**鑿**、斤斧孔也、ヲノマサカリノ穴ヲ云ソ、斤モ、斧モ、

ヲノトヨムソ、

「^{182ウ}箆、車弓ハ、ナニタル弓ヤラ、不レ詳ソ、

(本丁は以降を空白とする) 43

「^{183オ}△三江

○江、呉人鉄^ト鎖^{ヲウ}横^レ、^ニ詳レ鎖、勻府ノ上声ノ笮勻ノ鎖ノ所

ニアリ、呉ノ者、江ノ石クラナトサイテ、要害ニスル所ニ、

鉄ノクサリヲ、ナカウ打テ、江ノ中ニ、ヨコタエテ、舟ノ

往来ヲ、キリタツタソ、又鉄ノ錐ノ長サ、一丈アマリナヲ、

江ノ中ニ、カクイテ、ワイテ、舟、イカダヲ、ツキトロメ、

往来ヲ、サエタソ、晋ノ王濬^シ筏^シヲ作テ、水^レ練^レヲ、ヨウスル

者ヲメ、イカダヲ以テ、水中ヲ、トラウ^ヲセタニ、此ノ鉄

錐ヲ、ワイタニ、イカダニ、錐カタツ^{183ウ}「^テ、エハタラカ

イデ、ソノマ、イカタヲステ、去タソ、又タイマツヲ、

作^ツテ、麻ノ油ヲ、ソ、イテ、船ノマエニ、ワイテ、鉄鎖ノ

アル所テ、タイマツヲ、トホイテ、此ヲヤイタソ、ソクジ

ニ、鉄^一カ、モユル火ニ、トロケテ、タエタソ、此ラハ、

晋書ノ王濬力伝ニアリ、浮^ヘ笠^ヲ渡^レ、^ヲ詳レ笠、黄檗ノ江ヲ

渡テ、天台エ、イカル、ニ、水デ、エ〔〇ワ〕タラヌソ、

異僧カ、キテ、笠ヲ、浮ヘテ、渡テ、黄^一ヲ、マネイテ、

ワタレ^レト云タソ、吾身ハライヤウ^レシタヤツヂヤト、

ノラレタソ、^{184オ}九江、自廬江潯陽分^テ道^ヲ

「^{184オ}為^ル白^一、蚌^一、鳥^(鳥か)、靡^ヒ、吠^{ケン}、源^一、廩^{リン}、提^{テイ}、

箇^{ケン}上^ト、**勻会**ニアリ、^{184オ}三江、錢塘揚子松江、一云松江錢塘

浦陽、一云在^ニ蘇州^ニ、三江ノトリヤウ、書ニヨツテ、カワリ

アリ、^{184オ}鳥江、項羽敗^ハ欲^ハ渡^レ、^{184オ}史^ハ、鳥トヨムソ、

タ、ハ、鳥トヨムソ、^{184オ}桐江、巖光釣^カ一^リ在^ニ巖州^ニ、又ハ、

吉州ニモ、亦有^レ之^レ、桐江ハ、吉州ニモ、アルトシタソ、桐声

ト云所ニ、アルニヨツテ、桐江ト云ソ、^{184オ}吳江、楓落^テ一

冷^ス、^{184オ}詳^レ楓東勻ノ楓ノ所ニモ、ノセタソ、^{184オ}曲江、漢武造^ツ

一^ニ池^ヲ其^ノ水^ニ折^ル、前漢ノ武帝ノ曲^一池ヲ、ホラレタソ、ソ

43 本丁左下には、「一八一」と丁数が示される。

ノ池ノ水ガ、西エヲレテ、流タソ、^{184ウ}「^{1ス}明皇封²張九齡於此³」
^ス一号^トニ^ト一⁴後秀士登^ウ科賜^ニ宴^ヲ於此^ニ、明皇ハ、玄宗ナリ、
 張^一一^ヲ、曲江ニホウセウ^{ラカ}レタホトニ、曲^一一^{公ト}、張^一一^ヲ
 ヲ云タソ、中州集ニ、洛中独楽有司馬、天下不名張曲江ト作
 タソ、九齡カ^フソ、^ハ渡^レ江^ヲ、祖逖擊^レ楫^一一^ヲ、詳^レ楫、
 祖^一一^{字ハ}士稚^チ、氣カ、ヌキンテタソ、晋ノ元帝ノ豫州ノ守護
 ニナサレタソ、江ヲ渡ルトキ、江中ノ、中流^ルデ、楫^{カチ}ヲタ、イ
 テ、水神ニ、チカイ^フヲメ、云タソ、ソレガシ、中^一一^{原ノ}ミヤ
 コヲ、ヨク乱ヲシヅメ、キヨメハライノケズ^{滝原庄}ンハ、マタワ
 タル^フハ、アルマイソ、カウ云^フノ、チカワヌ、此大ナ江
 水ノ如ニ、アラウソ、江^一一^{水ハ}、チ^一一^{カワヌ者ナリ}、婁^{ロウ}師^ハ
 德^{ハキ}岐^ハ一^ハ人^ト一^レ一^婁一^一字宗仁ソ、徳ノアル者ナリ、相ノ
 位ニイル^フ三十年ナリ、袁客師ト、舟ニノツテ、江ヲ渡ルニ、
 舟ノ中ニ、鼻ノ下ノ黒イ氣アリ、ワタサヌソ、ニワカニ、一
 人^{アシ}足^レノナエタ男カ、フネニ、キテ、ノツタソ、客師ガ云ハ、

此ハ、貴人ナリ、此ヲハ、ワタサウスト云テ、ワタイタソ、
 ソノアシナエタヲトコハ、師徳テアツタソ、**袁天綱伝袁客師**
 ハ、袁天綱カ^フソ、人ヲサウジタ名人ナリ、天文ニタツシタ
 ソ、^ハ潘江、秦范波瀾瀾^{ヒロシウ}笑^ニ陸海^一一^ヲ一^{秦少游}范モ同学ノウチ
 ソ、陸^{カハ}才、如^レ海^ノ、^{カハ}一^才如^レ一^ト云タソ、陸^キソ、一^岳ハ、江
 ノ如^ナソ、**鍾榮** **詩品** ^{185ウ}「セウエイガ詩トモノシナ^ハ」^朱、
 評シタ語ソ、^ハ帝江、天山有^レ神^ニ、状^{カチ}如^ニ黄雲⁴⁵一、六足四
 翼^{ヨク}渾^ト沌^ト无^ニ面^一一^目一^是識^ニ歌^舞一^実為^ニ一^一或^ハ作^ニ鴻江^ト、
山海經天山ニ、神アリ、カタチ黄雲ノ如^ナソ、天山ハ、漢ノ
 時ニ、エヒスノ国ニ、高^イ山、四時雪アリ、白山トモ云イ、
 天山トモ云タソ、コ^ノ天山ハソレテハ、ナイソ、ツクツテ、
 云ホトニ、シラレヌ^フソ、ソノ神ハ、六^一足六^{アリ}、四^一四
 ノハネアリ、渾^一一^ハ、ヌンマトメ、茶ワンノヤウニ、ヌマノ
 \トメ、目^一一^口モナイソ、ソレヲ、帝江ト云タソ、又鴻江トモ
 云タソ、コレヤウナ、異^ナ人ヤ、鳥ヤ、ケタモノ、魚ナドノ

⁴⁴ 『韻府群玉』当該箇所には、「一^一公」とある。
⁴⁵ 『韻府群玉』当該箇所には「状如黄囊」とある。

77、山海経ニノセタソ、^{186オ}「我心塊然如^{クワイトメシ}ニ^ノト、谷カ
 作ソ、塊一ハ、マルメタ、土ノヤウナ、ムキシヤウニメ、ナ
 ニフモ、ワキマエヌソ、无^{テウ}心ナ心ソ、^{マメ}澄江、^メ一^メ淨如レ
 練^{ネリキヌ}、晋ノ謝眺^{テウ}（眺^ヒ）カ詩ナリ、謝宣城トモ、云タソ、謝元
 暉トモ云タソ、名誉ノ詩ヂヤゲナソ、谷詩ニ、憑^{ヨツテカ}レ誰説^ニニ与^{セン}
 謝玄暉^ニ莫^レ道澄江静如^ノ練ト作ソ、又解^ス道澄江静如^ノ練令^メ三
 人長憶^{ヲク}謝玄暉^ヲ、謝カ句ヲ、アチ云イ、コチエ云イ、色^レ々
 ニトリアツカウタソ、淨ト、静ト、カヨウテ、用タソ⁴⁶、
^ハ吞^レ江^ヲ、渴夢^一一^ヲ起^{テトク}解^レ顔^ヲ、^ハ谷渴^メハ、夢ニ、川ヤ、江ニ
 ヨツテ、ノウテ、カワキヲ、ヤメタト、夢ニモミルソ、夢^一^{186ウ}
 サメテ、ヲキテ、キゲンヲヨウメ、笑ソ、起ハ、夢サメテ、
 ヲキテノ心ソ、サレトモ、ヲキテトハ、ヨメヌソ、起^{タテ}ト、ヨ
 メルソ、解^{トク}ハ、ヒラク心ソ、笑エハ、カヲ、開ソ、又谷力慰^{イセン}
 三公渴夢^ノ吞^ノ江湖^トトモ、作タソ、又吞^ニ五湖三江^トトモ、作タ
 ソ、^ハ決^ニ西江^一、^ハ莊子^ニ曰^ニ待^下我^カ一^ノ之水^ヲ而活^上レ^レ汝^ヲ、
 此ハ、水ニツマツタカ、又魚ノ水ノカレタニ、クルシウタニ、

云タカ、枯魚ノ^コニ云タヤウナソ、汝ヲ活スルト云タホトニ、
 莊子ノ書、今コ、ニナイホトニ、不考ソ、決ハツ、ミナドノ、
 キレサケタ^ツソ、^ハ濯^ニ錦^一江、杜甫浣花溪又曰^ハニ^ハ一^ト、
 杜カイタ溪ヲ、^一一^ト云ソ、又ハ、浣花^ヲ一^ト云ソ、
^{187オ}「ソウメハ、蜀ハ錦ノ名所ソ、錦ヲヲリタテ、濯ウ^ハハ、
 アルマイガ、洗ト云タソ、アライタテ、キヨイ心カ、杜カ
 イタ谷ノ、浣花ヲ濯錦ト云トシタソ、此タニ、花カ、多カ、
 花ノヲチテ、溪水ニ、浮ビ、又影ノウツタヲ、花ヲ浣ト云心
 テ、浣花トツケタカ、花ハ、錦ノ如ナホトニ、錦ヲアラウ江
 トモ、イウウソ、浣花溪デナウテ、別ニ、^ハタク^ニキント云、江
 カアルト、ヲモウタソ、方輿ノ蜀ノ所ヲミレハ、浣花溪ハ、
 成都ノ西五里ニアリ、一ニハ、百花潭^{クシ}トモ云タソ、昔冀国夫
 人ト云ガ、ハジメ、イヤシカツタ時ニ、四月十九日ニ、僧ノ
 アルガ、ミゾエヲチテ、トロニヨコレタヲ、ミテ、此夫人^一^{187ウ}
 ガ、僧ノヨコレタ衣ヲ、アラウタレハ、百ノ花ガ、潭^{フチ}ニミチ
 一^ノタソ、サテ、百花潭トモ云イ、浣花溪トモ云タソ、杜ガ

⁴⁶ 原本には、**用タソ**のように横線が存する。続く「吞」の二画目と推される。

コ、ニイタソ、蜀ノ部ニ、濯錦江ト云フヲハ、ノセヌソ、^{スフ}吸ニ西一江一、馬祖曰待^カ汝一^ニ口一^ニ尽一^ニ水一^ヲ即向^ニ汝道^ニ、詳レ吸、僧力、馬祖ニ参メ、方法不^レ侶ノ話ヲ、問タニ、此ノ語ヲ、コタエラレタソ、今濟下ニモツハラ、商量スル、古則ナリ、色々義理ヲ付ケ、段々ヲメ、示サル、ケナソ、**活**ハ澄一、前ニアツタソ、^{ハリ}ハ、七宝ノ一ソ、色カ青ソ、江水ノアライヲ、玉ニ比シタソ、又ドコソ、所ノ名カ、ヲホエヌソ、**姓氏**濟陽ニ江氏アリ、^{エキ}伯益^一之後封^ニ於江^一因^テ氏、^{トス}伯益ハ、舜ノ良臣ナリ、江陵ニ封セラレタソ、^ハ一充^一容^一貞魁^一偉武帝曰、燕趙固多^ニ奇^一士^一、**本**江一ナリギタイ、大ナソ、^ハ貞ハ、カタチナリ、ナリカ、リノソ、武帝ノホメテ、云ヘタソ、北^一国ノ燕^一ノ国ニハ、器用ナ者ガ多ト、マコトニ、サウアルヨトイワシムタソ、汝穎多^ニ奇^一士^一ト、同シ心ソ、^{イウ}一^ハ道^一、^{ヤク}燕^一鷄^一燒^一賊^一營^一、詳レ鷄蒙求ニアリ、齊ノ勻鷄ノ所ニアリ、鷄ニ、火ヲユイ付テ、テキノ城エ、ハナイテ、テキノ陣屋ヲ、ヤイタソ、^{エン}一^ハ淹^一、字文通夢得^ニ五色筆^一而文章^一顯^一、此モ、蒙求ニアリ、夢二人ノ五色ノ筆ヲ、クル、トミ

テ、カラ、文章ヲフデ、カキダス、スクレテ、名ガアラ^{188ウ}「ワレタソ、錦ヲ一タン、人カクレタトモアリ、ノチニ、トラセタ者ガ、コウタニ、ノコツタヲ、カヤイタレハ、ノコリズクナニ、ナツタヲミテ、ブケウシタ色アツタト、シタモアルソ、^{サキ}割^一尽^一胸^一无^一錦^一ト、景徐ノ章句ニメサレタソ、^ニ升^一降^一承明之関^一、^ニ出^一入^一金華^一之殿^一、承^一ハ、内裏ノウチノ出仕スル、^ニテ^一ンソ、ソレニヲリノホリメ、奉公マウス心ソ、承一ノ廬トアリ、コ、^ニ関^一トシタモ、同^一心ソ、金一ハ、^ル学士ノイル殿ナリ、ソコエ、デイリ、フダンシタソ、^ハ一^ハ炬^一、為^ル廬江守^一以^レ廉称^一名^一還^一、^{セラル}缸^一輕^一皆^一載^一士^一、江一廬一ノ守護ニナツテ、イタソ、レンチヨクヲ以テ、人ニシラレタソ、天子ノ御キ、アツテ、^{189オ}メシミラレタ「ソ、守護ニナツテ、モトル時ニ、サキカラ、ナニモ、トテコイデ、アマリ舟ガカルイホトニ、土ヲ一ハイ、舟ニノセテ、帰タソ、名人ソ、マレナソ、^ス一^ハ万里^一趙宋^一人^一号^一古^一心^一宋^一亡^一赴^一水^一死^一、文章モスクレ、^キ氣^一ガイ、石カネヲモ、トヲス如ニメ、節義カ、高ソ、ヒツコウテ、閑居メ、イタソ、宋ガホロビテ、元朝ノ命ヲアラタメ

ホシノニモナウ、アケタツソ、ナニヲアケタヤラ、文章ナ
トノ、カノヨウウテ、ヲモイ物ヲ、アケテ、アケエヌツカ、
ワケハ、シレヌソ、

^{191オ}「^{ヘリ}鼎独扛、龍文百斛^{コクノ}筆力可^シニ^{191オ}」、詳鼎、秦ノ武王
ノ孟^{エツ}説ト龍文ノ鼎ヲアケラレタソ、孟ワ、ヒサノ皿カヌケテ、
死タソ、臙トアルソ、ヒザノサラノ骨ノ、ヌケタソ、

○^{ナリ}厯、厚也、アツイ心ソ、又雜^{マシワルナリ}也、アイマジワツタ心
ソ、**書**不和政ードノ篇ヤラ、不^レ詳ソ、可^レ考ソ、^ハ駿厯、

為^リ二下国^ノ一、**詩長発**

一^{ナリ}大^{ナリ}厚也、大ニアツイノ心ソ、此ノ詩ハ、天ヲ祭ラレタツ
ソ、大ニアツク、マコトノアル心ソ、^ハ敦厯、民生一、
左成楚力鄭ノ難儀ヲスクウテ、軍ヲイダシタ時ノソソ、民モ
マコトニ、マタウアリ、楚ノ君ノ^{191トウ}「^ハ心エモ、ヨ、カツタ
ソ、今ハ民ヲステ、心エモ、ワルイホトニ、命ニ、カワツ
テ、合戦スル者アルマイト云タソ、^ハ鴻厯、^{アツス}庄^ニ后土^ノ之^一
一、ナニヲ云タヤラ、鴻一ハ、上ノ敦一ト同心ソ、^{コトアツシ}言厯、

文勝^{スケレテ}而^ハ一、**韓**^{（柳ハ）}

^ハ眉厯、哆^ハ口疎^ニ一、モノハ、口ヲタ、イテ、云ソ、アツ
イ眉^ハ毛ハ、ヲロンカナ心ソ、年ノヨツタツカ、^ハ服厯、衣
之厯一、**左**コ、ノ点、フシン、可考、○^ハ厯、犬多^ノレ毛、ナリ、

ムク犬ノツレカ、**詩**无^レ使^レ一也吠ナリ、犬ヲホヤスナト云心
カ、又雜也、マシワル心ソ、前ニアツタソ、一涼冬殺、可考、
涼ハ、ウスシトヨムソ、厚薄ノ心カ、^ハ冥厯、一^ハ或夜^ハ吠^ウ

坡^ク一^{192オ} 杞根ナリ、^{コノ}^ハ奇厯、音^ハ容儻儻服^ニ一^ニ**坡**儻一、

ユワイソソ、弱ノ心ナリ、クタヒレタ心モアルソ、**活**^ハ吠^レ月^ニ
一、月夜ニホユルソ、月ヲハ、ホエヌソ、○^{マウ}嗔^ハ惡^ハ少^ハ嘲^ハ噓^ハ

語乱^テ一**谷**嗔^ハ、ヲウゼイ、ヨリヤウテ、カシマシウ、モノヲ

云ソソ、人ヲアサケルハ、犬ノホユル如ナソ、○^ハ駟、^ノ馬^ノ額^ノ
白ナリ、又夷部名ナリ、西南ノヒツジサルノ方ノ、夷ヲ云ソ、

相如伝邛苴冉一、四ハ夷ノ部ノ名ナリ、

○窓、^{ソウ}鷄窓、宋^ソ処宗^ニ著^ク二^ニ一^一間^ニ、功^ニ業^大進^ム、詳^レ鶏、⁴⁷八窓⁴⁷、

五戸^一一^一明堂^之制、**礼冬官注**天子ノ、天ヲマツラシム所ヲ、
明堂ト「^{192ウ}云ソ、イカニモ、明ナソ、戸カ、⁽⁴⁷⁾五窓カ、⁽⁴⁷⁾八
ソ、玲^ス瓏^一一^一、**谷玲**一、玉ノスキトヲツテ、明ナ心ソト
リアケタ^テハナイソ ⁽⁴⁷⁾南窓倚^テ二^ニ一^一以^テ寄^{ガウス}傲^ニ **陶詞**帰
去来ノコトバナリ、南ノアカイ窓ノキワエヨツテ、心ヲナグ
サメテ、ヲゴツタ心ソ、⁴⁷北窓、陶潜^{セン}高^一臥^メ二^ニ一^一自^ニ謂^{ラク}義
一^ノ阜^{ナリト}上人^ト、詳^レ人^ニ、陶カ、夏ノアツイニ、北ノザシキス^シ
イ方、窓ノモトニ、高マクラメ、フセツテ、涼イ風ニ、吹レ
テ、快然トメ、タノシンテ、吾トヲモウタソ、吾ハ、上代ノ
伏キノ世ニ、太平ノ世ヲタノシンタ、民人デアルゾ、ト、ア
マリノタノシミノ、アマリニ、云タ^ソ、⁴⁷緑窓、一^一貧
家女**楽天**緑^一、^{193オ}ハ、ケツコウナ、窓サウナソ、ソコニ、
貧女カ、イタハ、ニツカヌヤウナソ、但、緑^一ハ、イヤシイ、
ソサウナ窓カソ、キレイナ窓ニ、貧女ハ、相応セヌソ、⁴⁷

錦窓、撩乱^一、撩乱ハ、ミタレタ心ソ、窓ノ乱タハ、心エ
ヌソ、ナニガ、撩^一タル^ソ、**韋楚老詩** ⁴⁷綺窓、瓊楼^一、

選玉楼ト同ソ、綺ハ、カンバタトヨムソ、ケツコウナ、キヌ
ノ^ソ、ソレデ、窓ヲハツタソ、⁴⁷断^レ窓、楊滔^{タウ}為^ニ中^一舎^ト
^{モス}レ^作 ^ニ制^一勅^一 ^{モツテ}令^一史^一将^一 ^{ヤク}二^ニ鑰^一匙^一 ^{ツシ}出^一无^一 ^ノ本^一可^一 ^{ケンス}檢^一 ^{ラル}レ^取
^{ヲス}レ^之号^一 ^ト二^ニ一^一舎^一人^一、楊^一ハ、唐ニツカエタソ、中書舎人ノ官
ニナツタソ、天子ノ詔書ヲ、カキダス官ソ、シタデ、^{193ウ}制
作ノ本ナトアツカウ、令史ト云者アリ、ソレヤウナ、カキタ
シナドノ、本トモヲ、吾所ニライテ、**ジャウ**ヲロイテ、カ
ギヲ以テ、ヨソエ、行タソ、留^一守^一ニ、詔書ヲ、サウ^一、カ
イテ、マラセイト、サイソクアルホドニ、本ガナウテハ、カ、
レヌホトニ、令史、**ジャウ**ヲ、ヲロイタ所ヲ、キリ破テ、本
ヲトリタイタソ、中書舎人ヲ、コ、ニ、中舎ト、キツテ、ノ
セタソ、刑部侍郎ヲ、刑待ト、詩学大成ニキツタソ、翰林学
士ヲ、源流至論ニ翰字トキツタソ、断窓ヲ、断^一トモ、別ノ
書ニ、シタソ、断^一ノ^一ハ、**職林**ノ書ニアリ、排勻ニモノセ

⁴⁷以後、原本に「窓」とある箇所は、『韻府群玉』では「窓」とする。

悟シタ人ソ、

195ウ

「¹蜂子鑽^{キル}レ窓^ヲ、古^{レイ}冥^{アン}行^{キヤ}脚^メ回^テ参^スニ受^ゴ業^ウ師^ニ、々窓下看^キ經

有^リニ^ト一^ウ投^ムレ窓^ニ求^ムレ出^シヲ^ノク^ク、^カク^ノヒ^ロシ^メア^エテ^キル^ノ不^ニ背^出一^ニ它

故^ヲ紙^一、**伝灯**古^ク冥^ハ、名^ナハ神^サ贊^ン、行^レ脚^レ遍^レ参^メ、帰^テ、前^ニ、經

ヲヨミ、戒^ナドウケタ坊主ヲ、受^レ業^ノ、師^ト云^ソ、業^ヲウケ

伝^ル心^ソ、業^ハ、ワザトヨムソ、經^録デハ、ゴウトヨムソ、

詩^文デハ、ケウトヨムソ、マナビシラウズワザヲ、ウクル人

ヲ、受^レ業^師ト云^ソ、業^ハ、ナル心^ソ、日本^ニ、名^ナ乗^ヨミ^ニ、

業^ヒラナト、ヨムソ、古^ク冥^ノア^ンキ^ヤメ、モトツテ、モト

ノ坊主^ニ、相^シタレハ、マトノモト^ニ、看^メ、イラレタ

ソ、マドノカミヲ、蜂^ガ、キツテ、デウド、^{196オ}「シタヲ、冥

ノミテ、イワレタソ、ヘンサンメ、一^見所^ヲ得^タホト^ニ、

云^タソ、世界^ノ、コレホト^ニ、ヒロイセカイ^ニ、ド^チエナ

リトモ、デハセイテ、此^カミヲキル^ヲヨ、グチナ^ヲ、カワイ、

ト云^心ソ、**伝灯**ニアリ、此^ヲハ、物^ニ多^ノルソ、坡^カ詩^ノ注^ニ、

作^スレ^ト、坡^カ注^ニ、モトヨリアリ、此^ヲヲ、引^ニハ、皆^ハ蠅^トア

ルソ、蜂^トアルワ、多^ハナイソ、^ミ彌^ゴ猴^ロ六^ク窓[、]仰^フ山^問如何^シ

得^ンニ見^性一^師曰^ク如^ク三^屋有^ニ六^窓ニ内^ニ有^ニ一^東一^呼レ^山山^底

如^ク是^一一^俱呼^レ俱^レ応[、]詳^レ猴^仰山^ノナ^ント^メカ、見^レ性^ス

ル^ヲヲ、得^ウト、問^レタソ、師^曰、瀉^山テ、アラウソ、タト

エハ、人^ノ家^ニ、六^所ニ、^{196ウ}「窓^カ、アラウソ、マドノ内

ニ、サルカ、一^ヒキ、アラウスニ、東^テ、マシトヨヘハ、コ

タユルソ、ドチデマリ、ヨブ方^デ、コタユルソ、六^所ノ窓^デ、

一^度ニヨベハ、一^度ニコタユルソ、六^ノマトハ、人^ノ六^根ソ、

目^口等^ソ、一^度ニモ、モノヲ、ミ、カギ、アチワイ、フレ心

ニシルソ、サルワ、性^ニタトエタソ、サルハ、主^人一^公ナリ、

性^ナリ、**活**一^軒、軒^ハ、ノキトヨムソ、ノキマト、云^心ソ、

一^灯、ウチニ、灯^ノアルマドソ、一^書ハ、アカリヲウケ

テ、書^ヲヨムマドソ、一^螢、螢^ヲアツメテ、灯^ノ代^ニメ、

書^ヲヨムマドソ、一^篷、舟^ノトマフイタマドソ、一^青一^瑣、

瑣^ハ、玉^ナトヲ、カザリニスルソ、千^一条^弱一^柳垂^ニ青^瑣一^ト、

杜^カ「^{197オ}作^モ、ダイリノマドソ、太^史瑣^窓ト、谷^モ作^ソ、官

人^ノ家^ノマドナリ、^{セウ}〇^拵、撞^也ツクナリ、鐘^ヲツクニ、撞

ヲヨムソ、**前**相^如伝^ニ、^{ツク}一^金鼓^ニツ、^{サウ}一^ミノ時^ハ、打^ナリ、

ツクトハ、ヨマヌソ、赴^テ節^ニ初^ニー^一韓^ニ音^ニ曲^ニノ、ホドヒヤウシニ、
チヤウ^ニく^ト、アウヲ、赴^トト云カ、○^{サウ}鏃^{セウ}、^{ホコノタクイ}矛^ニ属^ス、ホコノ
ルイナリ、

○邦、^{ハタン}書^ニ二百里男^一、クニトヨムソ、漢書ニハ、邦ノ字ヲ、
サタナイツ、高祖ノ名ガ、邦ナリ、書ノ禹貢ノ篇ニ、二百
里男^一、男ノ位、王者ノ用ヲトリアツカウソ、二百里ノ内
ヲ、ハカラウ^一 ¹⁹⁷⁷ソ、ソレヲ、邦ト、ソウメハ、大ヲ邦ト
云イ、小ナヲ、国ト云タソ、誥^ニ尔^ニ多^ニー^一、書ノコトハナリ、
誥ノ名多ソ、ドノ誥ヤラ、不^レ詳、^ニ詩^ニ殿^ニ天子^ニ之^ニー^一、トノ
詩ヤラ、不^レ詳、^ニ語^ニ一^ニ言^ニ興^ニレ^ニー^一、コトバーテ、国ヲヲコシ、
ホロホス^ニア^ニル^ニソ、大事ト、イワレタソ、^ニ氣^ニ迷^ニレ^ニ邦^ニ、懷^ニ
レ^レ宝^ニ ^{イタイチ}

ー^レ、^ニ語^ニ十七^ニ命^ニ吾^ニノ十七^ニ篇^ニ、陽貨力篇ニアリ、陽^一クセヤツ
ソ、孔子ニイラシメ、ザウタンセウト云タソ、陽^一カ孔子ニ
云タ語ソ、懷其宝迷其邦ヲハ、仁トイワウカト云タソ、孔子
ノ聖人ノ徳ヲ、身ニモタレタハ、宝ヲ、フトコロニイダイタ
者ナリ、出テ、ツカワレイデ、閑^一人^ニデ、¹⁹⁸⁴「^ニネリマワル^ニハ、

邦ヲ、マトワイタ者ト、孔子ヲ、ワルウ云タソ、天下ヲ吾カ
テ、仁義ヲ云トモ、ソレデ、治ルマイヲ、知テ、ツカワレ
ヌ^トソ、

氣^ニ經^ニレ^レ邦^ニ、論^ニ道^ニレ^レー^レ周^ニ官^ニ經^ニレ^レ邦^ニハ、經^ニタ^ニテ^ニヌ^ニキ^ニニ、ナル心
ソ、^ニ氣^ニ陋^ニレ^レ邦^ニ、我詩^ニ如^ニ曹^ニ邴^ニ一^ニ淺^ニレ^レ成^ニレ^レ一^ニ谷^ニ力^ニ、吾詩ヲ、
卑^ニ下^ニメ、小国ノ曹ト、ヨウトニ、タトエタソ、アサウ、イヤ
シイホドニ、国トハ、云ヘトモ、名マデ、ソツトシタ、小
村^ニホト^ニモ、ナイソ、^ニ氣^ニ比^ニ大^ニ邦^ニ一^ニ羊^ニ一^ニ齊^ニ魯^ニ一^ニ魚^ニ
比^ニ二^ニ邾^ニ莒^ニ小^ニ国^ニ一^ニ羊^ニノヨイ肉ヲハ、齊ヤ魯ノ大国ニ比ソ、魚ハ、
邾ヤ莒ノ小国ニタトエタソ、此ハ、齊王肅ノ鯽魚ノ、アツモ
ノヲ、食メ、ノトカワイテ、茶^ニ ¹⁹⁸⁷「^ニヲ^ニノウ^ニデ、イワレタ語ナ
リ、羊ハ、クガノメツラシイモノ、魚ハ、水中ノ美物ノカシ
ラナリ、羊ハ、大国、魚ハ、小国ニ、タトエタソ、コ、ニ、
酪^ニノ一味^ニアリ、茗ト奴ニハ、シガタイソ、アクル日、彭城王
ノ所ニ、魚^ニ物^ニノモテ^ニナ^ニシ^ニアリ、酪ガアツタソ、ソコテ、茶ヲ、
酪^ニノシモ^ニベ^ニト^ニシ^ニタソ、又謝宗カ、茶ヲ評^ニ論^ニシ^ニタニ、茶ハナニ
カ、酪^ニ奴^ニデ^ニハ^ニア^ニラ^ニウ^ニソ、マサニ酒ノ代ヲセウズ者ソ、茶ヲ酪

奴ト云タハ、大ニモトノ云タ、本文ニ、チカウタ、ソバツラ

ナフソ、人名劉漢祖ナリ、漢ノ高祖ノ名ナリ、此ニヨツテ、

漢書ニ邦ノ字ナインソ、史記一部ニ司馬遷カ、ヲヤノ名ノ、談

ノ字ナインソ、

199オ 「〇缸、或作瓿、漢書醢醬千瓿、注長頸甕ナリ、缸

ハ、クヒノナガイツボナリ、コヽラニ云、鶴クビノツレンソ、

漢書ニアル、シヽビシヲ入ルヽカメヲ、瓿トシタソ、瓿

モ、缸モ、一ツ字也、

玉缸、茗椀蔗漿携所^{ユルシアウシ}有^コ瓷^シ甕^ウ无^レ謝^ト為^レ、杜詩、二

句ノ、トヽノエ、心エカタインソ、義除之、金缸、豈惟間

伴倒^{シヤ}ニ^ヲ荊^{シヤ}公^ヲタヽソナタエマイツテ、シツカニ、相伴、

酒ツホヲ、ヒツカタムクルハカリテハ、ナインソ、此心カ、間

伴ノ間ハ、閑ノ心カ、

春缸、寒^{ハイソク}醅^ク潑^クニ^ヲ寒^ニ、冬ノサムイニ、春ノ用ニ、

カメニ入タヲ、^{199ウ}「トリダイテ、ウツスヲ、ソヽクト云ソ、

豊缸、傾^{アウ}樽^ヲ与^ニ斟^ニ酌^ニ四壁堆^ウニ^ヲ、タルノ酒ヲ、カタム

ケテ、トモヽニ、クンテ、ノムソ、四方ノ、ヘイヤ、カキ

ノモトニ、アキダルヲ、ツミカサネテ、ワイタソ、韓^ハ紅、

纏^{マトウ}缸^ヲ、誠^ニ堪^{ムコタル}レ^ニ婿^ニ阿^ソ巽^ニ一^テ買^ヲレ^ニ酒^ヲ、¹⁹⁹谷^カ山^カ谷^カ子^カ求^カニ

昏^ヲ於^カ東^カ坡^カ子^カ邁^カ伯^カ達^カ之^カ女^カ阿^ム巽^ニ一^ニ其^ニ後^ニ契^ニ闊^ニ竟^ニ不^レ成^ニ昏^ニ定^ニ一^ヲ親^ヲ

以^ニ一^ヲ綵^{マトウ}一^ニ酒^ヲ壺^ニ二^ヲ故^ニ云、山谷^ニカ子^カ東^カ坡^カカ子^カノ遊^ガガ、ムスメ

ノ阿^ニ巽^ヲヨメニ、トラウト云イアワセタソ、ソノノチ、トカ

ウ、スリチガウテ、縁ノカ、ナライデ、ハテタソ、祝^一言^ノ

酒^ヲヲ、ヤルニハ、サカツボヲ、紅^ナ、キヌヤ、イトナドテ、

クルリト^{200オ}「マクソ、ソレヲ、マトウト、云ナリ、此ハ、東

ノ紅^ノ所^ニモ、カイタソ、

釀^{シヤウミツ}盈^ニ缸^ニ、挿^{サシハサンテ}一^ヲ秧^テ盈^{ウネニカモメ}疇^一酒^ヲ一^ニ、¹⁹⁹廬^カ山^カ高^カノ文^ニニア

リ、欧^カ力^カ文^{ナリ}、秧^ハ、イネノ苗^{ナリ}、ハサムハ、ウエタ

ソ、田^ニニ、サシハサムソ、田^ニサシ入^ソ、ウネ一^{ハイ}ニ、ミ

チタソ、酒^ヲ作^タハ、カメニミチヽタソ、

〇降、¹⁹⁹詩^ニ福^ニ祿^ニ攸^ニ一^ヲ、トノ詩^ヤラ、不^レ詳、天帝^{カラ}、福^祿ノ

サイワイヲ、子孫^ニ、クタサレタソ、クタルトキハ、仄^{、ク}

49 『韻府群玉』当該箇所には「発」とある。なお、出典となる蘇軾「送楊孟容」にも「何以待我歸 寒醅發春缸」とある（『続国訳漢文大成』に拠る）。

タスノ時ハ、平ナリ、降参ノ時ハ、平ナリ、^ス崇降、文王
伐^ツレ^ヲ不^ク降、退^テ備^ヘ（備^カ）ニ^ヲ德^ヲ教^ヲ一^ヲ因^テ壘^ヲ而^シ一^ヲ、**僖十九**崇ノ

国ノ主、文王ニシタカワヌホトニ、打レタ、三十日マテ、ク

タ^{200ウ}「ラヌホトニ、カエリテ、徳ヲナサレテ、又立テ、セメ

ラレタ城ノキワエ、キテ、カウサンシタソ、^ス原降、晋文

公退一舎而^シ一^ヲ原ト云所ヲ、ウタレタソ、三日ノ兵糧ヲ、モ

タセラレタソ、ソレニナラヌソ、三日ヤクソクメ、諸セイニ、

云タ^{200ウ}「チカエハ、虚言ニナルト云テ、ワルイト云テ、引退

レタソ、ソレヲ、キイテ、信ノツヨイ人ニハ、カサンデハト

云テ、キラ^ラクシタソ、コ、モ、一舎ノヤクソクデ、ヒキノ

カレタソ、イクサモ、マコトカナケレハ、人カ、ツカヌソ、

^ス乞^レ降、投^テ戈^ヲレ^テ破^レ朱泚^ノ文^ヲ朱^ノ一^ヲハ唐ノ臣ナリ、イツレ

ニ、逆ヲナイテ、ウツホコヲ、ステ、降参シタソ、^{201オ}「^ス

受降、漢ノ時ニ、胡カ、カウサンヲ乞^テタソ、城ヲコシラエテ、

降人ニ、アワレタソ、ニアリ、東受降城西^ノ一^ノト云タソ、

一^ノレ^ヲ如^シレ^テ受^レ敵^ヲ後景^ノ秉^ノ伝^ノ降^ノ人^ヲヲ、ヲサムル^ヲハ、大敵ヲ、ヒ

キカケタ如ニ、ヲモエソ、ユダンメハ、クセ^ヲソ、⁵⁰世^ノ方^ニ

尊^フ二^ヲ両^ヲ耳^ヲ一^ヲ未^タ三^ヲ敢^テ築^カニ^ヲ受^レ一^ヲ二^ヲ谷^ノ世^ノ上^ハハ、耳ニウソヲツク^ヲヲ、キ

イテ、本ニメ、ヲガミ、タツハイスルソ、ヲカシイ^ヲソ、シ

カト手ニトリ、目ニミ定メタ^ヲヲ、本ニメ、アラハ、受^レ城

ヲ、コシラエウソ、ソレヲハ、エキツカヌソ、⁵¹乞^レ殺^レ降、

人^ニ已^ニ服^ス降^レ一^ノレ^ヲ之^ヲ不^レ祥^{ナリ}、**漢史**此ハ、漢書ノ高祖紀ニアリ、テ

キガ、ステニ、シタガイ、カウサンスルヲ、コロスハ、ワル

イト、^{201ウ}高祖ノ云テ、コロサレヌソ、^ス詐^レ降、漢ノ紀信

高祖ノ難儀ノ時ニ、高祖ノ項羽ニカウメ、陣エ礼ニワ、ス

ルト云テ、紀^一ガ、王ノデタチテ、王ノ車ニノリタソ、ソコ

ノドシメキノマニ、高祖ハ、ヌケテ、ニケラレタソ、羽ガ紀

ヲヤキコロイタソ、胡曾詩ニモ、^{201カ}詩カアルソ、紀生不^レ下^テ向

⁵⁰国会本は「一^ノレ^ヲ如^シレ^テ受^レ敵^ヲ」からこの部分までが割書で補入されており、「世^ノ方^ノ尊^ニ二^ヲ両^ヲ耳^ヲ」から「エキツカヌソ」までが、「詐降」の抄文の後に「受降ノ下ニアルソ」として続いている。叡山本は補入になっていないが、この部分に本行として「乞^レ受降ノ下ニアルソ」という一文が挿入されている。

⁵¹『韻府群玉』では「坑降」・「殺降」・「詐降」の順とするが、原本、および国会本・叡山本は、いずれも「殺降」・「詐降」・「坑降」の順に抄する。

二**檠**（ケイ）（マゴ）ニ陽^ニ死^セ上^セ争^セ 有三山^ノ河属^ニ漢^一家^ニトアルソ、
アナニス坑^レ降^ヲ、秦白起挾^レ詐^レ アナニス趙^一卒^{ソツ}四十万^ヲ於長平^ニ、
 秦ノ始皇ノイクサ大将、白起ト云モノ、イツワリヲ心ニハサ
 ウテ、降参シタ兵、四十万人ヲ、長平ト云所テ、穴ニウツン
 タソ、**監通監**ノ書ニアリ、又項羽^{2020オ}「詐^一 イツハツテニス秦^一卒^{ソツ}二十
 万^ヲ、**漢紀**高祖紀ニアルソ、^一心降[、]**詩我**則^一、^ス氣
 降、其^一屹^{キツ}壁何由^一、**歐**吾カ心ノ氣ハ、岩ヤ、カベヲ、
 キリ立タ如ナソ、ナニナニ^{（衍か）}コニ、人ニカウサンシ、シタ手ニ
 ハ、入ラウソ、^ス李陵降、李陵戦^{イハ}敗^ハ匈^{トニ}奴^一、**本**前漢
 書ノ李^一カ伝ニアリ、エヒスニ、イクトラレテ、十九年イタ
 ソ、^一百万降、劉盆子将^一衆^ニ陸^{（陸か）}下^一何^一以^テ待^レ之^ヲ
 光武日待^レ汝^ヲ以^ニ不^一死^一尔^{クミ}、**漢紀**劉^一ハ、王莽カ時ニ、天下
 ヲノソソテ、色々ニ、シタレトモ、ナライテ、光武ニカウメ、
 百万ノ衆ヲ、ヒキ具^メ、如^レ此カウサンマウス、吾ヲハ、^{2020ア}
 ナニトヤウニ、御アイシラワレウト、リウンシタ^コヲ云タソ、
 光^一ノウマイ返事ソ、ソチヲスイフンニ、アイシラワウスハ、
 タ、イノチヲタスケテ、コロサヌカ、至極ノ、モテナシト、

アリ、**活**（タテ）ハ豎^レ旗^一、ハタヲタツト云トモ、マイテ降シタソ、
ア望^テ風^ヲ、カサフリヲ、ノゾミ見テ、降タソ、^ハ北面^一、北
 面ハ、北ムク^コソ、王ハ南ニムカシムソ、ソレニ向テ、カシ
 コマルホトニ、臣下ノ心ソ、^ス睡魔^一、仏ノ八相ノ中ニ、降
 魔ガ一ソ、ネムリヲ魔ト云ホトニ、降スト云タソ、**人名**（ハ）^ハ扈
 一、高陽氏ノ才子、八人ノ^ハ才子アリ^ハ、ソノ一人ナリ、○
 洛、水不^レ遵^レ道^{ナリ}、水ノ本々ノミチエ、ユカイデ、^{（濁点生）}
 アチ、コチ、ヨコエ入テ、流心ソ、ナニトヨムヤラ、
 ○瀧、奔湍也、セノハヤイナリ、奔、ハシルワ、ハヤイ^コ
 ソ、韶州樂昌縣有^レ水名ナリ、**韓**始^テ下^ニ樂昌^一、韓カハ
 シメテ、海ヲトヲツタ^コカ、又張東之貶^{（ハ）}州^一、^{（ハ）}濤瀧、
 一
 壮猛ハ、水ノナミノ、壮ニタケイ心カ、**韓潮州表**（ハ）カ、表ノ
 文ニカイタソ、^ハ隴頭瀧、君乃崑崙渠籍乃^一 **韓**君乃^一
 （ハ）ハ、韓ヲホメテ、高イ崑^一山カラ、ヲツルミノ水ニ、
 タトエタソ、籍乃^一（ハ）張^一カ吾ヲハ、隴^一、^{（ハ）}ソツ
 トシタ、ヲカ山カラ、出ル水ニ、比タソ、韓文ニ、此詩カノ

ツタソ、^{203ワ}「^〱磨^ニ九^ノ灌^一」、舟行十里^一、山ノ九^〇カカリ
モ、アツテ、水ガメグツテ流レヲチテ、タキノヤウナソ、

○双、陽雍伯得^テ二壁^五一^ヲ聘^レ女^一、^{ヘイス}詳^レ壁^一、入声ノ陌勻ノ壁ノ

字ノ所ニアリ、雍伯ガ父母トモニ、死タソ、无終山ニウツ
ンタソ、此山、^{八十里ノか}八十里アイタ、水ガナイソ、雍一ガ義漿ヲ、
コシテ、ニテ、坂^〱口ニライテ、人ニノマセタソ、漿ハ、コ
ンツトヨムソ、白^〱水ノヤウナ者ナリ、米ヲニテ、ソノ汁ヲ、
水ニマセテ、水ヲチツト、ニコイタカ、食^〱ノタヨリニ、セ
ウ為カ、コレヤウナヲ、義漿ト^{204オ}「云カ、又別ニ、義漿ト
云者アルカ、山ニ入者カ、皆此ヲ、ノウタソ、ヨイ^〱ヲ、
シタソ、コレヤウニ、スル^〱、三年ナリ、一人アリキテ、
此ノ坂^〱口ノ漿ヲ、ノウタソ、ノウタ者ガ、石ヲ一升フトコ
ロカラトリタイテ、雍一ニトラセテ云^〱ハ、此ヲ地ニウエ
タラハ、ヨイ玉ヲ、得ウソ、又ミメノヨイ女房ヲモ、得ウ
ズルゾト云テ、クレニ、ミエナンタソ、ソノ後ニ、徐^〱氏ニ
ヨイ女房アリ、人ガホシガレトモ、ドコエモ、ヤラヌソ、
雍ガ此ヲコウタソ、徐氏ノ女ガ、雍力所エ、「〇イ」カウト

云タソ、女ノヲヤノ徐氏カ、ジヤレニ、壁^〱「^〱ヲニモチキ
タラハ、夫婦ノ約束ヲ、^サ定^メウト云タソ、石ヲウエタラハ、
ヨイ玉ニ、ナラウト、化^〱人ノ云タヲ、思イアワセテ、石ヲ
ウエタ所エ、イタレハ、玉カアツタソ、五双ノ壁ヲ得タソ、
ソノ玉ヲ以テ、徐力所エ、イテ、ヤツタソ、徐ガジヤレニ
云タレハ、マコトニ、以テキタホドニ、ヲドロイタソ、ソ
コテ、夫婦ニナツタソ、此モ、義漿ヲ、三年山ノ坂^〱口ニヲ
イテ、イキ、ノ人ニ、ノマセタ徳ニヨツテ、カウアル^〱ソ、
ソコノイタ所ヲ、玉^〱田ト云タソ、此ノ^〱ハ、搜神記ト云書
ニアルトシタソ、此書ハ、アルソ、^{205オ}「二三冊アルソ、モ
トミタソ、^〱无^〱双、ナラヒナイ心ソ、国士^〱、
韓信ヲ云タソ、漢書ノ信ガ伝ニアリ、江夏^〱黄^{キヤウ}香、孝行ナ
者ニヨバレタソ、慈明^〱荀氏ノ八^〱龍トイワレテ、ヨイ^〱子、
八人アリ、ソノ中テ、慈明ヲ、^〱トヨハレタソ、荀淑カ^〱子
ナリ、慈明ハ、字ナリ、名ハ、荀爽^{サウ}荀氏八龍慈明^〱ト云タ
ソ、龍ト、双ト、勻ナリ、山谷ヲモ、日下^〱黄太史、中州
集ニ作タソ、^〱ト云タ、者多ソ、

〱无^シ二等^ニ双^ニ、城南^ノ晁^{セイ}正字^ノ国器^ニ一^ニ一^ニ、**谷**晁^ハ、晁^{キウ}无咎^ソ、
 蘇門ノ四学士ト云テ、東坡ガ門下生ト云テ、坡ガ、シタデ、
 文学ヲマナウテ、^{205ウ}「^{205ウ} スクレタ者四人アリ、山谷ガ、カシラ
 ソ、正字ト云ハ、官ノ名ソ、正字ノ官ニハ、スグレイテハ、
 ナラヌソ、五経六籍ノ中、文字ノ、ソコネ、アヤマツタヲ、
 ケウシテ、タ、シナヲス^ソ、国ト、云字ハ、天下ト云心ソ、
 天下ノ宝、ウツワモノト云心ソ、コトナウホメタソ、等ハ、
 ヒトシイトヨムソ、ナラブ心ソ、 〱白鶴^双、時^ニ有^リ一^ニ一^ニ飛^ト
 来^テ一^ニ、ドコデ作ヤラ、歐陽力集ナイホトニ、不^レ考^ソ、**活**^〱
 劍^一、干将、莫耶ノ、メヲツトノ二ノ劍アリ、双ハ、此ノ^コ
 ソ、〱璧^一、前ニアリ、又 ^(庸卿^ハ)卿カ、趙ノ王ニ、アウテ、立談
 メ、白璧ヲ、一^ニ双^ニタマワツタト、史記ニアリ、谷モ作タソ、
 〱髻^一 ^{206オ}「^{206オ} 縮^ス一^ニ一^ニ、カミノモトヅリヲ、ユウタ^ソ、縮^ハ、ワ
 ガヌルトヨムソ、ワゲタ^ソ、ヲサナ子^ハ、カミヲ、両方ニ
 イウソ、女房モ、両方ニ、ワクルケナソ、**人名** (〱) 无^一劉

振女^{カムスメ}得^ニ古押衛^{ワウガワ}一、此ハ、前ニアツタソ、ミメヨサニ、无^一ト
 ツイタソ、**姓氏** 天水ト云所ニ、此ノ氏アリ、顓頊皇帝ノ後^{コウセツル}封^ス
 一^ニ一^ニ蒙城^ニ一^ニ一^ニ、氏ニシタソ、 ○艘、舩^一舟名ナリ、舟ツ
 クリニ、双ノ字ヲ、カイタ舟ヲ、二^ソウモ⁵²、一ニカラクン
 テ、シタフネカ、

○龐、高屋ナリ、高ウ大^ナ家ナリ、勻会ニハ、南安ト南陽
 トニ、二^所ニ、人ノ知タ龐氏カアルトアリ、二望アリトシ
 タソ、^{206ウ}「^{206ウ} 南安南陽ノ二ソ、又周ノ時ノ畢公高ノ後ガ、龐
 二^封对^ハ セラレテ、氏ニシタソ、 〱窮龐⁵³、斫^{キツテ}樹^{キラム}収^ム一^ニ一^ニ
 一、此ハ、上ニアツ

タ^ソ、木ノ皮ヲ、ケツ、テ、白メ、ソコテ、龐^一コノ木ノ
 モトテ死ト、カイタソ、ソノ如ク、ソコテ死タ、窮^一トハ、
 術計モ、智略モ、ツキ、キワマツテ、自害シタソ、智窮自到
 ト、伝ニアルソ、**韓**句^{ナリ}、到^ハ、クビハヌルトヨムソ、
 〱老龐、床下^一一^ニ一^ニ、老^一ハ、龐徳公ガ^{ナリ}、諸葛孔明

⁵² 国会本・叡山本ともに「ニソウモ、三ソウモ」とする。こちらの文意では、「モ」の意が尊重され、東大本の本文では、「艘」の「二つ」という意
 が尊重される。

⁵³ 国会本・叡山本では、「窮龐」の抄文が、当該箇所には無く、「龐」の末尾 (〱) 氏、姜詳^妻、勻府ノ妻ノ所ニナイソ、¹の直後^ニに記される。

カ龐カ所エ、キテハ、必スユカノモトニテ、拝シタソ、ソノ
人ノ徳ヲ、タツトシテノコソ、^レ居士龐、下^シ看^テ一^ヲ古无
レ、龐一^ヲ、脚^一^{207オ}下ニ、クダシ、ミタレハ、昔ニ、龐
一^ト云モ、ナイト云心カ、居士ト云者ヲ、ヲカシノ者ト、
ミナセハ、モト龐一^ト云モ、ナイト云心カ、龐一^ト与^ニ女^ニ冥
照^ニ修^メ禪^ヲ皆^ス坐化、龐カ妻モ、得道ノ者ナリ、龐カリンジウ
セウドテ、坐メ、ムスメノ、冥照カヲヤニ、ソトエデ、日
ヲミサシメ、ヒルニナツタカト云テ、ヲヤノ、ソトエデタマ
ニ、化シタソ、龐カウチエ、キテ、ミテ、此ノ小ムスメニ、
ヌカレテ、ヲクレタヨト云タソ、**活**^一樹^下一、詳^レ竈、魏^一涓
カ^コソ、谷ノ両方ニアル、セツ所ニ、ヨイ弓ヲスクツテ、フ
セテ、大ナ木ノ皮ヲ、ハイテ、タチ木ノ白イ所ニ、龐涓此樹^ノ
^{207ウ}「下ニ死ント、クロク^トカイタソ、セツ所ノ、エツボエ、
ヒキ入テ、谷ノ両方ノ上カラ、サシハサウテ、イタソ、ミタ
レハ、木ニ、コ、テ、ハテウトカイタホトニ、ノカレマイト
心エテ、ワレト死タソ、陣ヲトツテ、初ハ、カマドヲスクレ
テ、多ウナラベタソ、兵ノ多^ク心ソ、セン^クニ、カマトヲハ

ライタソ、勢ノスクナウナルヲミセタ心ソ、龐カ勢ヲスイタ
ソ、无^ク勢ナト、心エテ、フカ入ヲシテ、ケガヲシタソ、コレ
サセウ為ニ、シタ^コソ、兵書ニ、カマドヲマシ、カマドヲ減
スル^コアリ、魏ノ国カラ、韓ノ国ヲセメタソ、韓ヲ齊ガタス
ケテ、後マテニ、立タソ、孫臏^ガ、大将デ、立タソ、陣ヲ^一^{208オ}
トリカタメテ、カマドヲ、十万ツクラシタソ、カマトハ、ク
イモノ、タク所ソ、アクル日ハ、半分ニヘライテ、五万ニナ
イタソ、又アクル日ハ、二万ニナイタソ、龐ガミテ、喜タソ、
吾カ陣ハ、石^ノ金^ノ如ニ、カタイソ、齊ノ勢ヲ、吾ヲソレテ、
軍兵ノ、チリ、ニグル^コ、半分ニ、ハルカスギタソ、サラハ、
諸勢ヲ、一ニメ、ニグルヲ、ヲウウト云テ、龐カトリデタソ、
此レサセウ為ニ、孫カ、シタ、ハカリコトナリ、ヲウテコウ
ズル、セツ所、マウゼイノナガライメ、クタビレウズホドラ
イノ所ニ、イテ^一^{イテツカ}、スクツテ、弓一万張フセタソ、アノ如ク、
長ライメ、クタビル、在所デ、両方カラ、ミチヲハサ^一^{208ウ}
ウテ、イタソ、スキト死メ、龐一^ハ、自害シタソ、**姓氏**始^一平
ハ、所ナリ、コ、ニ、龐氏アリ、文王子畢公高^ノ之後、龐郷ニ、

封セラレタソ、ソレカラ、ソコロ、氏ニシタソ、(へ)ー涓^{ケン}
マエニ、カマドノコニアツタソ、魏^{ウイ}將、魏ノ大^{ダイ}將ナリ、(へ)ー
一^{タテ}徳公携^{セイヤ}妻^テ子^ニ登^ニ鹿門山^ニ採^{トツテ}葉^ヲ不^ラ返^ラ、^詳詳^レ安、メコドモ、
ヒキツレテ、山エ入テ、クスリトルト云テ、ツイニ、カエラ
ヌソ、(へ)ー參、字^ハ仲達^{スク}拔^{ガイラ}薤^事、^詳詳^レ薤^去声ノ卦^勻ノ薤^ノ下^ニア
リ、後漢ノ^鹿鹿^カ參漢陽ノ守ニナツテ、イタソ、ソコノ郡ノ中
ニ、任棠ト云者アリ、氣^キガイ、ハツタトメ、義理ヲ存シタ者
ソ、^鹿鹿^カ ガ任カ所エ、イタニ、モノモ^{209オ}「イワイテ、インギ
ンニ、ムカエテ、座シキニ、水ヲ器ニ入テ、薤^ニ一本ヲ、水ニ
立テ、屏ノ前ニライタソ、^鹿鹿^カ「トヤウアルコナリ、ヨク
ノ、思案スルニ、水ハ、吾カセイバイノ、セイケツニ、ニ
コラザランコヲ、示タソ、ニラヲ、一本座ニライタワ、ニラ
ハ、五辛ノ中ノ、ソウリヤウナソ、ワルイ者チヤホトニ、ウ
ツテ、ヨウ^(ヨウウカ) ナセト云心ソ、ヲサナイ子ヲタイテ、戸ノモト
ニ、ライタハ、門ヲヒライテ、アワレミヲ、タレテ、メグミ
ヲ、ナメ、クレヨト云心ト、サトツタソ、参カヨウ所ヲ、ヲ
サメテ、民モ、ヨロコヒ、任棠カ、宗^ノ、コワイヲユワウシ、

ソシノ、ヨワイヲ、タスケタソ、本後^{209ウ}「漢書ノ、^鹿鹿^カ 一カ
本伝ニアルソ、(へ)鹿^鹿 徳、字令明^ウ仕^ウ魏^ニ每^ウ戦^ス乗^ニ白馬^ニ号^ニ白
馬將軍^ト、戰場ニ、ヅルゴトニ、コノウテ、白馬ニノツタホト
ニ、白^{トウ}一^ハ統^{トウ}云タソ、(へ)一^ハ統^{トウ}、字士元^ハ蜀^リ人為^ニ南州^ノ士^ノ之^ノ冠
^{ベン}冕^{カク}魯^ハ肅^ノ日^ニ士^ニ元^ニ非^ニ百^ノ里^ノ才^ニ、^詳詳^レ足統ハ才カ大ナソ、驥ノ千里
ヲカケル如ナオナリ、五十里百里ノ、ブンザイデハナイソ、
別駕ノ官ニナイタラハ、驥ノ足ヲチツトノベウソ、魯肅カ云
タコソ、(へ)一^{シユン}籍^テ、字醇^ニ之^ニ仕^ニ趙^ニ宋^ニ為^ニ一^{スウ}枢^ニ密^ト使^ト、密ハ、ミツ
トヨム人モアルソ、言行録排^ト勻^トニアリ、宋ノ明道中ニ、殿中
侍御史ノ官ニナツタソ、程文恵ト、同年^{210オ}「ニ生タソ、戊子
ノ年、ドレモ、生タソ、程ハ富貴ナソ、籍ハ小官ソ、程ガジ
ヤレテ、云タソ、君ハ、小戊子チヤソ、吾ヲ、大戊子ニメ、
云タソ、ソノ後ニ、慶曆年中ニ、高イ位ニ、アカツタソ、程
カメテタイト云テ、賀メ、云タソ、前ニハ、ソレカシ、大戊
子デアツタカ、今日、小戊子ニナツタト云タソ、七十六ノト
シ、奉公ヲ、ヤメテ、ヒツコウタソ、イエ貧ヲ、アマナウテ、
書ハカリヨウタソ、自詩ヲ作タソ、田園貧宰相^ノ圖史^ノ旧書^ノ生ト

作タソ、田畠ハ、モタヌ貧ナ、宰相ソ、画図ヤ、書史ハ、タ
クサンニモツタ、フル儒者チヤソ、凶史富書生ト、源流至命
ニハ、²¹⁰⁷「アルカソ、^ハ一氏、姜詳レ妻勻府ノ妻ノ所ニナイ
ソ、○逢、塞也、フサクナリ、又^ハ坡船鼓已一、ハウ、
ツ、ミノ声ナリ、人名^ハ関龍一、夏忠臣ナリ、ナニノ書ニモ、
ミエヌソ、**姓氏**長楽ニ姓ア〔リ〕、夏殷諸侯一公伯陵封^{ラル}二^ニ齐土
一^{テトス}因氏、夏殷ノ二代、一公ト云アリ、齐ニ封セラレタソ、齐
士⁵⁴トアリ、士ハ土カ、士ニ封スル^ハハ、アルマイソ、土ハ、
国ノ心ソ、字或ハ作^レ逢、逢ト、逢トノ、カキヤウノ、チカイ
ソ、同サウニ、ミエタ^ソ、^{モウ}一蒙、学^ニ射^ヲ於^ニ羿^ニ孟^子ニアリ、
学^レ射トアリ、羿カ射ノ弟子ナリ、^ホ一丑父、^{ノイ}齐師陣^ニ於^ニ鞍^ニ
丑父与^レ公易^レ位、**左成**齐ノ軍²¹¹⁰「ヤフレタソ、左リ、右リ、
中ヲ、ネラウテ、イルホトニ、主ノ為ニ、イヲカエタソ、忠
臣ナ^ソ、^{アウ}一萌、字子慶後漢時挂^ク冠、^ヲ王莽カトキニ、冠ヲ
ミヤコノ、東門ニ、カケテ、メコトモ、ツレテ、海上ノ方エ、

インタソ、⁵⁵○腔、肉空也、肉ノスイテ、ナイヲ云ソ、口
カ、ノドカデ、アラウソ、ノドノヤウニ、作タ句アリ、骨^ノ体^ヲ
曰^レ一、^トホネノズイヲ、云タ^ハカ、不^レ詳ソ、羊一也、羊ノド
コヲ云タヤラ、字注^デモ、心エヌソ、
^{（能ハ）}一羊腔、^{（能ハ）}畦 声吐^ニ款段^一、酒壺綴^一、此一聯、心エヌソ、
韓蟹胥与^ニ竹萌^一乃^チ不^レ美^ニ一^ヲ、**谷**、カニト、筍トヲ、テウ
ホウメ、羊一ヲハ、ウマ²¹¹¹「イモノニセヌ心ソ、羊一モ、羊
ノトコノ肉カ、ウマイヤラ、シラヌソ、腔カ、エ知ヌソ、
^ハ新腔、秀句入^ルニ^ニ一、**谷**此モ、ハラカ、ノドカ、ドコヤ
ラ、ヲモシロイ句カ、口エ入タ心テ、アリサウナソ、^ハ不
^セ同腔、^ヲ黄花雖众笑白雪不^一、**谷**此モ、不^ニ分^一明^{ナラ}一ソ、黄
一ハ、葡デアラウソ、重陽ノ時^一分^ニ、作タカ、众笑ノ字モ、
ナニト云心ソ、花カ多ウサイテ、笑タト云心カ、白一ウタウ
曲ノ^ハカ、ヲウゼイ、同音ニ、ウタエトモ、一ノノドカラハ、
デヌト云心カ、众ノ字ソコネタカ、雖^レ笑ト、上エカエリサウ

⁵⁴ 国会本・叡山本ともに「土」とするが、『韻府群玉』当該箇所には「土」とあるため、校訂は施さない。
⁵⁵ 「腔」は『韻府群玉』の小韻代表字（枯江切）であるため、改行・字下げが期待されるが、当該箇所では行われていない。

ナソ、**活**^{212オ}ハ、^{カユル}フエハ、ノト唇デ、吹ソ、フキモノワ、ノ
 ドヲ、本「^{212オ}ニスルソ、此モ、ノドサウナソ、ハ成一ハ、シ
 ラソ、^{カユル}ハ、^ヲ換レ、此モ、ナンテアルヤラ、^梅ハ、^ノ花一、唇
 カノドテモアリサウモナイソ、^ツハ、^ニ恨満レ、此ハ、ハラワタテ、
 アリサウナソ、ノド口ナトテハ、アルマイソ、骨テアラウカ、
 ○撞、ツクトモヨムソ、^{ツクカ}待レ問如レ鐘、前ニアツタソ、
 カネノ所ニアリ、人ノキテ、物ヲトウニ、イワウト、ヲモ
 ウ^{ミセケテ先}テ、マチテイタワ、カネヲツクヲ、待ツヤウナソ、
 礼記ニアリ、范增怒一^{イカッテツク}ニ玉一斗^ヲ、^詳斗^斗鴻門テ、高祖項羽參
 会アツテ、酒宴ノ時ニ、高祖カラ、礼ニダサレタ玉ヲ、張
 良以テ、出テ、座シキニヲイタヲ、ナケテ、^{212ウ}「**☒**キクタ
 カセラレタソ、高祖ハ、早ウタ、レタソ、張良カ、アトテ、
 ノコツテ、ジギヲ云タソ、ソノ時ノコナリ、漢明帝自起一^{グテク}
 レ郎^ヲ、^詳レ郎、ナニコニ、郎ヲツカレタヤラ、イワレカシレヌ
 ソ、葉菘伝トアリ、後漢書ニ葉一ト云臣ノ名ナシ、字カ、
 ソンジタカ、
 ハ菘撞、此モ、前ニアツタソ、万石ホドノ、大ガネ、草ノヨ

ワイ莖ノヤウナ者テハ、打テモ、音ハデヌソ、^ハハ、^ニ横撞、大
 呂勁一鳴、洪一鐘一、**文粹**唐ノ文ズイノ語カ、コレヤウナ語
 多ソ、^{ツヨク}ハ、^{テイス}微撞、子^ス帰治ニ小一^ヲ国ニ、洪鐘噓^{ムセハ}ニ一^ニ、**坡**此ハ、
 ドコゾ、大ニモ、ナイ州ノ守ニナツテ、^{213オ}「^{213オ}行ク、送一^ニ行ニ
 作タ、詩ナリ、ソノ国ノ守ニナツテ、ヲサメハ、大カネヲ、
 ソツトシタ、ツエギレデ、打テ、本ノネハ、デイデ、ムセタ
 ヤウニ、アラウソ、^{ケキ}ハ、^ヲ擊撞、文章自娛一^ケ戲、金石日一^ニ、
韓文章ヲツクリ弄メ、ヒトリタノシミ、タワフレラル、ソ、
 サルホトニ、文章ハ、スクレタ、金石ヲ日コトニ打、マレナ
 妙ナ声ノツルヤウナ、文ソ、友タチナドヲ、ホメテ云タソ、
^{濁点墨朱}ハ、^イ春撞、洪濤巨浪日一^ス夕相一、^ス海辺カ江辺ニイテ、ソコ
 ノヂリ^ノヲ云タ者ナリ、洪一巨一モ、ドレモ、大^イ波ソ、日一
 ハ夜ルヒルノ心ソ、波力互^{タカイ}ニウチ来、ウチ去、モノヲキネテ、
 ツ^{213ウ}☒ヤウナ「^{213ウ}ヲトガ、スルナリ、○幢、旛也ハタナリ、
 漢建^{タツ}ニ一^{ケイ}檠一、檠モ、ホコトヨムソ、又ホコノフクロナリトシ
 タソ、幢ハ、ハタホコトヨムソ、ホコヲタテ、ソレニハタ
 ヲカクルソ、^レハ、^レ磨幢、磨モ、ハタナリ、吾欲^レ盈^レニ其^レ氣^レ不

レ令^メ見^セニ^一、^ヲ氣ガ中ニアマルホドナケレハ、ソトエ、発スル^ヲ、ユワイソ、弓モ、ヒキフクラムル^ヲ、スクナク、タモツ^ヲ、久ウナケレハ、矢ガサキエ、イテ、物ガヌケヌソ、ソノ如クソ、氣ヲ中ニ、ツミ、ミツルホトニ、ソトエ、モノサキヲ、アラワサヌソ、磨^一ヲ、アラワサヌトハ、人ノ心ノ、ウチニアル機ヲ、磨^一ト云タカソ、本ノハタノ^ヲデハ、ナサウナソ、^{214オ}韓文ニアラウソ、^{214オ}風騷壇上見^ニ、^{214オ}荊公風雅文字ノ戰陣テ、大將ノイル壇上ニ、ハタヲ立^タルソ、大將ノハタサキヲミテ、ハタラク者ナリ、十年^ス擁^スニ^一、^{214オ}谷十年コノカタ、兵陣ニ、ハタヲサ、セテ、ソノモトニイテ、辛苦シタソ、文字ノ陣ノ^ヲカ、本ノ陣ノ^ヲカ、谷ガ吾カ^ヲヲ、イワハ、文字風雅ノ陣テ、アラウソ、又武官ノ人ニヤル詩ナラハ、本ノ陣ノハタソ、^{214オ}碧油幢、^{214オ}選^{バク}軍幕也、軍陣ニ、ハル^{マク}ナリ、雨ニモ、ハルホドニ、油ヲヒクソ、三体ノ上ニ、青油幕下白雲^ノ辺トアリ、碧油、青油モ、同^ヲソ、大將ノイル所ヲ、幕下ト云イ、磨^一下ト云ソ、史漢ニ、^{214オ}戲^キ下ト云ハ、ハタノシタト云^ヲソ、^{214オ}戲^キモ、ハ^クナリ、^{214オ}纓絡幢、^{214オ}起^{タテ}ニ七宝塔^ヲ以^テ

ニ^一、^{215オ}旛^フ（^幡）^{215オ}一供^ニ養^レ之^ニ、七宝ヲ以テ、塔ヲタテ、ヤウヤクノハタヲ以テ、仏ニクヤウシタソ、ヤウヤクワ、玉ヘンニモ、イトヘンニモ、カクソ、^{215オ}維摩經ニアリ、^{215オ}折^{シク}ニ幔^{（幔）}幢^ヲ、法達師礼^ニ祖師^ヲ頭不^レ至^レ地^ニ祖師曰^ク礼本^ニ頭^ヲ不^レ至^レ地^ニ、^{215オ}伝^フ灯^ノ泉^ニアリ、法達禪師法花經ヲ持^テ經ニシタソ、三千部ヨウタソ、六祖ノ説法ヲ、キイテ、大悟シタソ、サレトモ、持^テ經ヲハ、ヤメス持^テシタソ、人ノ高慢ノ氣ワ、タカイハタホコヲ、サシタテヤウナソ、^{215オ}時間^ニ正論^ヲ除^ク疑^ヲ網^ヲ每^ニ讀^ム高辞^ニ一^ニ、^{215オ}荊公時間^{（一）}、時ハ、ヨリ^トトヨムソ、^{215オ}ソノ時ハ、細々ノ心ソ、時^{トキ}ニトヨメハ、アルトキニト、マレナ心ソ、ドチナリトモソ、正^ニ意ノスクメノ説法ヲ、キイテ、邪^ノ路ニ入テ、ウタカイノ、ヒキハツタ^{アミ}網^ヲ、キリ破^タソ、每^レ讀^{（一）}、^{215オ}トモヨミ、^{215オ}ツネニトモヨムソ、向上ノ法ヲ、トイタ、経^ノ文辞ヲヨム^ヲニ、吾カ外^ノ道慢^ノ心ノ、ハタホコヲ、クジキヲツテ、ステ^タソ、^{215オ}離垢幢、有^リ二菩薩^ノ一名^ニ一^ト坐^メ於^ニ道場^ニ一^ヲ將^{マサ}成^ニ正^ニ覺^ヲ有^リ二惡魔^ノ前^ニ來^テ惱^ス乱^ス、此ハ、維^ノ廣^ノ經ノ語力、ササ

ノ道場ニ坐メ、正覺ノサトリヲ、成セウトスル時ニ、魔力、

前エ、現メ、ササノ心ヲ、ナウメ、ミタソ、ナリハセヌソ、

活赤一 **晋志** 晋ノ天文志カ、^(ママ) 赤一、星ノナリヲ云タ

カ^{215ウ} 碧一、前ノ碧油ナリ、白虎一、旗ニハ、風雲龍虎

ヲモンニカクソ、山ヨセニ、陣ヲスユレハ、虎ノモンノハタ、

水辺ニハ、龍ノモンノハタヲ、立ソ、

○椿、^{クイナリ} 杙也、杙ハ、クイソ、**韓** 斬^{サン} 二拔^{スキトヲ} 枿^{トヲ} 与^レ 一、枿ハ、

木ノカブナリ、斬ハ、キルナリ、木ノカフ、クイドモヲ、

キリステ、ヒキヌイテ、ステタソ、此ワ、文

章ノワルイ、キリクイ、ホセカブヲ、キリノケタヲ、云タ

カ、本ノ木ノキリクイカ、**谷** 械^{イキハク} 樸^ス 作^ス 二株^{チウ} 一、械^ヲ 一ハ、ザウノ

ノ、ワルイネヂリ、コブリタ、木ソ、タキ木ニスルソ、ホ

セクイニナルソ、道^カ 一 家^テ 以^レ 鼻^ス 為^ス 二係^{ツナク} 牛^ヲ 一、道^ト 一 士^ト 一 家^ニ 一ハ、

観念ヲスルソ、物ヲ観^カ 念^ス スルニハ、目ヲフサイデ、^{216オ} 鼻

ノサキヲ守ソ、牛ヲ、ツナグニハ、クイガ、干要ソ、観^カ 念^ス ニ

ハ、鼻ノサキヲ守カ、センソ、サテ、タトエタソ、**活** 封^ヘ 一、

不^レ 解^ソ、

○淙、水声^ト 一、水ノ流ル、ヲトナリ、^(崖) 懸^ハ 崖^ハ、

巨^{タリ} 石^ト 飛^ル 一、

高イ山ノ、ツナイデ、カケテライタヤウナ、キシカラ、大^ト 石

エ、山ノ水カ、トブ如ニ、流レ、ヲツル水ノコエガ、淙々ト

アルソ、歐陽カ **廬山高** ノ文ニ、カイタソ、^リ 石^ト 淙、韓子華

有^リ 二石^ト 一 莊^ニ、坡有^レ 詩、坡カ詩ニ、トノ卷ニアルヤラ、不^レ 考、

^ニ 南^ニ 淙、愚公居^ス 二北^ニ 谷^ニ、漫^{クル} 叟^ニ 一、愚公ワ、山ヲ、ヲ

キタイ所ニ、ウツイテ、ライタソ、北ノ谷ニイタソ、漫^ハ 一ハ

、^(ヤ) 元次山ナリ、漫郎トモ云タソ、南方^{216ウ} 一、浯溪ニイタソ、

后村 劉カ詩ナリ、谷モ漫郎江南酒隱^ル 処ト作タソ、

^{サウ} 琤^ト 淙、四海群從間邇^ル 来^ル 頗^ハ 一、**谷** 四海ノ、トモナイ、シタ

カウ人タチノ、アイタニ、此年来、アチ、コチ、水ノ如クニ、

流行シタ心カ、又淙ハ、水ノ声ナリ、琤モ、玉ノヲトナリ、

詩文ノヲトカ、玉ノナル如ク、水ノヲトノヤウナト、云心カ、

文ヲホメテ、琤^ト 一ト云ハ、吾^ト 一テハアルマイソ、題ヲミネハ、

シレヌソ、

[付記]

本稿は、JSPS 科研費（特別研究員奨励費）22KJ0552・22KJ0545 の助成を受けたものです。

- (こいけとしき 大学院人文社会系研究科 博士三年・
日本学術振興会特別研究員)
- (おくやま ひかる 大学院人文社会系研究科 博士一年)
- (やまもと ひさし 大学院人文社会系研究科 博士一年)
- (きし ひろむ 大学院人文社会系研究科 修士二年)
- (おばた こうき 大学院人文社会系研究科 修士二年)
- (たけばやし えいみ 大学院人文社会系研究科 修士二年)
- (いわさき りんたろう 大学院人文社会系研究科 修士一年)
- (にしかわ ゆか 大学院人文社会系研究科 修士一年)
- (おう しゅんらい 大学院人文社会系研究科 外国人研究生)
- (おおしま ひでゆき 大学院人文社会系研究科 博士三年・
日本学術振興会特別研究員)